

2-5-4 活発化している団体・活動（問11 専門家・NPO・企業、問12 地方自治体）

「新たな公」として活発化している団体・活動を聞いたところ、「NPO」という回答は、全ての主体で半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「企業の知育貢献活動（CSR活動など）」という回答は、企業で67.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。（図2-5-17）

地方自治体の回答について自治体規模別に見ると、「自治会」という回答は、指定都市で61.1%、特例市で55.6%、中都市で57.6%、人口1万人以上で53.5%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「NPO」という回答は、人口1万人以上、人口1万人未満を除く全ての自治体規模で半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答は、都道府県庁で51.1%、指定都市で50.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答は、指定都市で55.6%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。（図2-5-18）

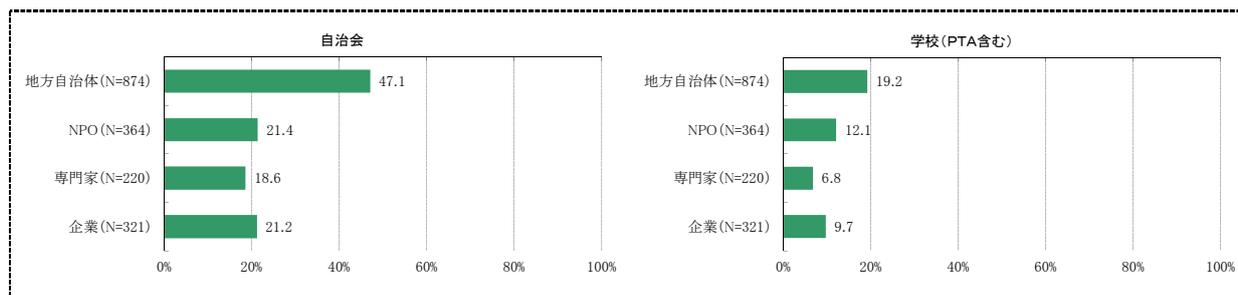
NPOの回答について活動分野別に見ると、「NPO」という回答は、全ての活動分野で半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。（図2-5-19）

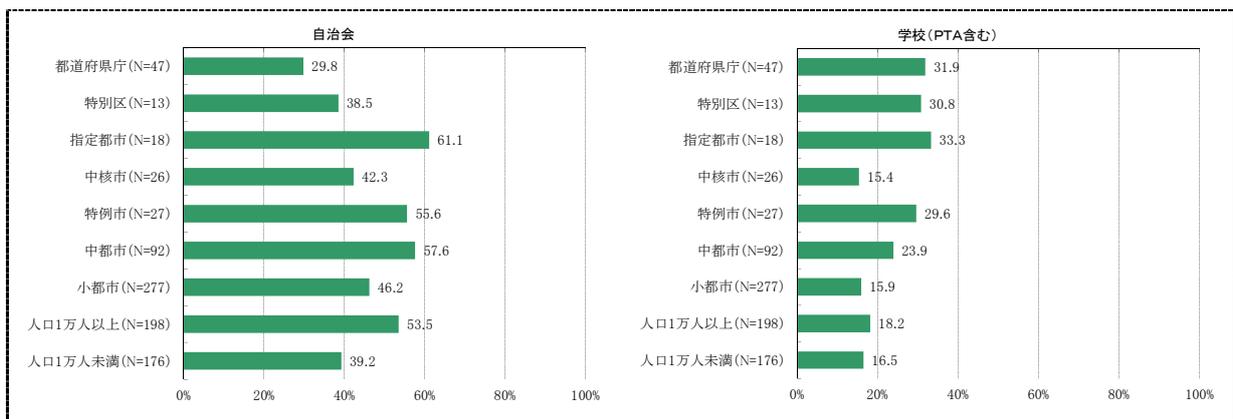
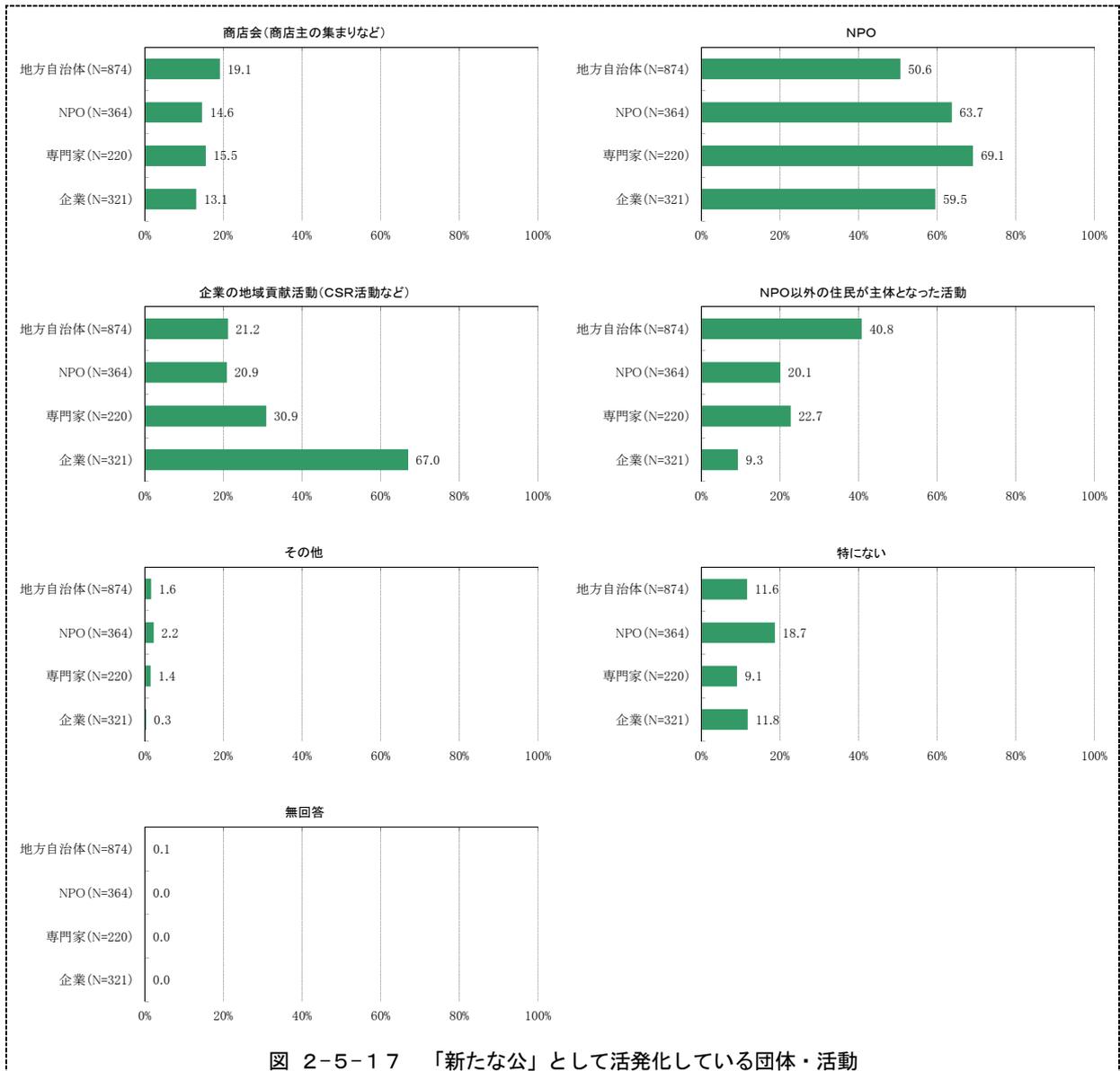
専門家の回答について職業別に見ると、「NPO」という回答は、全ての職業で半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「企業の知育権活動（CSR活動など）」という回答は、その他で53.8%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。（図2-5-20）

企業の回答について業種別に見ると、「自治会」という回答は、電気・ガス・熱供給・水道業で66.7%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「学校（PTA含む）」という回答は、鉱業・採石業、砂利採取業で100.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「商店会（商店主の集まりなど）」という回答は、鉱業・採石業、砂利採取業で100.0%、学術研究、専門・技術サービス業で50.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「NPO」という回答は、その他と有効回答が0であった業種を除く全ての業種で半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答は、宿泊業、飲食サービス業と有効回答が0であった業種を除く全ての業種で半数を超しており、その団体・活動が活発化していると言える。（図2-5-21）

問12 「新たな公」の団体・活動として、あなたが勤務する自治体において、ここ数年どのような団体・活動が活発になっていると思いますか？

（上記は地方自治体の質問文であるが、NPOには活動する地域において活発になっていると思う団体・活動、専門家、企業には日本の各地域において活発になっていると思う団体・活動と各主体により質問文を変更している。）





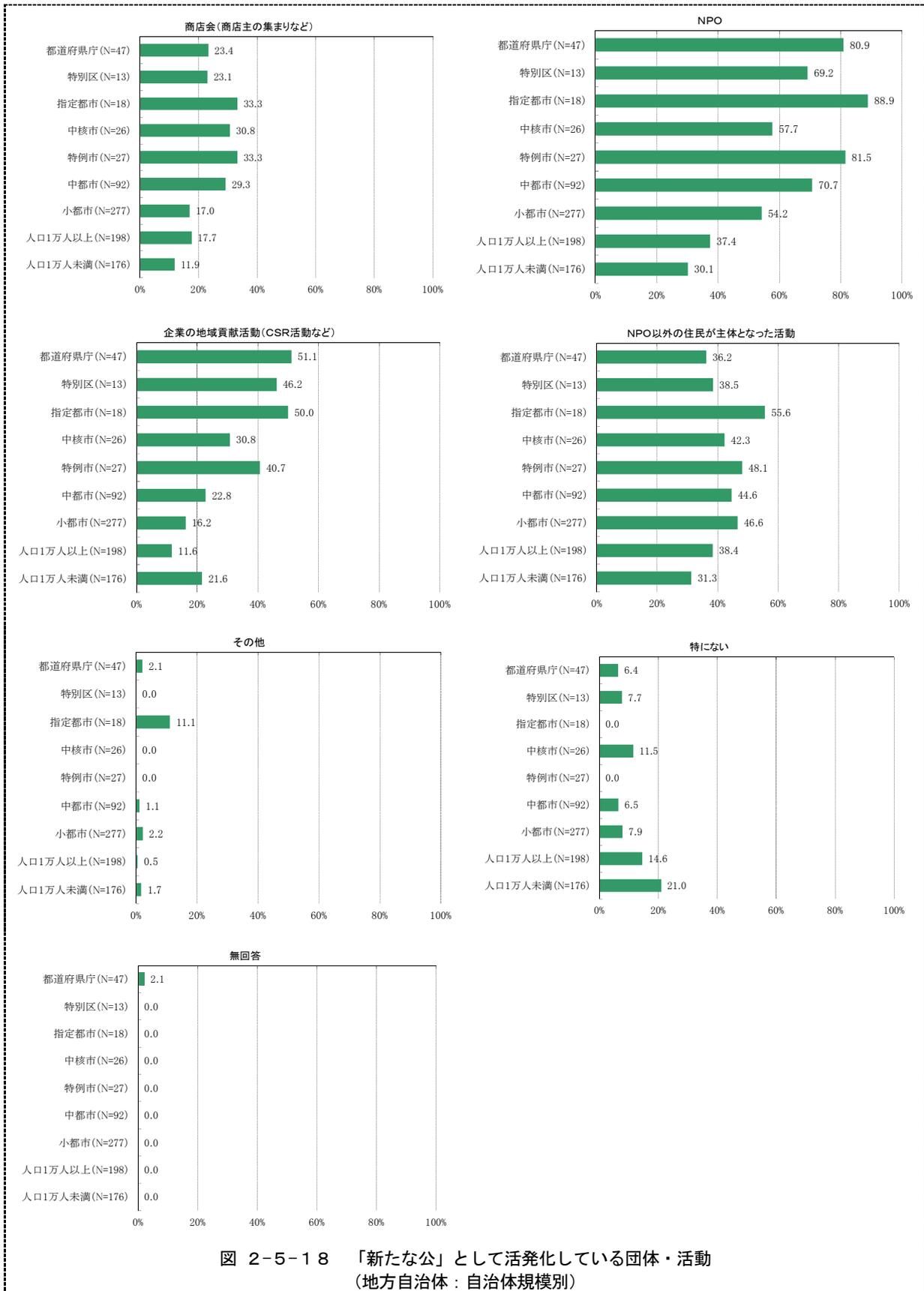
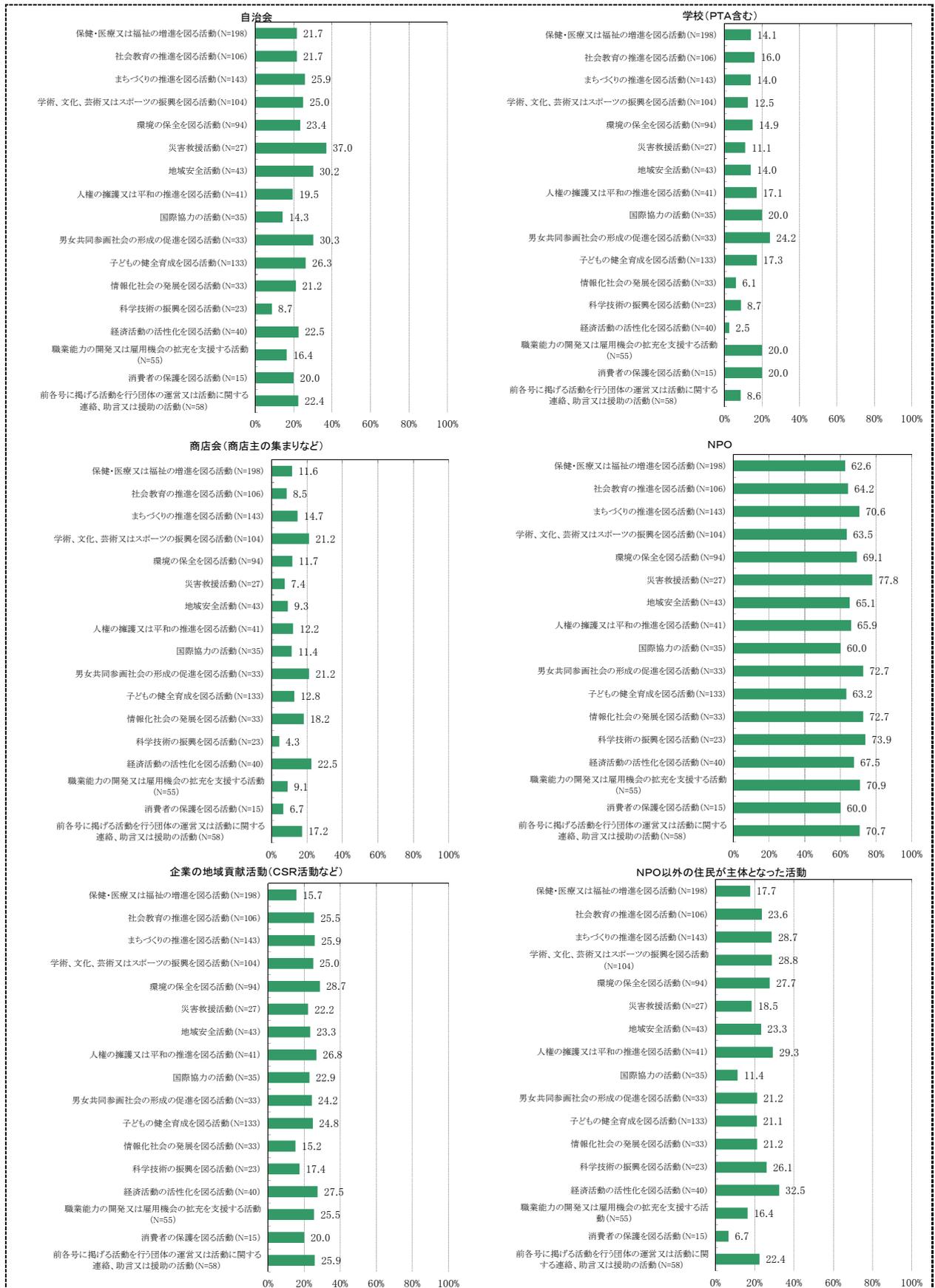
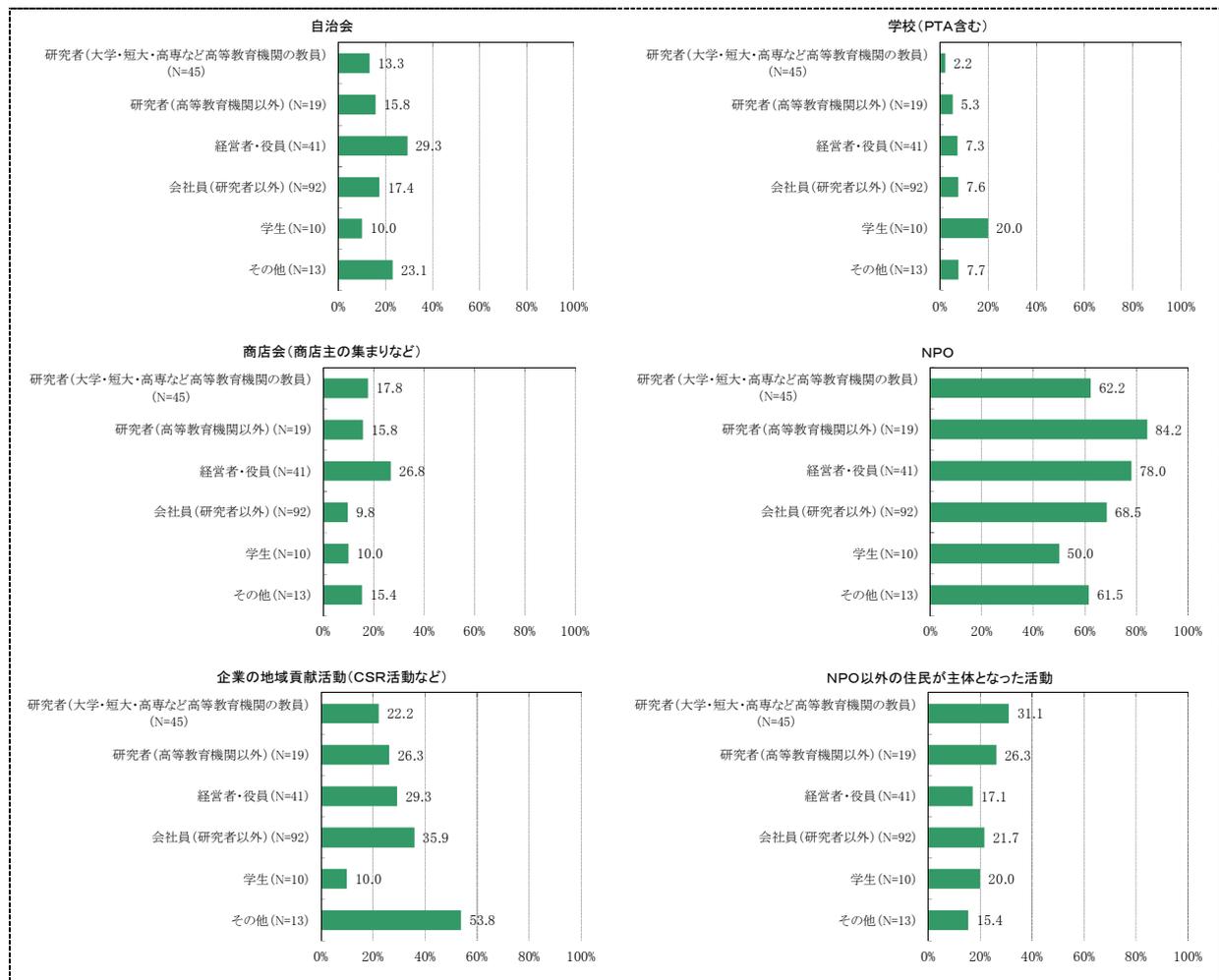
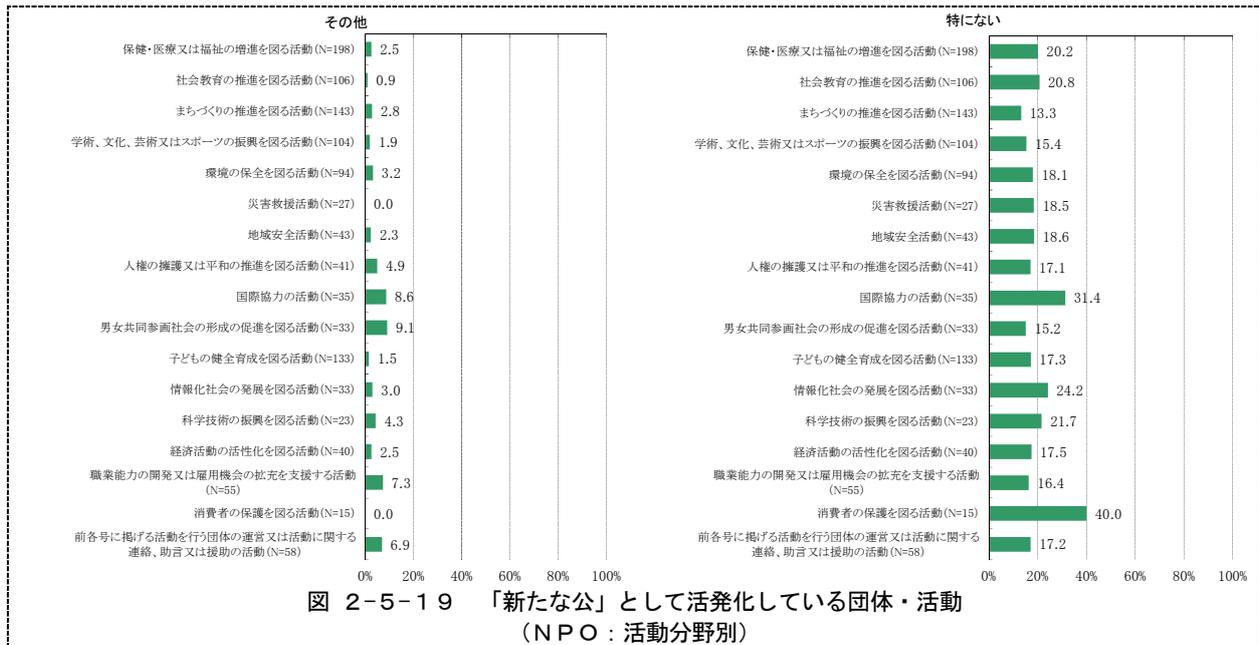
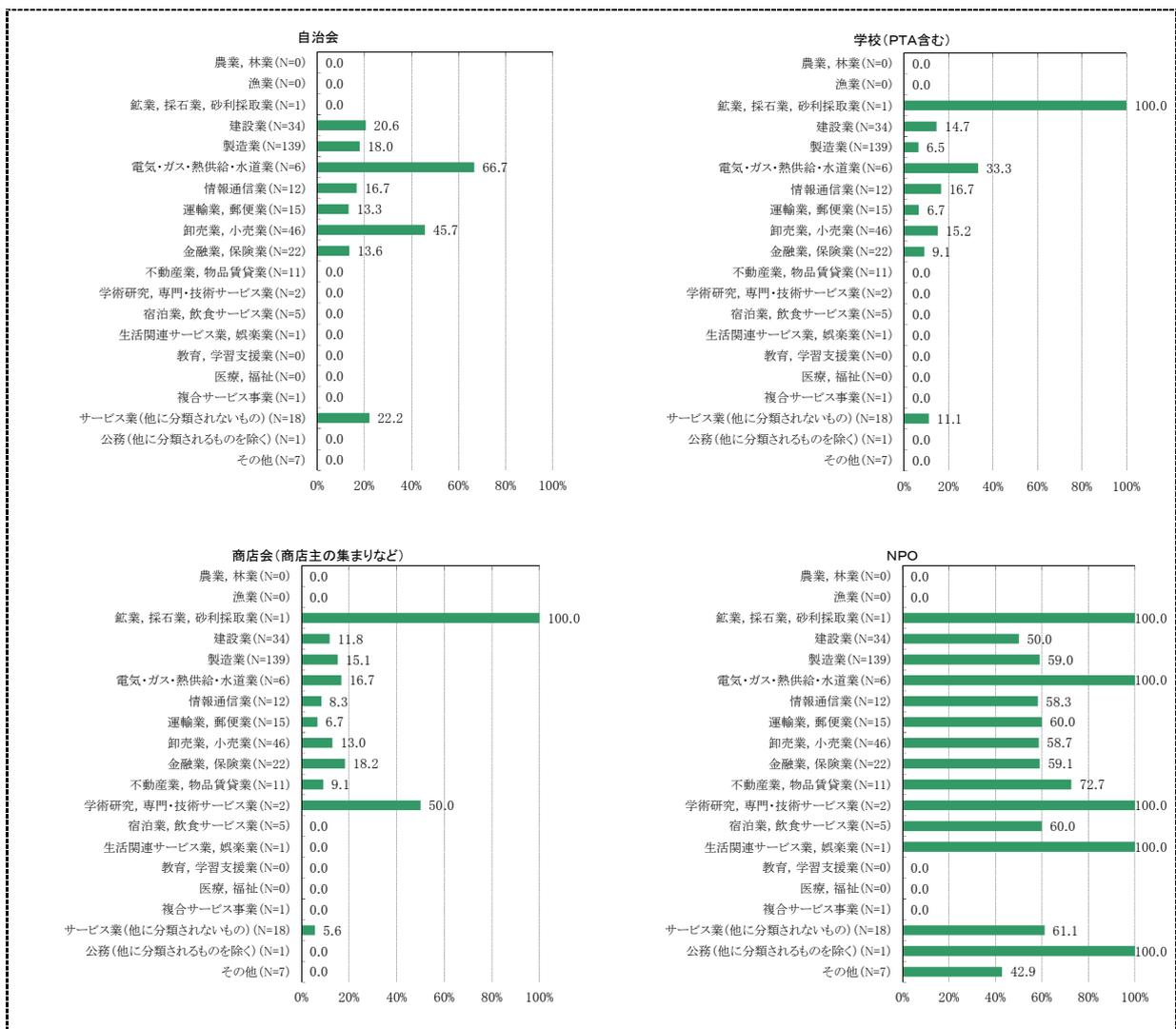
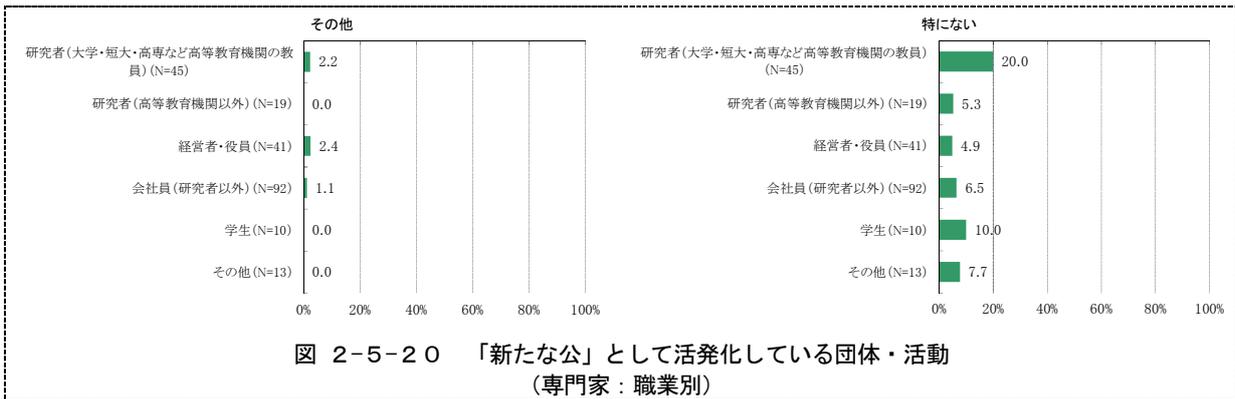


図 2-5-18 「新たな公」として活発化している団体・活動
(地方自治体：自治体規模別)







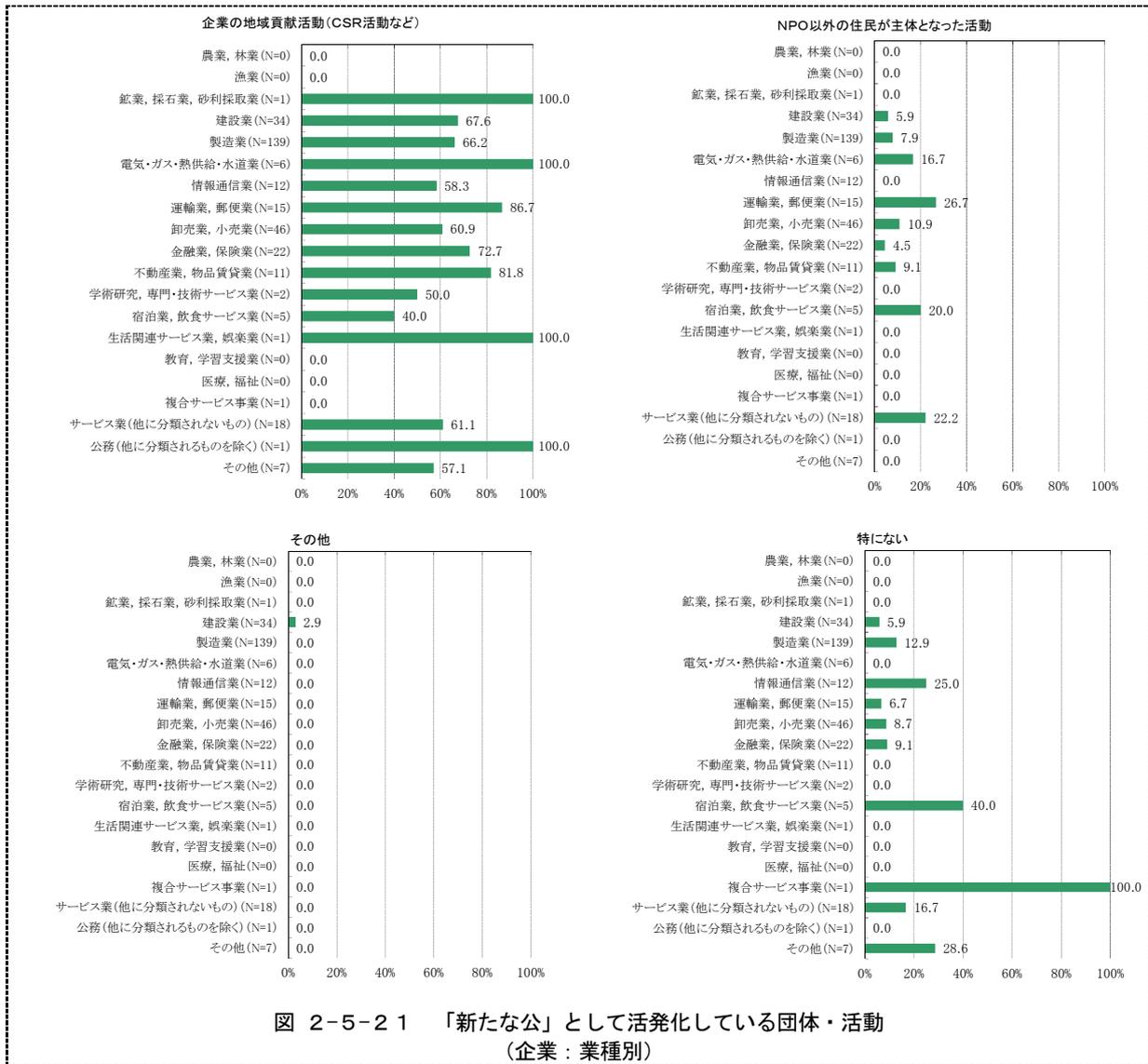
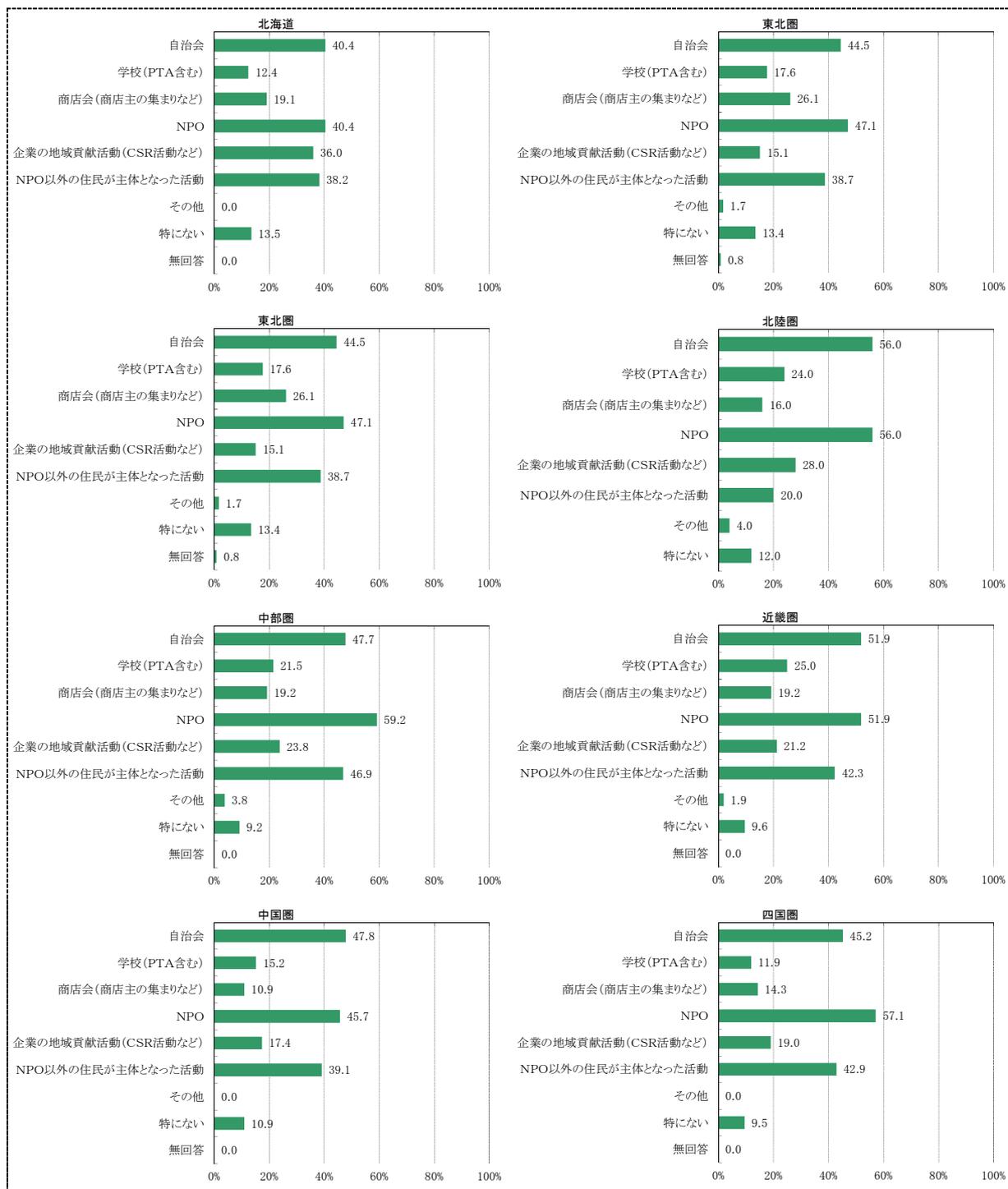
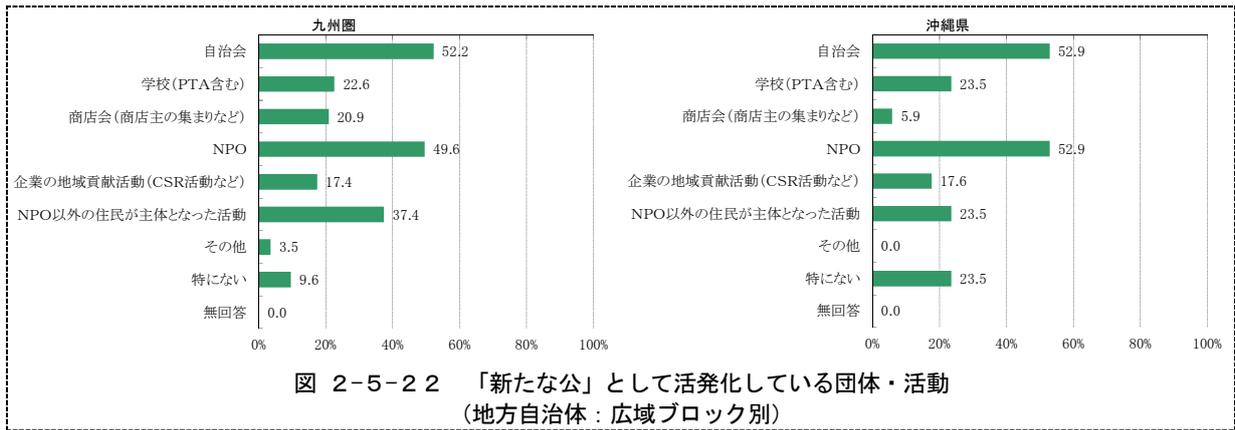


図 2-5-21 「新たな公」として活発化している団体・活動 (企業：業種別)

<広域ブロック別の動向>

地方自治体の回答について広域ブロック別に見ると、北陸圏では、「自治会」という回答が56.0%、「NPO」という回答が56.0%と半数を超しており、団体・活動が活発化していると言える。中部圏では、「NPO」という回答が59.2%と半数を超しており、団体・活動が活発化していると言える。近畿圏では、北陸圏と同じ2項目の回答が、それぞれ51.9%、51.9%と半数を超しており、団体・活動が活発化していると言える。四国圏では、「NPO」という回答が57.1%と半数を超しており、団体・活動が活発化していると言える。九州圏では、「自治体」という回答が52.2%と半数を超しており、団体・活動が活発化していると言える。沖縄県では、北陸圏と同じ2項目の回答が、それぞれ52.9%、52.9%と半数を超しており、団体・活動が活発化していると言える。(図 2-5-2 2)



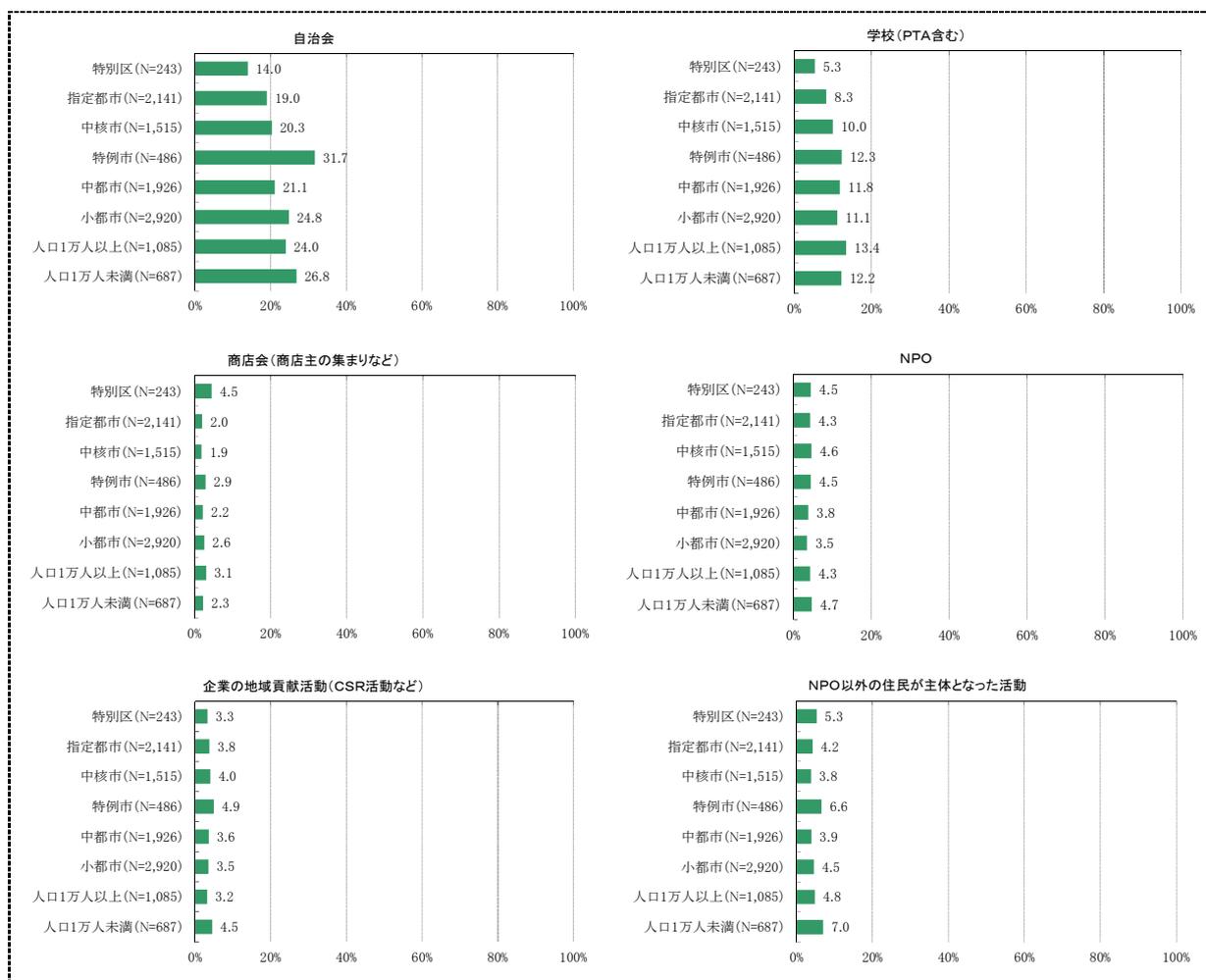
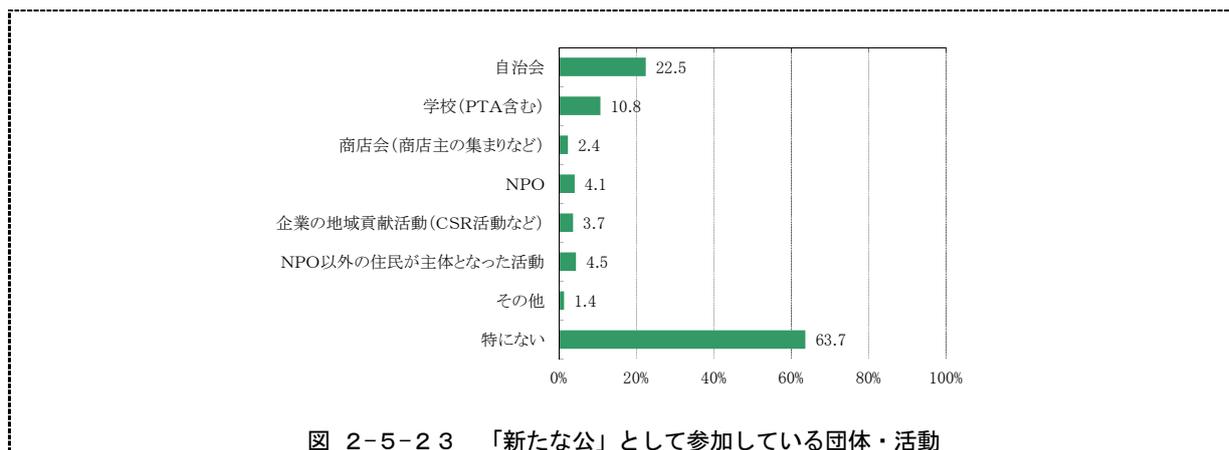


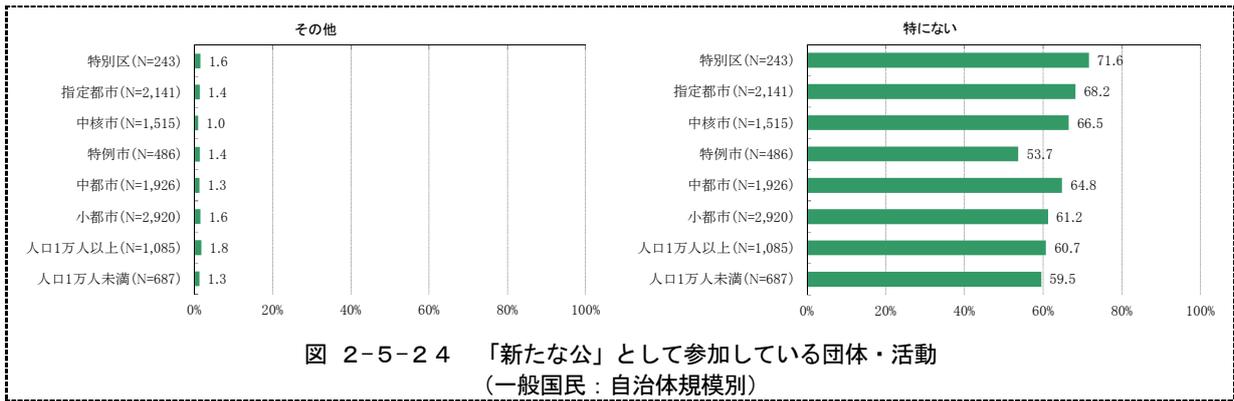
2-5-5 参加している団体・活動（問13 一般国民）

「新たな公」の一員として参加している団体・活動を聞いたところ、「新たな公」として参加している団体・活動について、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-23）

一般国民の回答について自治体規模別に見ると、どの自治体規模においても、「新たな公」として参加している団体・活動について、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-24）

問13 「新たな公」の一員として、あなたがここ数年で参加された団体・活動はありますか？





＜広域ブロック別の動向＞

一般国民の回答について広域ブロック別に見ると、どの広域ブロックにおいても、「新たな公」として参加している団体・活動について、半数に達している回答はなかった。(図 2-5-25)

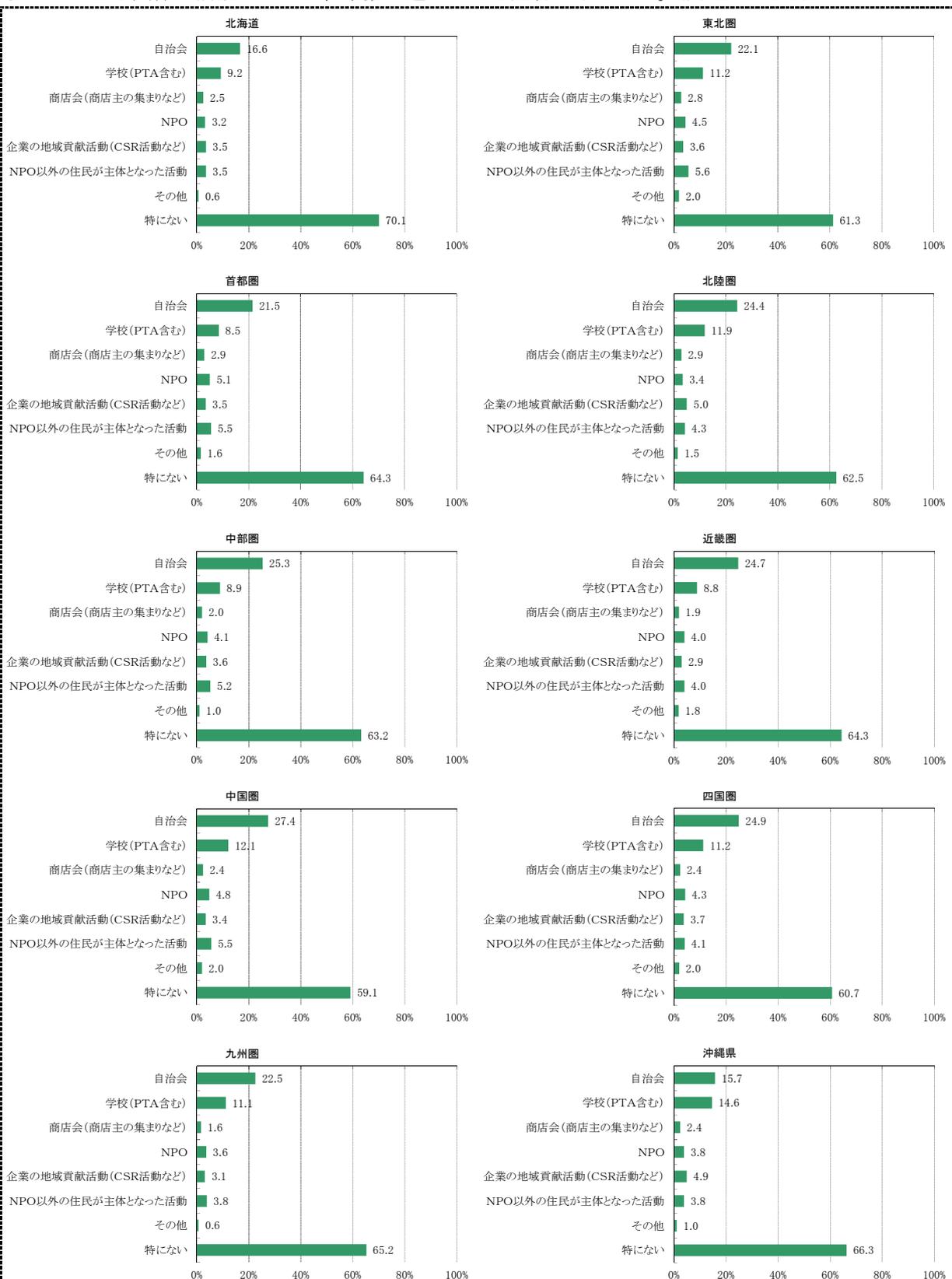


図 2-5-25 「新たな公」として参加している団体・活動
(一般国民：広域ブロック別)

2-5-6 今後参加（実施）してみたい取り組み（問12 一般国民・NPO・企業）

「新たな公」として今後参加（実施）してみたい取り組みについて聞いたところ、いずれの主体においても、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-26）

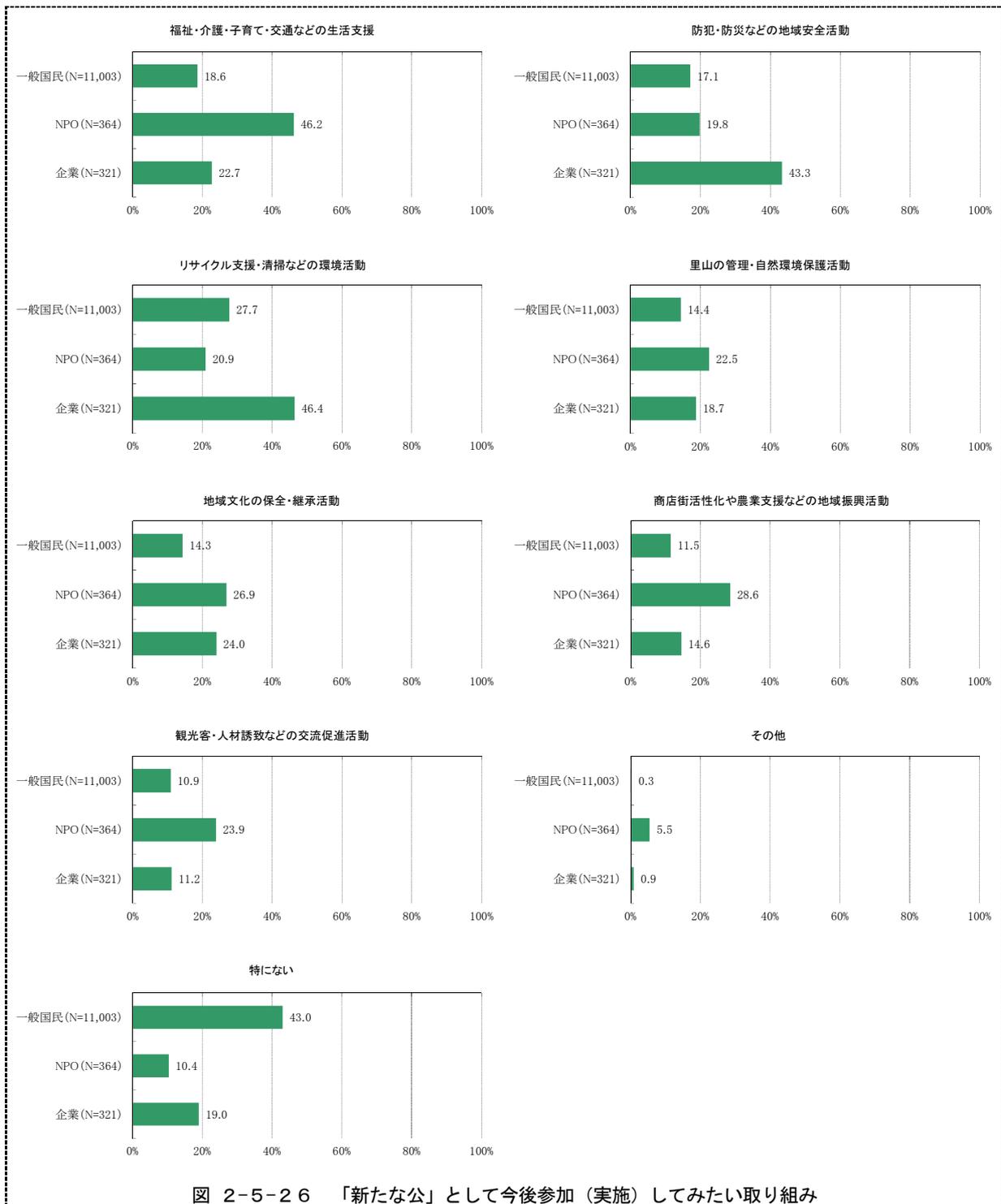
一般国民の回答について自治体規模別に見ると、いずれの自治体規模においても、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-27）

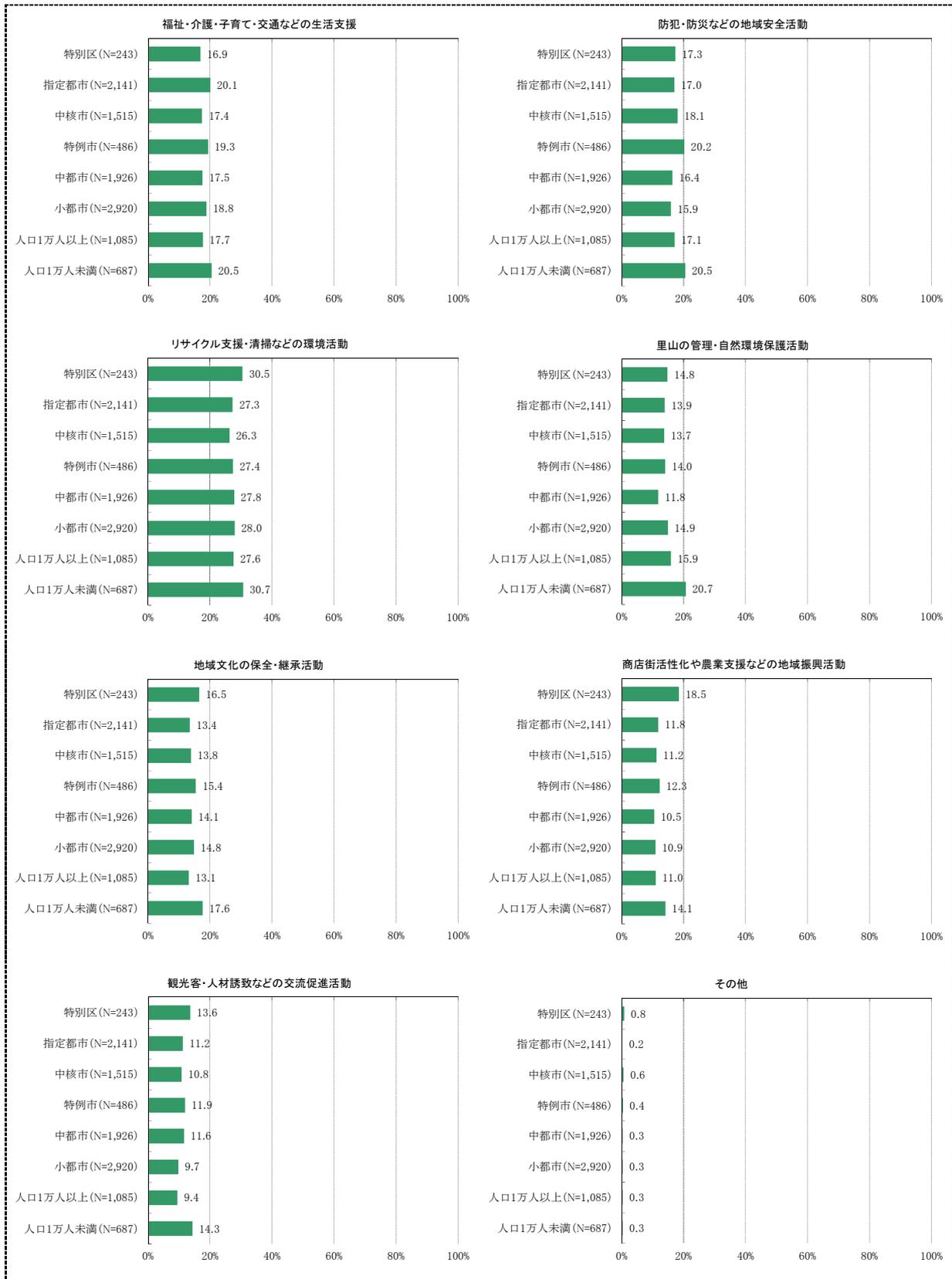
NPOの回答について活動分野別に見ると、「福祉・介護・子育て・交通などの生活支援」という回答は、保健・医療又は福祉の増進を図る活動で67.7%、社会教育の推進を図る活動で50.9%、人権の擁護又は平和の推進を図る活動で65.9%、男女共同参画社会の形成の促進を図る活動で60.6%、子どもの健全育成を図る活動で52.6%、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動で56.4%、消費者の保護を図る活動で60.0%と半数を超していた。「防犯・防災などの地域安全活動」という回答は、災害救援活動で59.3%、地域安全活動で62.8%と半数を超していた。「里山の管理・自然環境保護活動」という回答は、環境の保全を図る活動で59.6%と多かった。「地域文化の保全・継承活動」という回答は、男女共同参画社会の形成の促進を図る活動で51.5%、消費者の保護を図る活動で53.3%と半数を超していた。「商店街活性化や農業支援などの地域振興活動」という回答は、情報化社会の発展を図る活動で54.5%、経済活動の活性化を図る活動で65.0%と半数を超していた。「観光客・人材誘致などの交流促進活動」という回答は、経済活動の活性化を図る活動で62.5%と半数を超していた。（図 2-5-28）

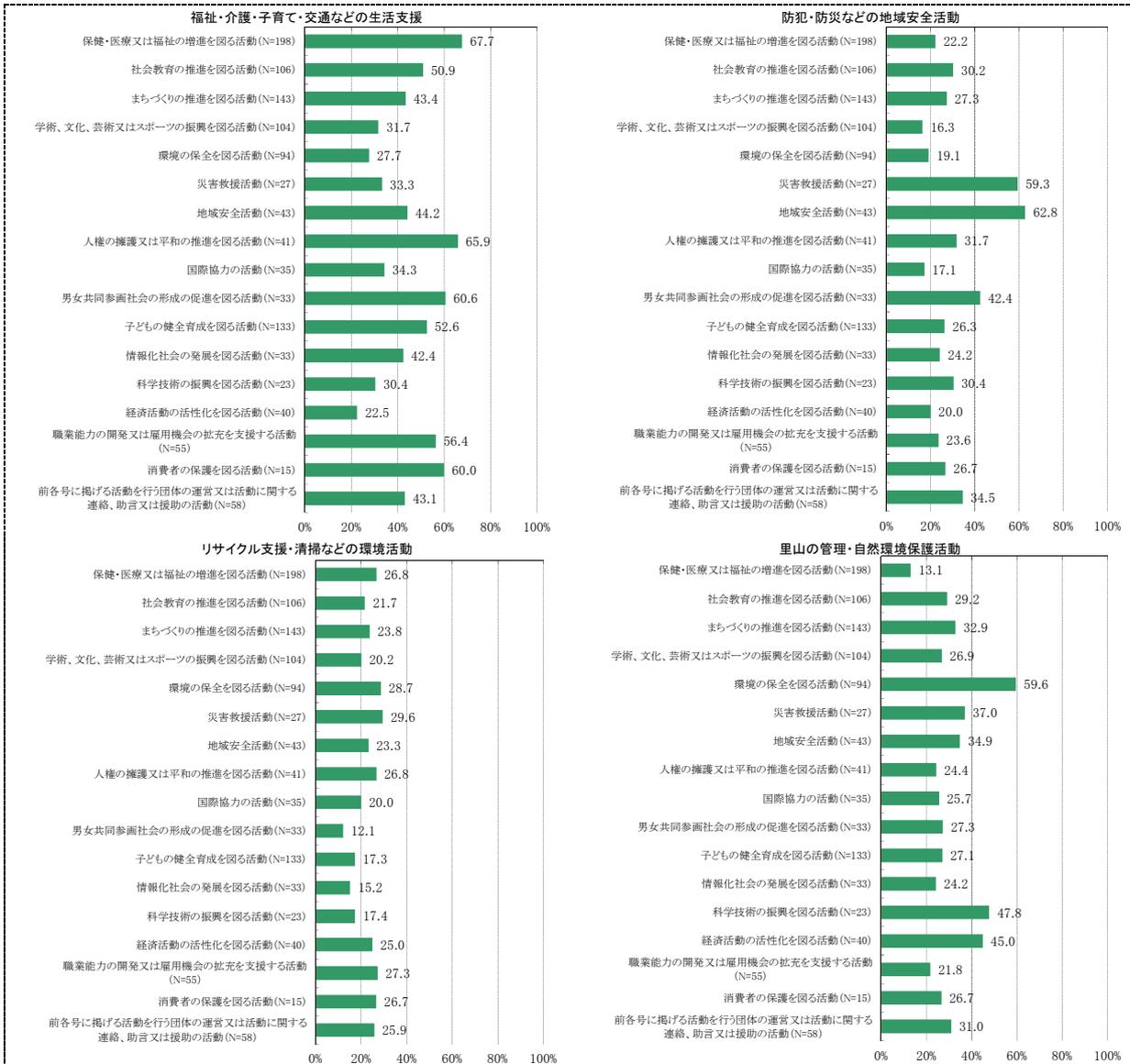
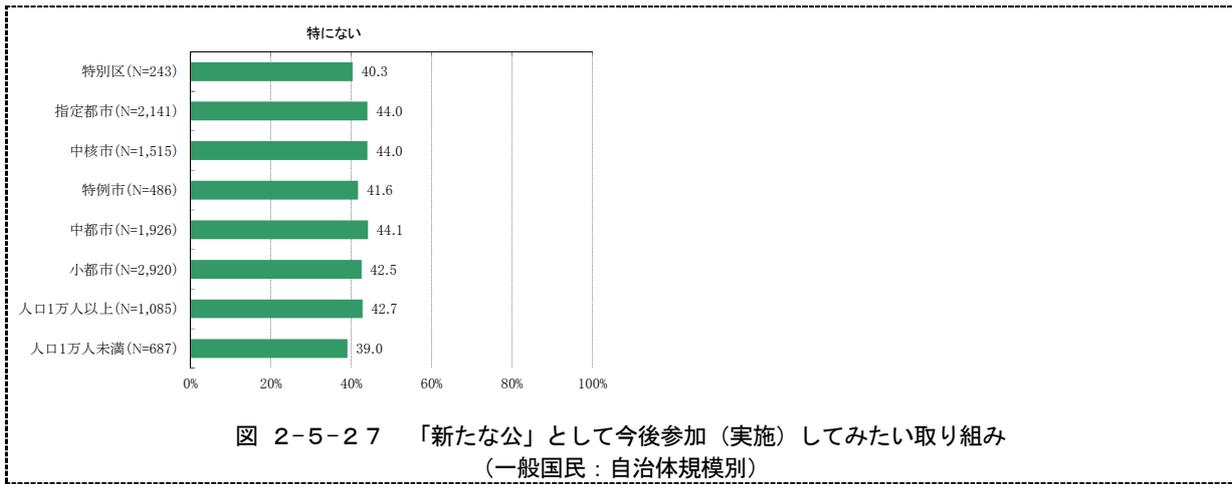
企業の回答を業種別に見ると、「福祉・介護・子育て・交通などの生活支援」という回答は、電気・ガス・熱供給・水道業で50.0%と半数を超していた。「防犯・防災などの地域安全活動」という回答は、建設業で52.9%、電気・ガス・熱供給・水道業で83.3%、情報通信業で66.7%、運輸業、郵便業で60.0%、金融業、保険業で50.0%、学術研究、専門・技術サービス業で50.0%、サービス業（他に分類されないもの）で50.0%と半数を超していた。「リサイクル支援・清掃などの環境活動」という回答は、鉱業、採石業、砂利採取業で100.0%、建設業で52.9%、電気・ガス・熱供給・水道業で83.3%、運輸業、郵便業で60.0%、卸売業、小売業で52.2%、金融業、保険業で59.1%、公務（他に分類されるものを除く）で100.0%、その他で57.1%と半数を超していた。「里山の管理・自然環境保護活動」という回答は、電気・ガス・熱供給・水道業で66.7%、学術研究、専門・技術サービス業で50.0%と半数を超していた。「地域文化の保全・継承活動」という回答は、電気・ガス・熱供給・水道業で100.0%、生活関連サービス業、娯楽業で100.0%と半数を超していた。「商店街活性化や農業支援などの地域振興活動」という回答は、電気・ガス・熱供給・水道業で66.7%、学術研究、専門・技術サービス業で50.0%、公務（他に分類されるものを除く）で100.0%と半数を超していた。「観光客・人材誘致などの交流促進活動」という回答は、電気・ガス・熱供給・水道業で83.3%、学術研究、専門・技術サービス業で50.0%、生活関連サービス業、娯楽業で100.0%、公務（他に分類されるものを除く）で100.0%と半数を超していた。（図 2-5-29）

問12 「新たな公」の一員として、あなたが今後参加（実施）してみたいと思う取り組みはありますか？

（上記は一般国民の質問文であるが、NPOには活動する地域において今後期待する取り組み、企業には会社が参加（実施）してみたい取り組みと各主体により質問文を変更している。）







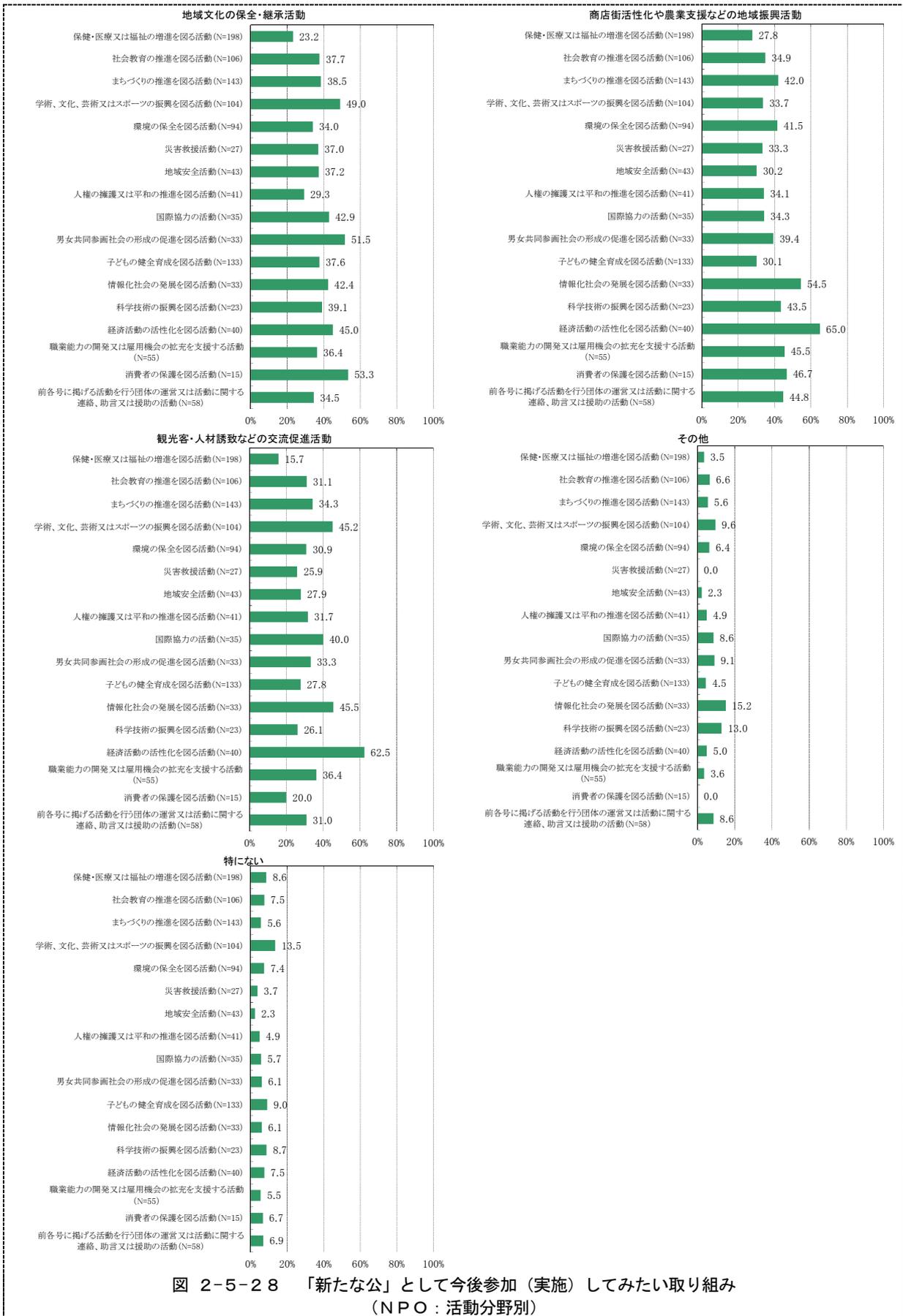
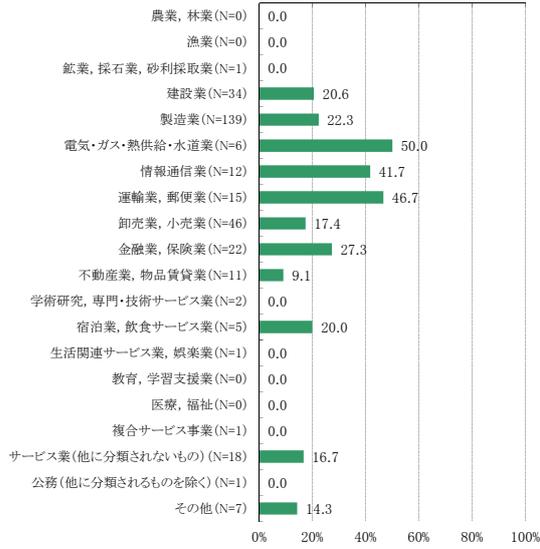
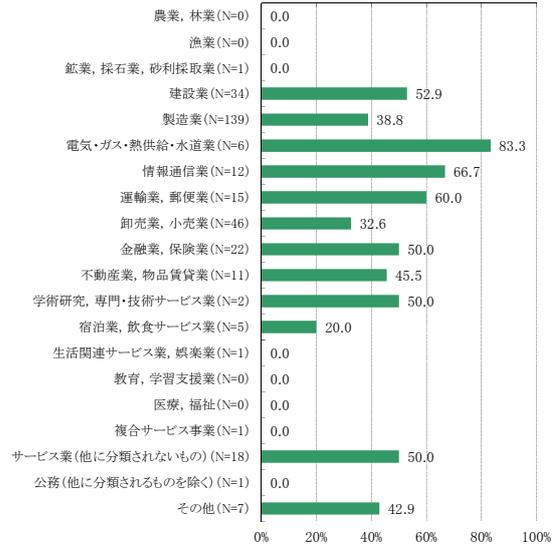


図 2-5-28 「新たな公」として今後参加（実施）してみたい取り組み (NPO：活動分野別)

福祉・介護・子育て・交通などの生活支援



防犯・防災などの地域安全活動

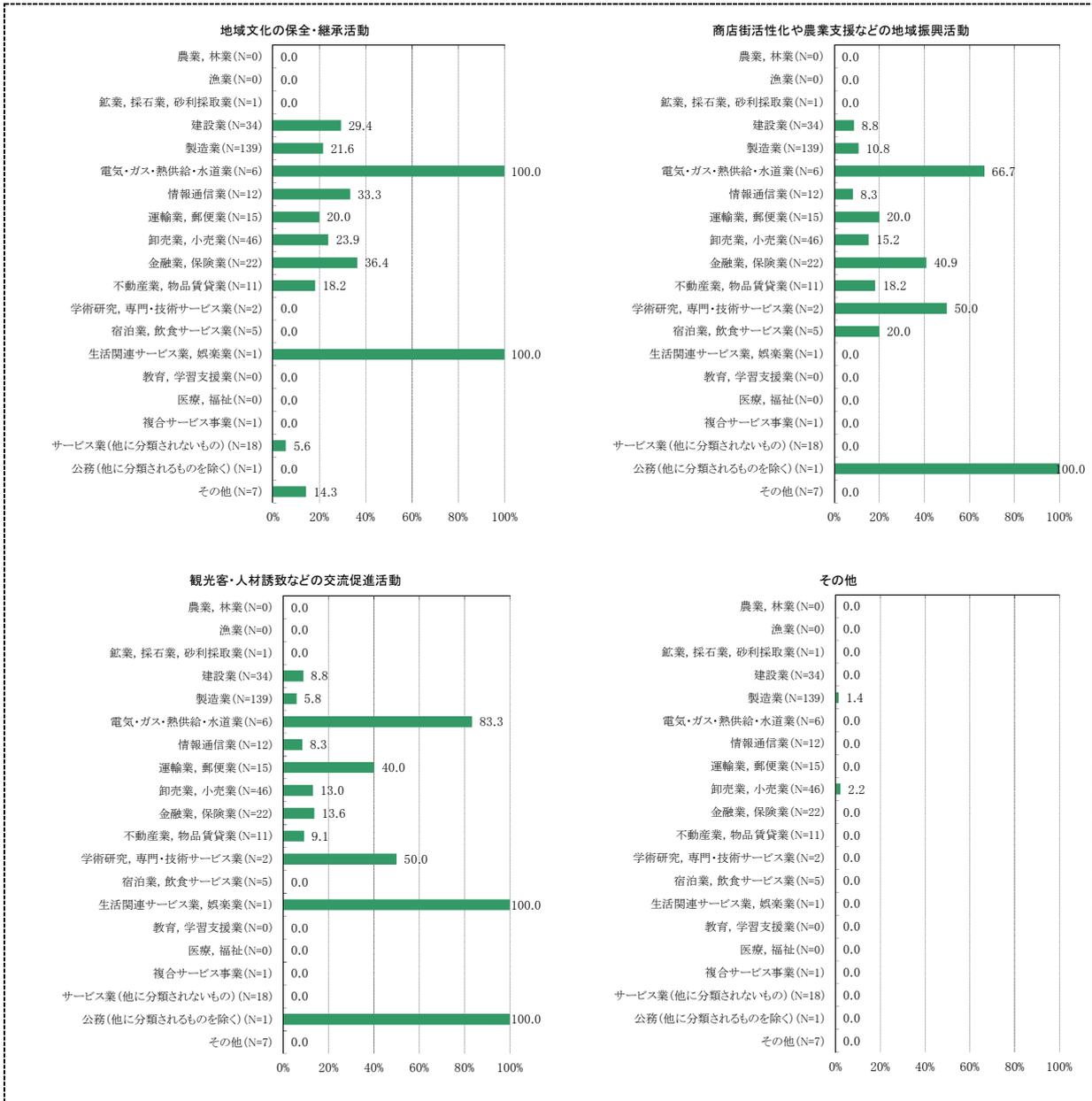


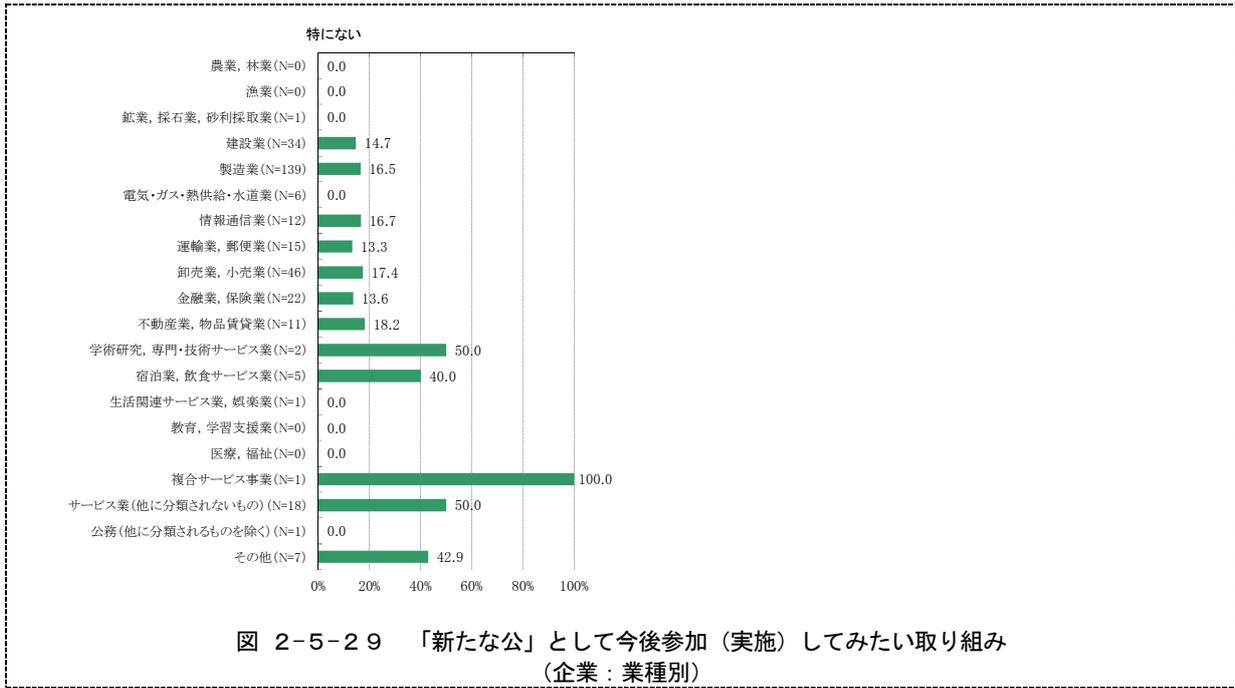
リサイクル支援・清掃などの環境活動



里山の管理・自然環境保護活動

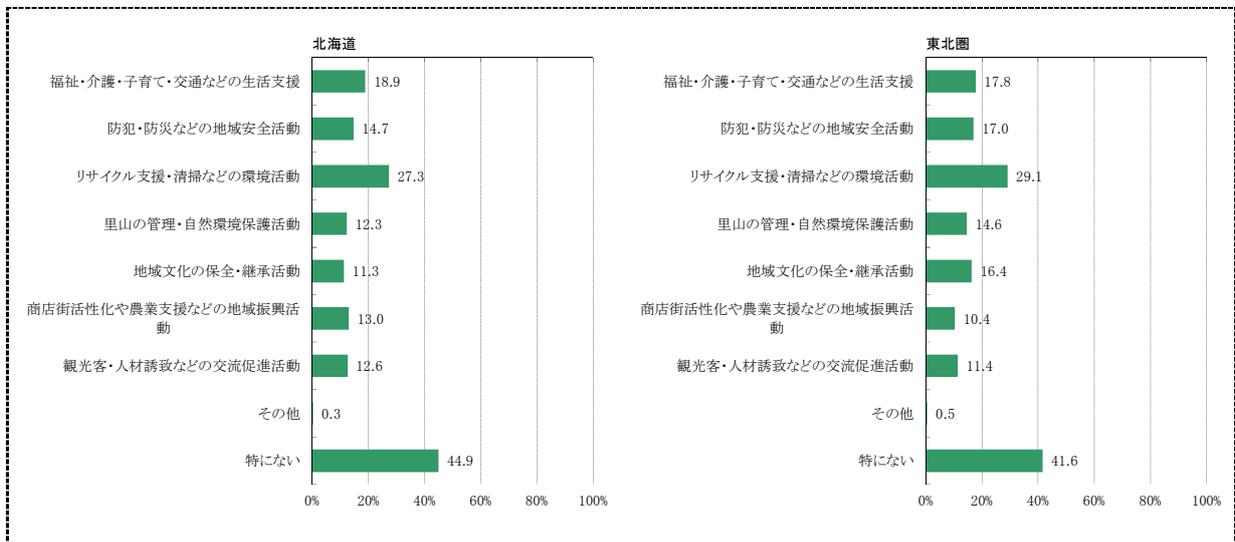


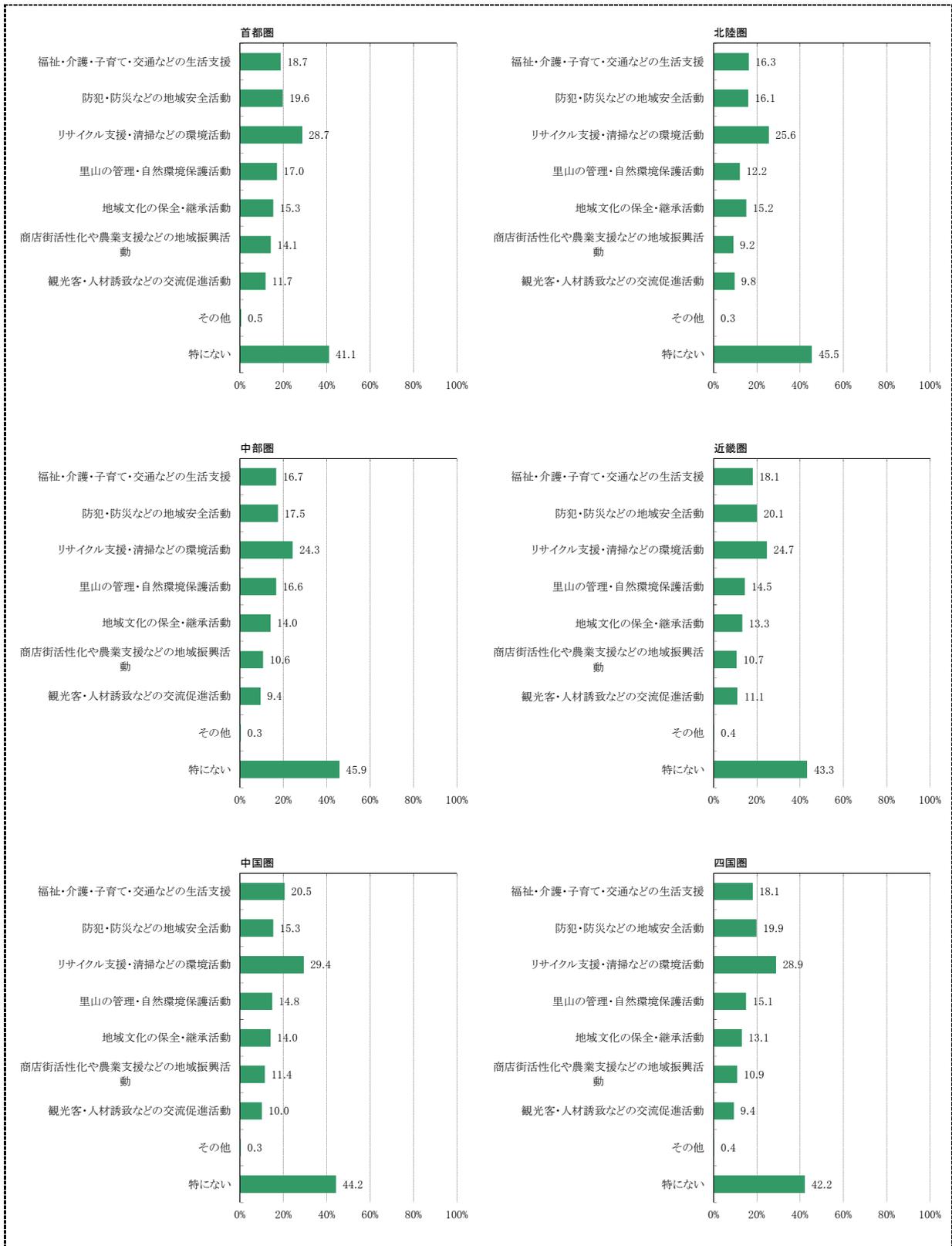


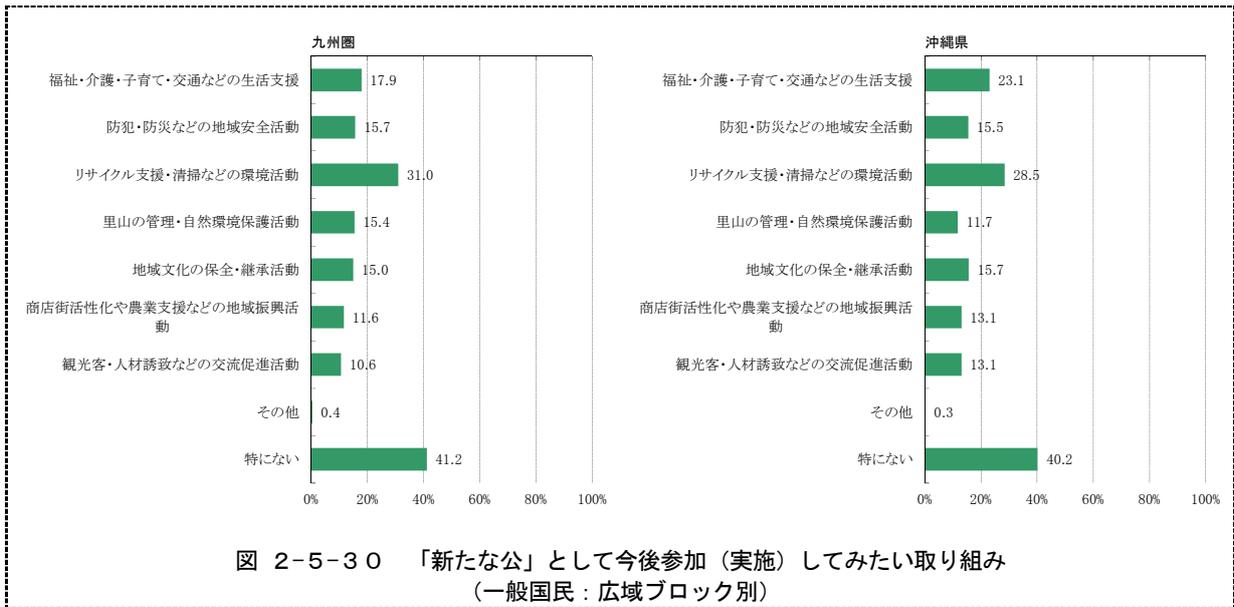


＜広域ブロック別の動向＞

一般国民の回答について広域ブロック別に見ると、どの広域ブロックにおいても、「新たな公」として今後参加（実施）してみたい取り組みについて、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-30）







2-5-7 進展を期待する取り組み（問12 専門家、問13 地方自治体）

「新たな公」として進展を期待する取り組みについて聞いたところ、「福祉・介護・子育て・交通などの生活支援」という回答は、地方自治体で72.7%、専門家で69.1%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「防犯・防災などの地域安全活動」という回答は、地方自治体で67.8%、専門家で58.6%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「地域文化の保全・継承活動」という回答は、地方自治体で50.5%、専門家で55.9%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「商店街活性化や農業支援などの地域振興活動」という回答は、地方自治体で68.9%、専門家で50.9%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「観光客・人材誘致などの交流促進活動」という回答は、地方自治体で63.5%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。（図 2-5-3 1）

地方自治体の回答について自治体規模別に見ると、「福祉・介護・子育て・交通などの生活支援」、「防犯・防災などの地域安全活動」、「商店街活性化や農業支援などの地域振興活動」及び「観光客・人材誘致などの交流促進活動」という回答は、いずれの自治体規模においても、半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「リサイクル支援・清掃などの環境活動」という回答は、都道府県庁で55.3%、特別区で69.2%、指定都市で66.7%、中都市で52.2%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「里山の管理・自然環境保護活動」という回答は、都道府県庁で61.7%、指定都市で50.0%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「地域文化の保全・継承活動」という回答は、人口1万人以上、人口1万人未満を除く全ての自治体規模で半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。（図 2-5-3 2）

専門家の回答について職業別に見ると、「福祉・介護・子育て・交通などの生活支援」という回答は、いずれの職業においても、半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「防犯・防災などの地域安全活動」という回答は、学生を除いた全ての職業で半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「リサイクル支援・清掃などの環境活動」という回答は、経営者・役員で51.2%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「里山の管理・自然環境保護活動」という回答は、研究者（大学・短大・高専など高等教育機関の教員）で55.6%、会社員（研究者以外）で51.1%、その他で61.5%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「地域文化の保全・継承活動」という回答は、学生を除いた全ての職業で半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。「商店街活性化や農業支援などの地域振興活動」という回答は、会社員（研究者以外）で58.7%、学生で70.0%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。（図 2-5-3 3）

問10 「新たな公」の取り組みとして、あなたが勤務する自治体において、今後どのような取り組みが進むことを期待しますか？

（上記は地方自治体の質問文であるが、専門家には日本の各地域で進展を期待する取り組みと各主体により質問文を変更している。）

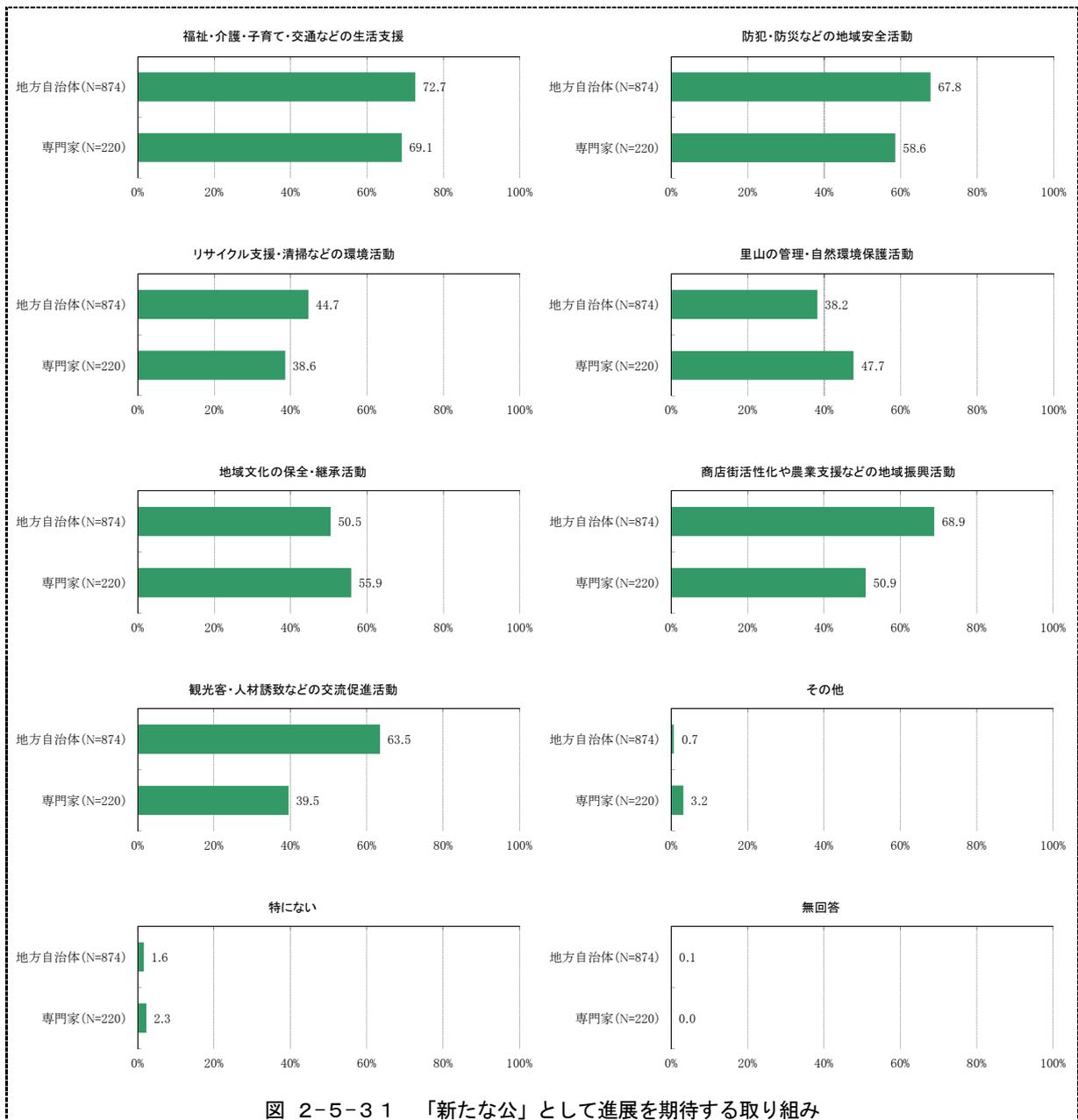
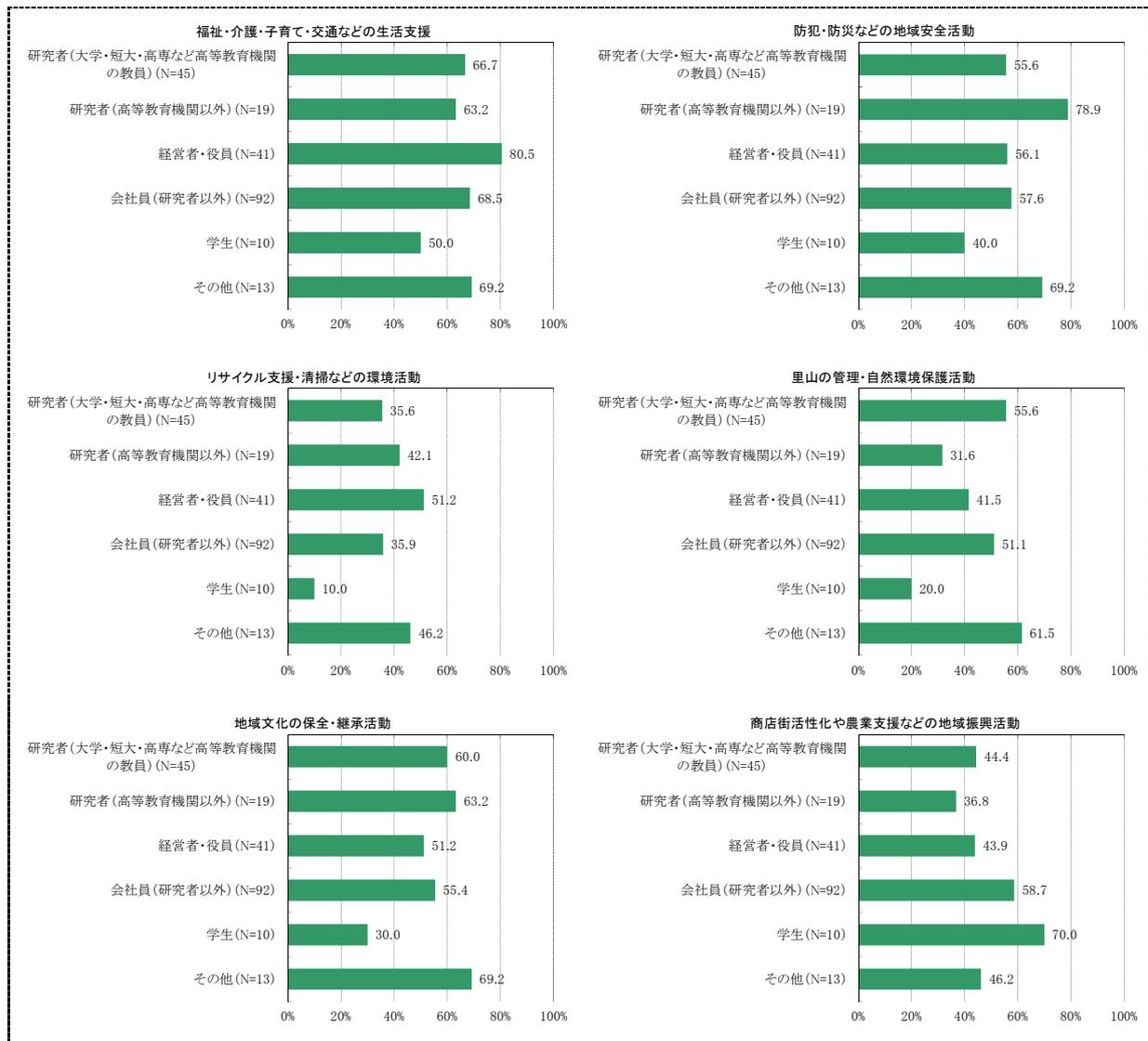
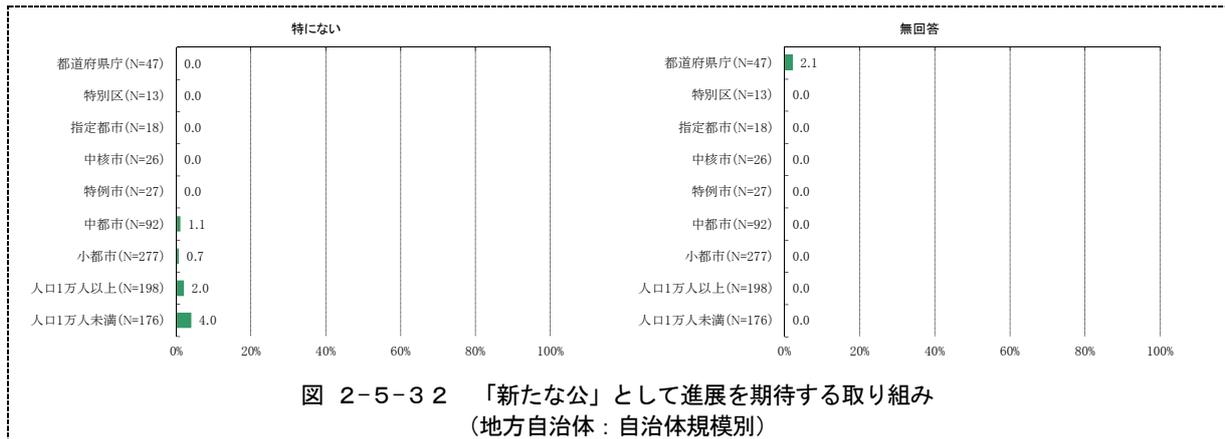
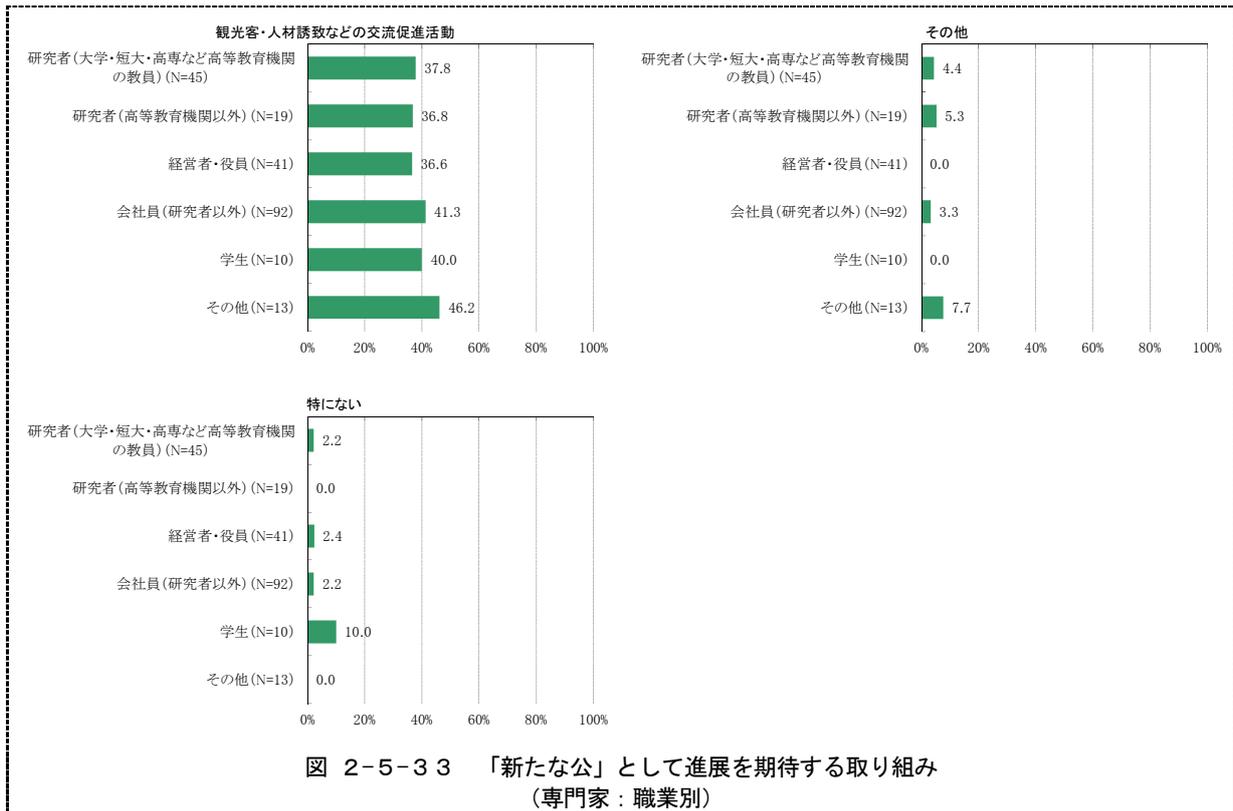


図 2-5-3 1 「新たな公」として進展を期待する取り組み

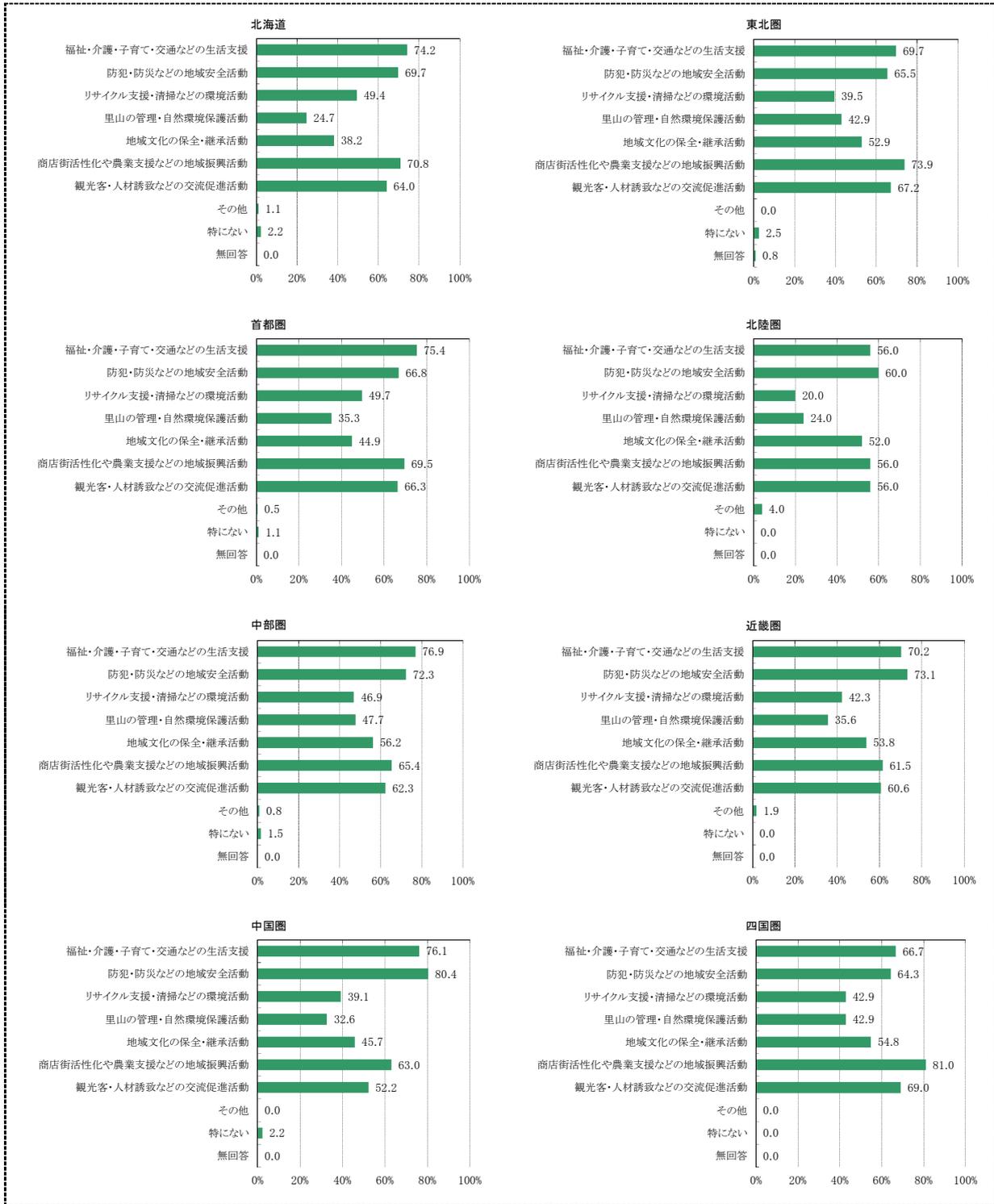


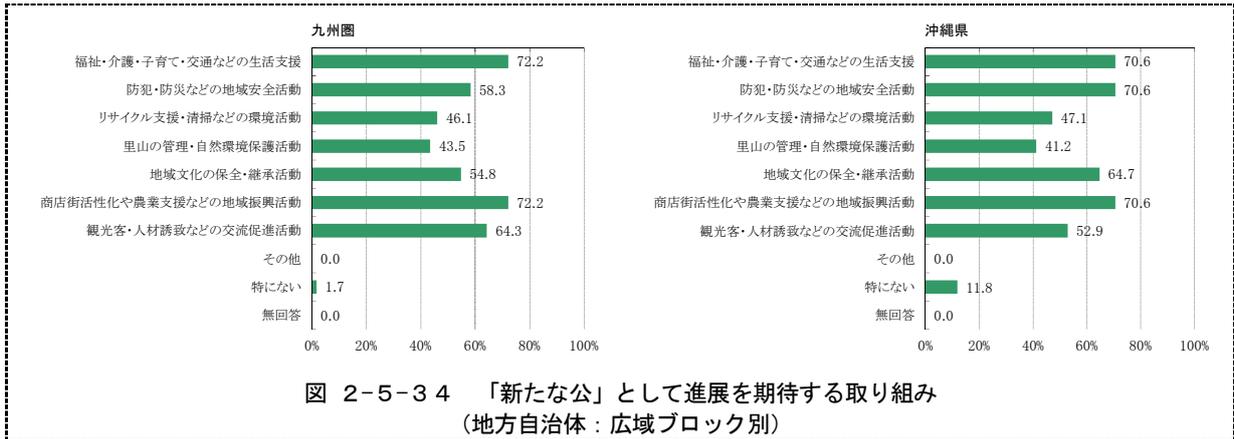




<広域ブロック別の動向>

地方自治体の回答について広域ブロック別に見ると、北海道では、「福祉・介護・子育て・交通などの生活支援」、「防犯・防災などの地域安全活動」、「商店街活性化や農業支援などの地域振興活動」及び「観光客・人材誘致などの交流促進活動」という回答が、それぞれ74.2%、69.7%、70.8%、64.0%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。東北圏では、「福祉・介護・子育て・交通などの生活支援」、「防犯・防災などの地域安全活動」、「地域文化の保全・継承活動」、「商店街活性化や農業支援などの地域振興活動」及び「観光客・人材誘致などの交流促進活動」という回答が、それぞれ69.7%、65.5%、52.9%、73.9%、67.2%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。首都圏では、北海道と同じ4項目の回答が、それぞれ75.4%、66.8%、69.5%、66.3%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。北陸圏では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ56.0%、60.0%、52.0%、56.0%、56.0%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。中部圏では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ76.9%、72.3%、56.2%、65.4%、62.3%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。近畿圏では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ70.2%、73.1%、53.8%、61.5%、60.6%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。中国圏では、北海道と同じ4項目の回答が、それぞれ76.1%、80.4%、63.0%、52.2%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。四国圏では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ66.7%、64.3%、54.8%、81.0%、69.0%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。九州圏では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ72.2%、58.3%、54.8%、72.2%、64.3%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。沖縄県では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ70.6%、70.6%、64.7%、70.6%、52.9%と半数を超しており、取り組みが進展することが期待されていると言える。(図 2-5-34)





2-5-8 活発化を期待する団体・活動（問13 専門家・NPO・企業、問14 地方自治体）

「新たな公」として活発になることを期待する団体・活動について聞いたところ、「自治会」という回答は、地方自治体で67.8%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「商店会（商店主の集まりなど）」という回答は、地方自治体で57.4%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO」という回答は、地方自治体で58.5%、NPOで62.4%、専門家で54.1%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答は、いずれの主体においても半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答は、地方自治体で57.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。

（図 2-5-35）

地方自治体の回答について自治体規模別に見ると、「自治会」という回答は、いずれの自治体規模においても半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「学校（PTA含む）」という回答は、指定都市で50.0%、中都市で52.2%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「商店会（商店主の集まりなど）」という回答は、都道府県庁を除く全ての自治体規模で半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO」という回答は、人口1万人以上、人口1万人未満を除く全ての自治体規模で半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答は、人口1万人以上、人口1万人未満を除く全ての自治体規模で半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答は、いずれの自治体規模においても半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。（図 2-5-36）

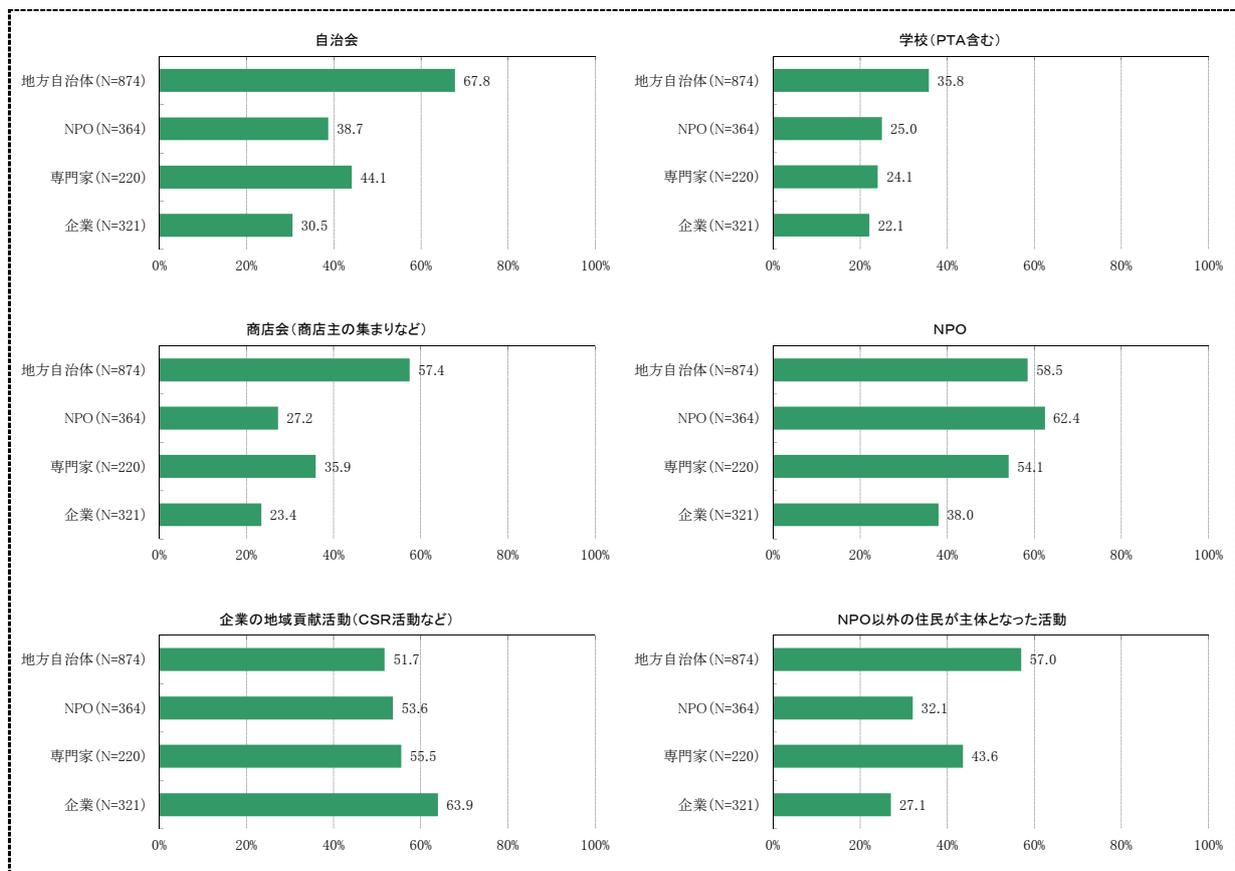
NPOの回答について活動分野別に見ると、「自治会」という回答は、環境の健全を図る活動で50.0%、災害援助活動で70.4%、地域安全活動で53.5%、男女共同参画社会の形成の促進を図る活動で63.6%、科学技術の振興を図る活動で56.5%、消費者の保護を図る活動で60.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「学校（PTA含む）」という回答は、男女共同参画社会の形成の促進を図る活動で54.5%、消費者の保護を図る活動で53.3%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO」、「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答は、いずれの活動分野においても、半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答は、情報化社会の発展を図る活動で51.5%、経済活動の活性化を図る活動で52.5%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。（図 2-5-37）

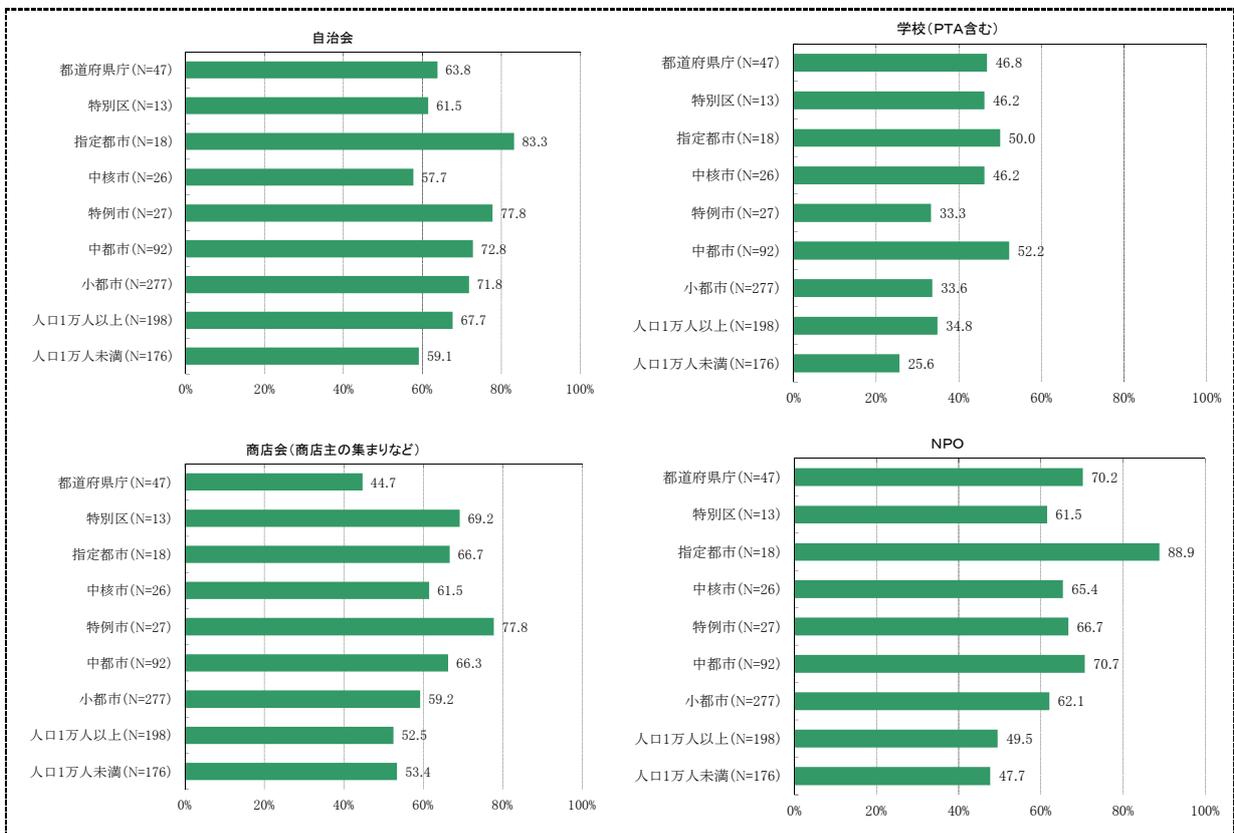
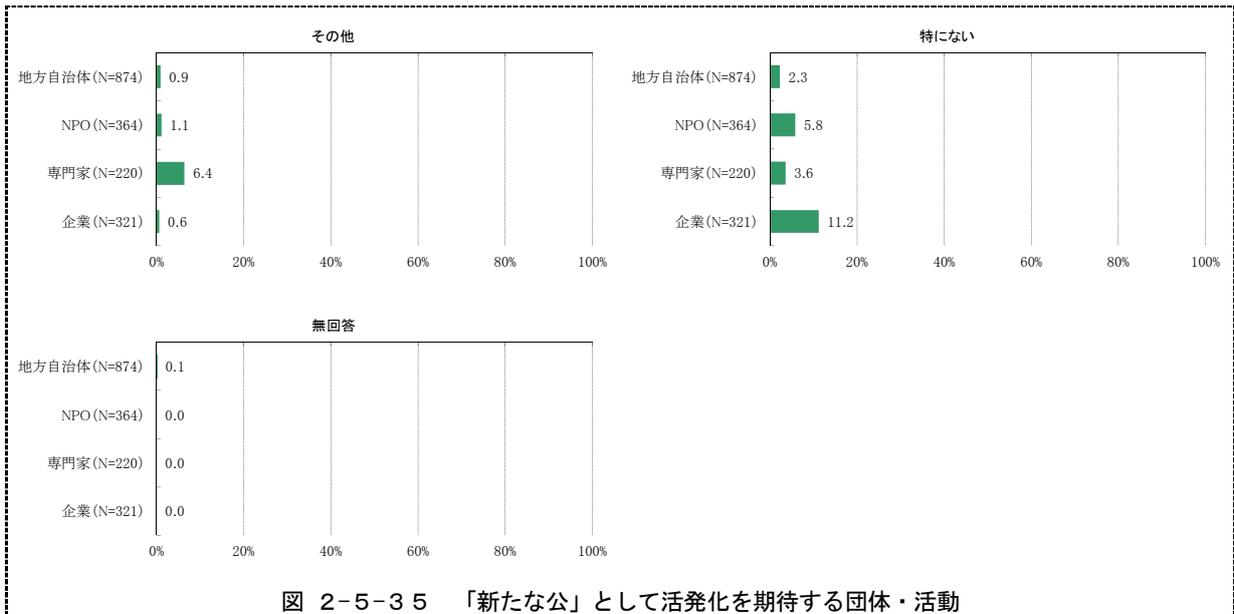
専門家の回答について職業別に見ると、「自治体」という回答は、その他で76.9%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「商店会（商店主の集まりなど）」という回答は、学生で60.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO」という回答は、学生を除く全ての職業で半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答は、いずれの職業でも半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答は、会社員（研究者以外）で50.0%、その他で53.8%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。（図 2-5-38）

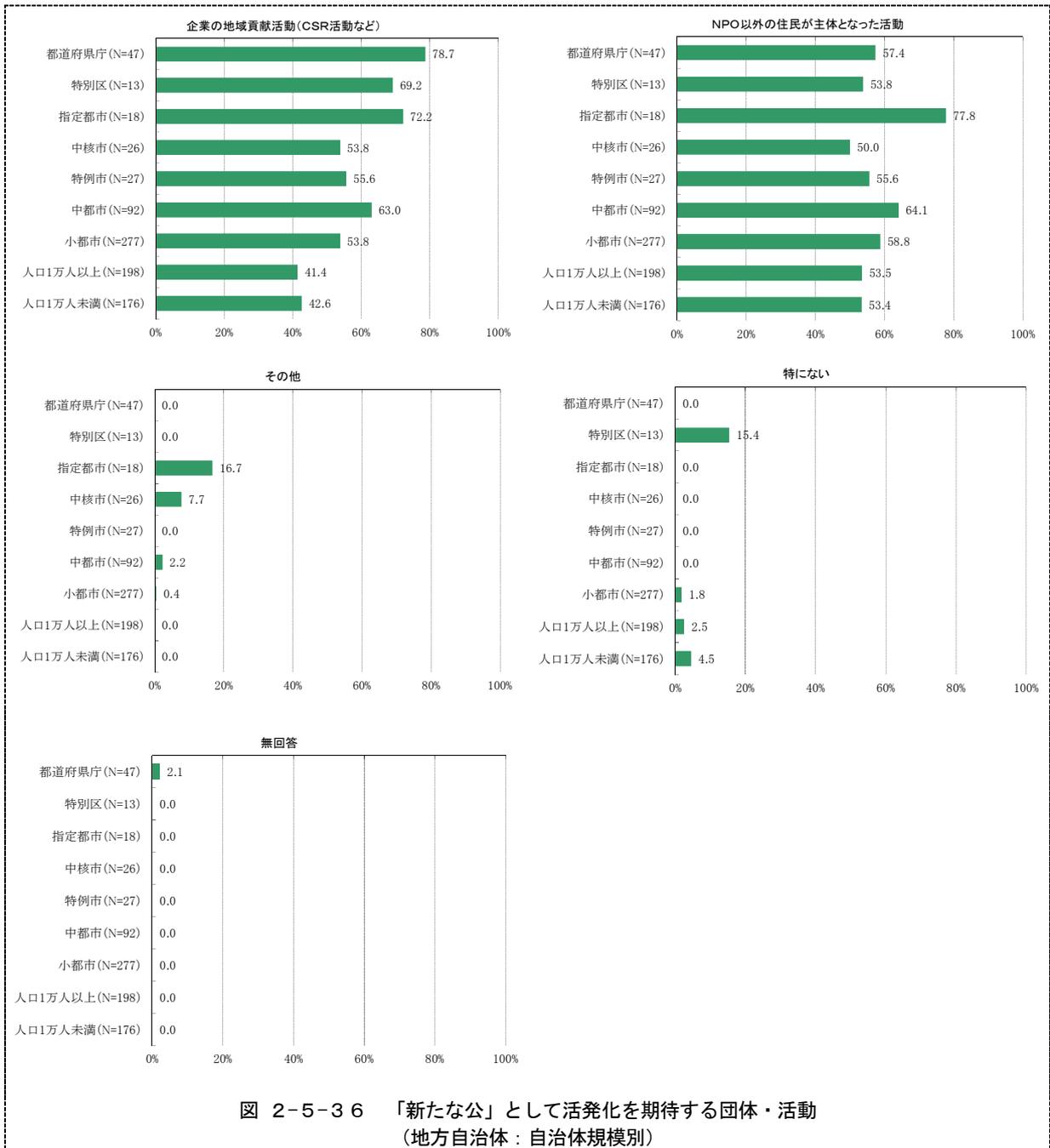
企業の回答について業種別に見ると、「自治会」という回答は、鉱業、採石業、砂利採取業で100.0%、電気・ガス・熱供給・水道業で66.7%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「学校（PTA含む）」という回答は、鉱業、採石業、砂利採取業で100.0%、電気・ガス・熱供給・水道業で66.7%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「商店会（商店主の集まりなど）」という回答は、鉱業、採石業、砂利採取業で100.0%、電気・ガス・熱供給・水道業で50.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO」という回答は、鉱業、採石業、砂利採取業で100.0%、電気・ガス・熱供給・水道業で50.0%、情報通信業で50.0%、生活関連サービス業、娯楽業で100.0%、公務（他に分類されるものを除く）で100.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答は、複合サービス業と有効回答数が0であった業種を除く全ての業種で半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答は、鉱業、採石業、砂利採取業で100.0%、電気・ガス・熱供給・水道業で50.0%、運輸業、郵便業で53.3%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。（図 2-5-39）

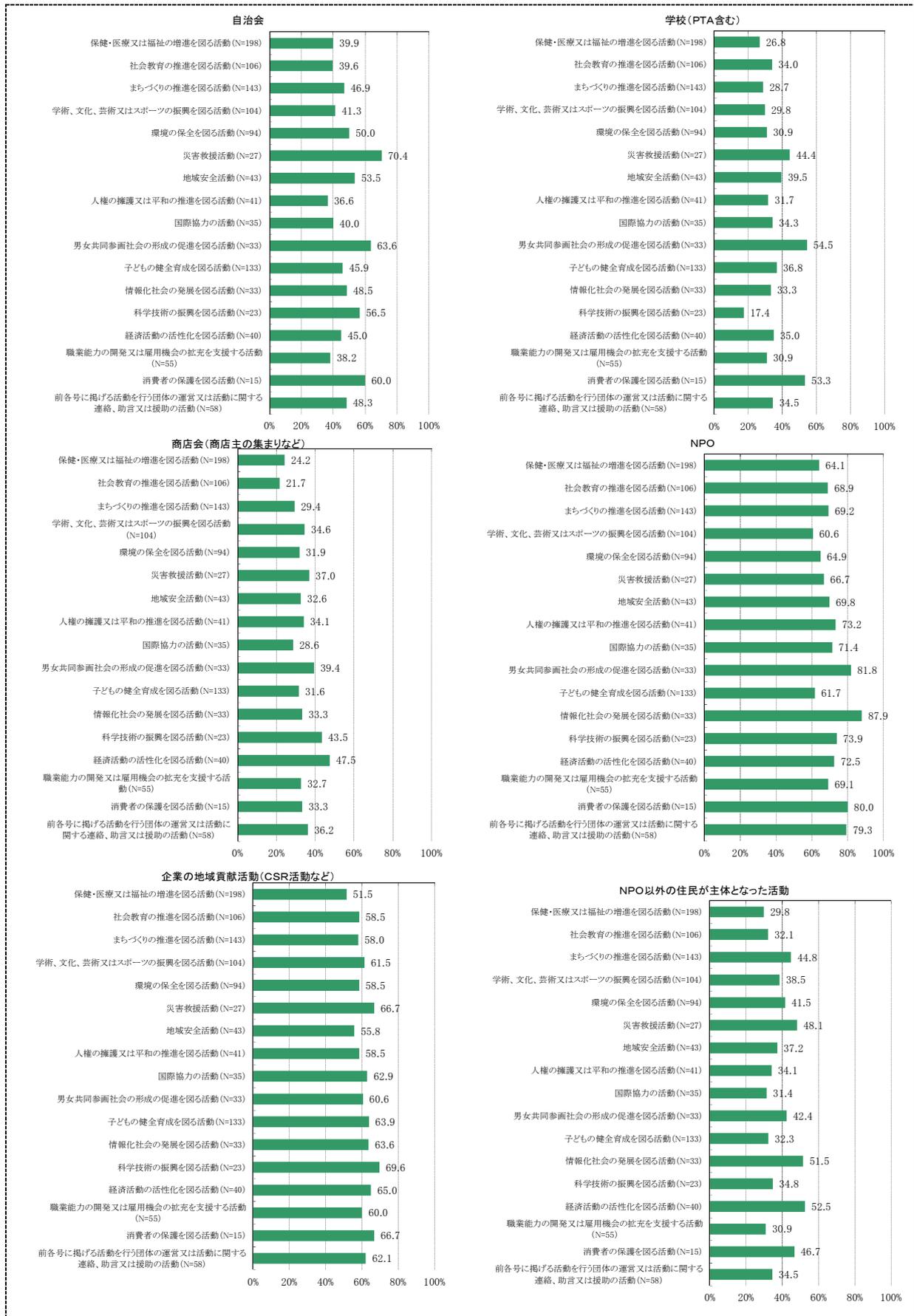
問12 「新たな公」の取り組みとして、あなたが勤務する自治体において、今後どのような団体・活動が活発になることを期待しますか？

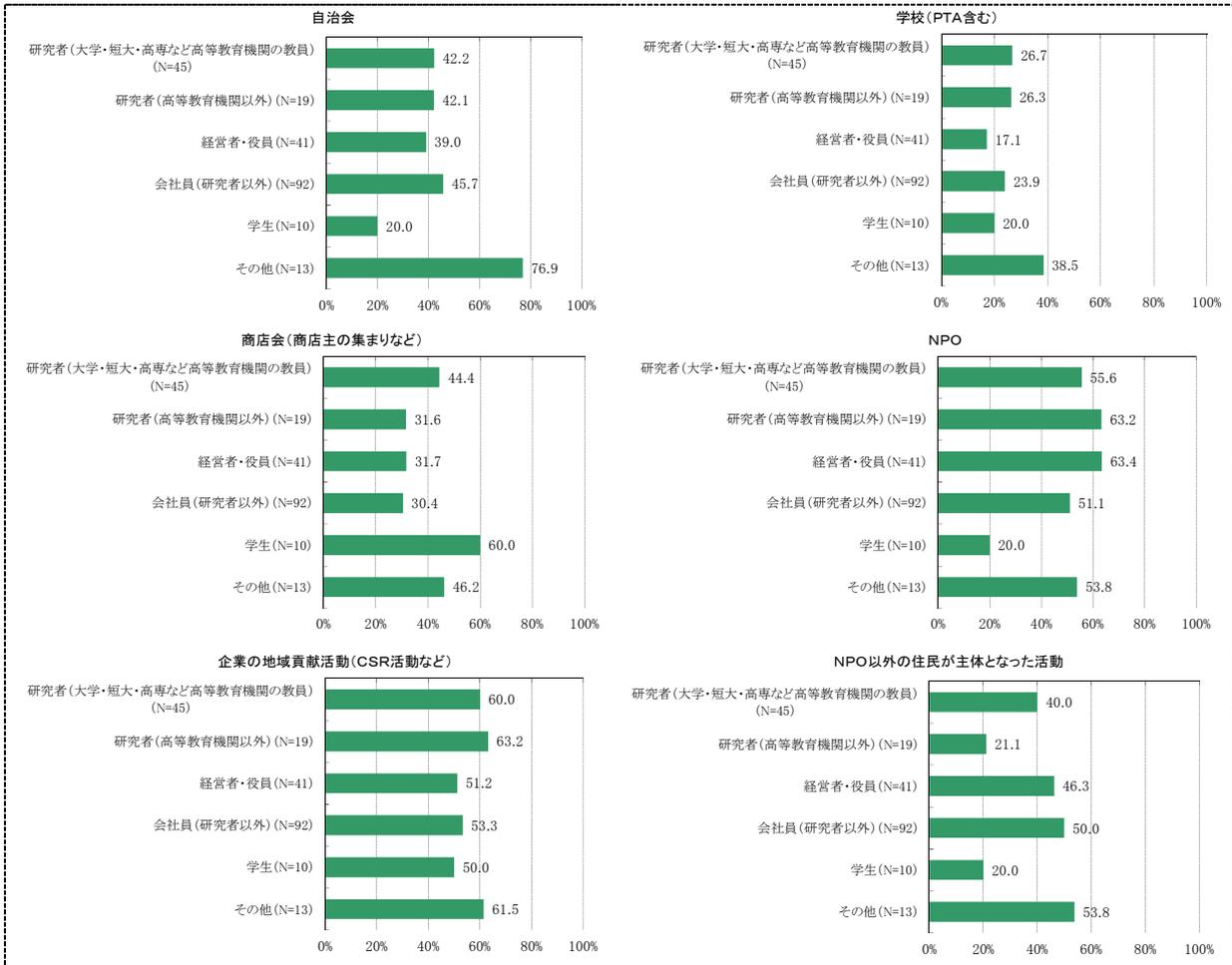
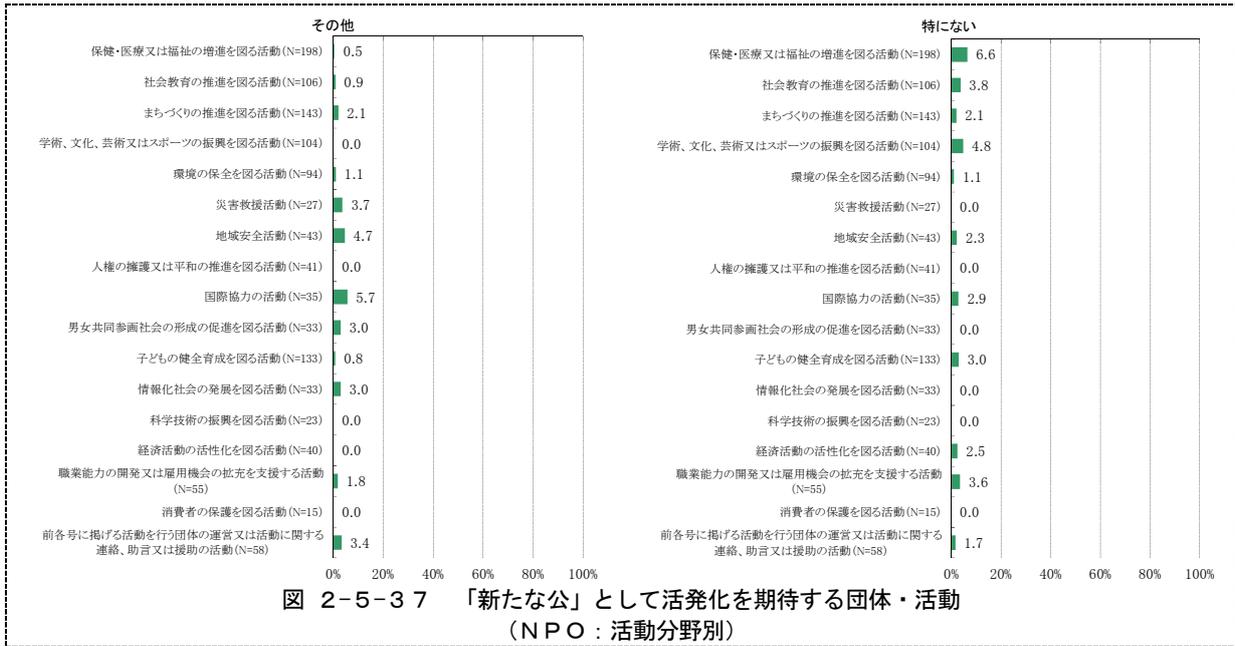
（上記は地方自治体の質問文であるが、専門家、企業には日本の各地域で活動の活発化を期待する活動・団体、NPOには活動する地域において活動の活発化を期待する活動・団体と各主体により質問文を変更している。）

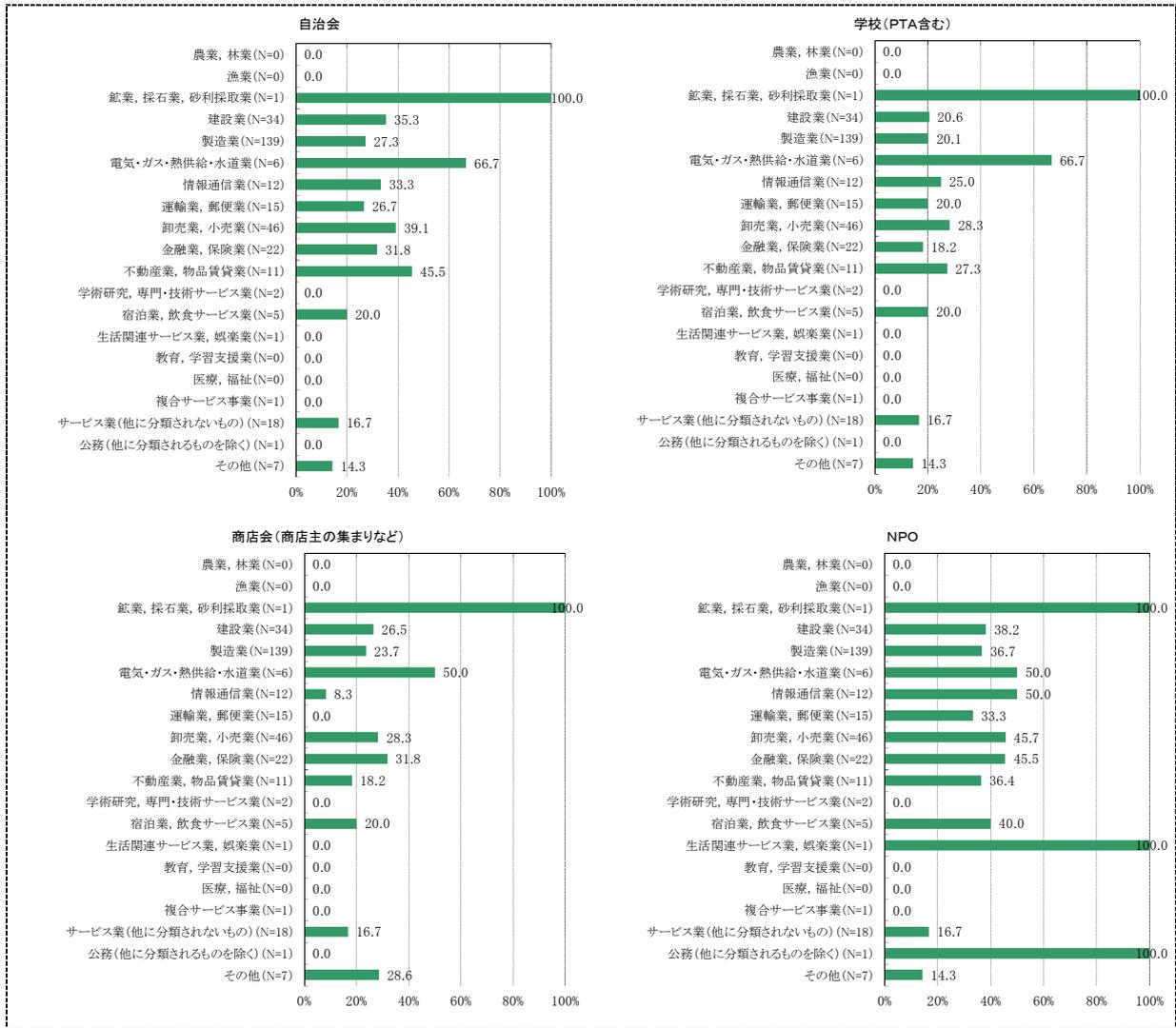
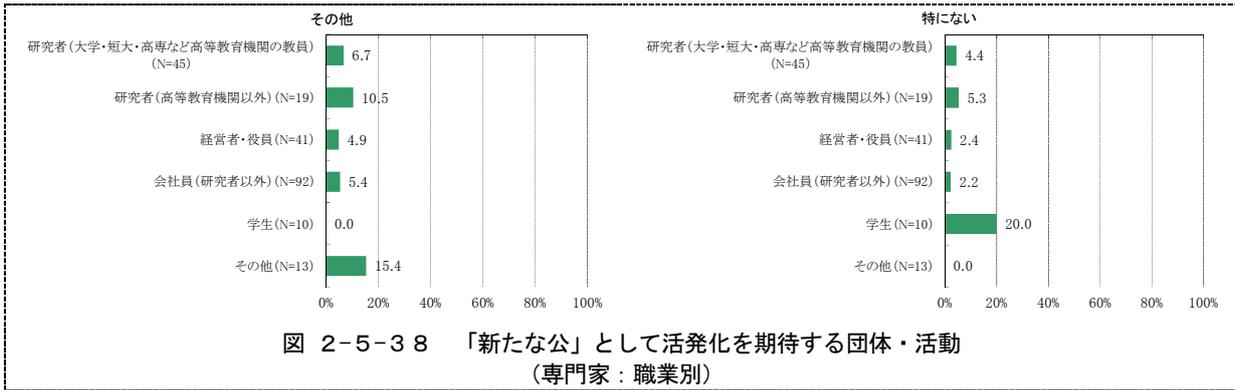












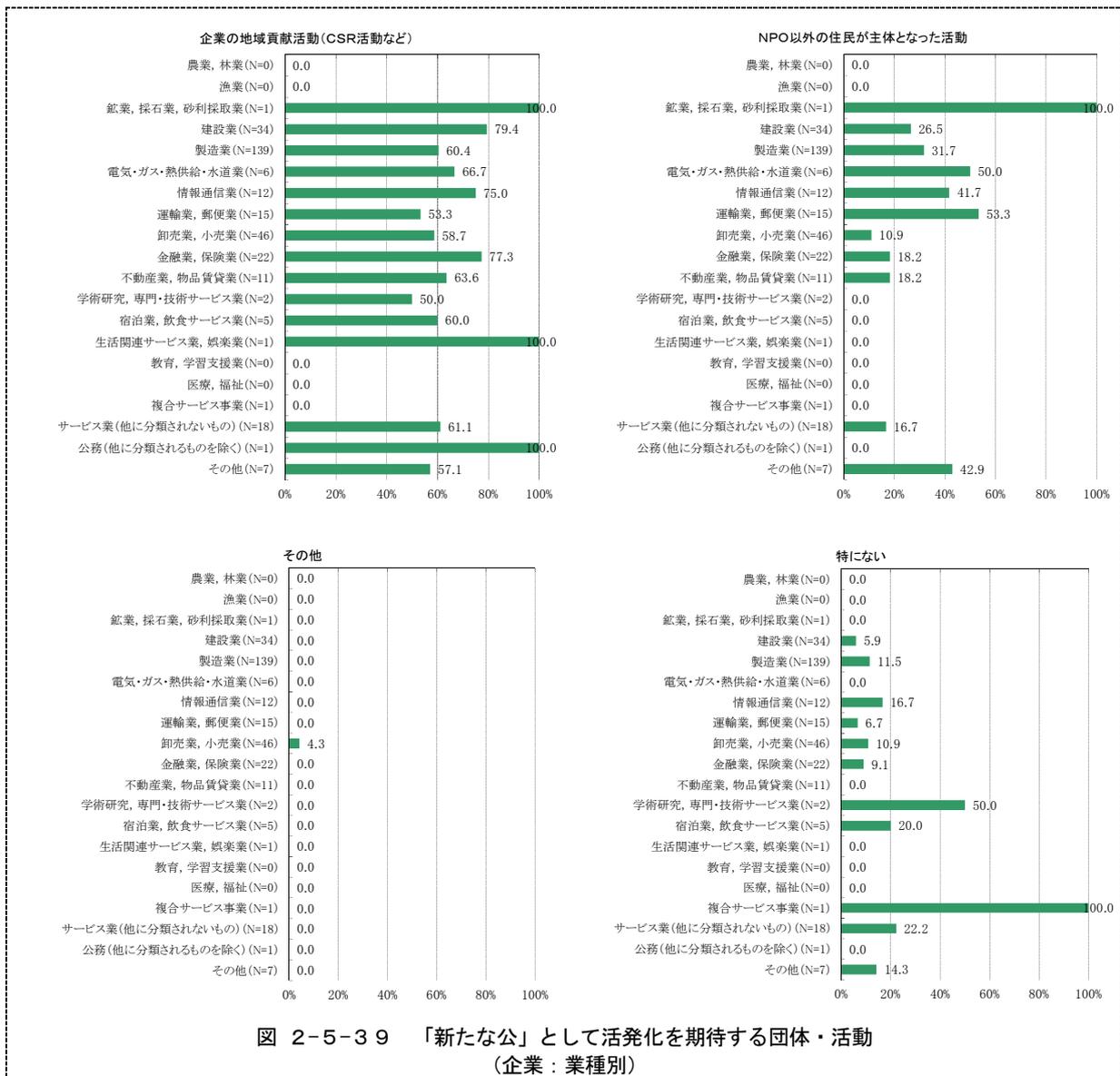
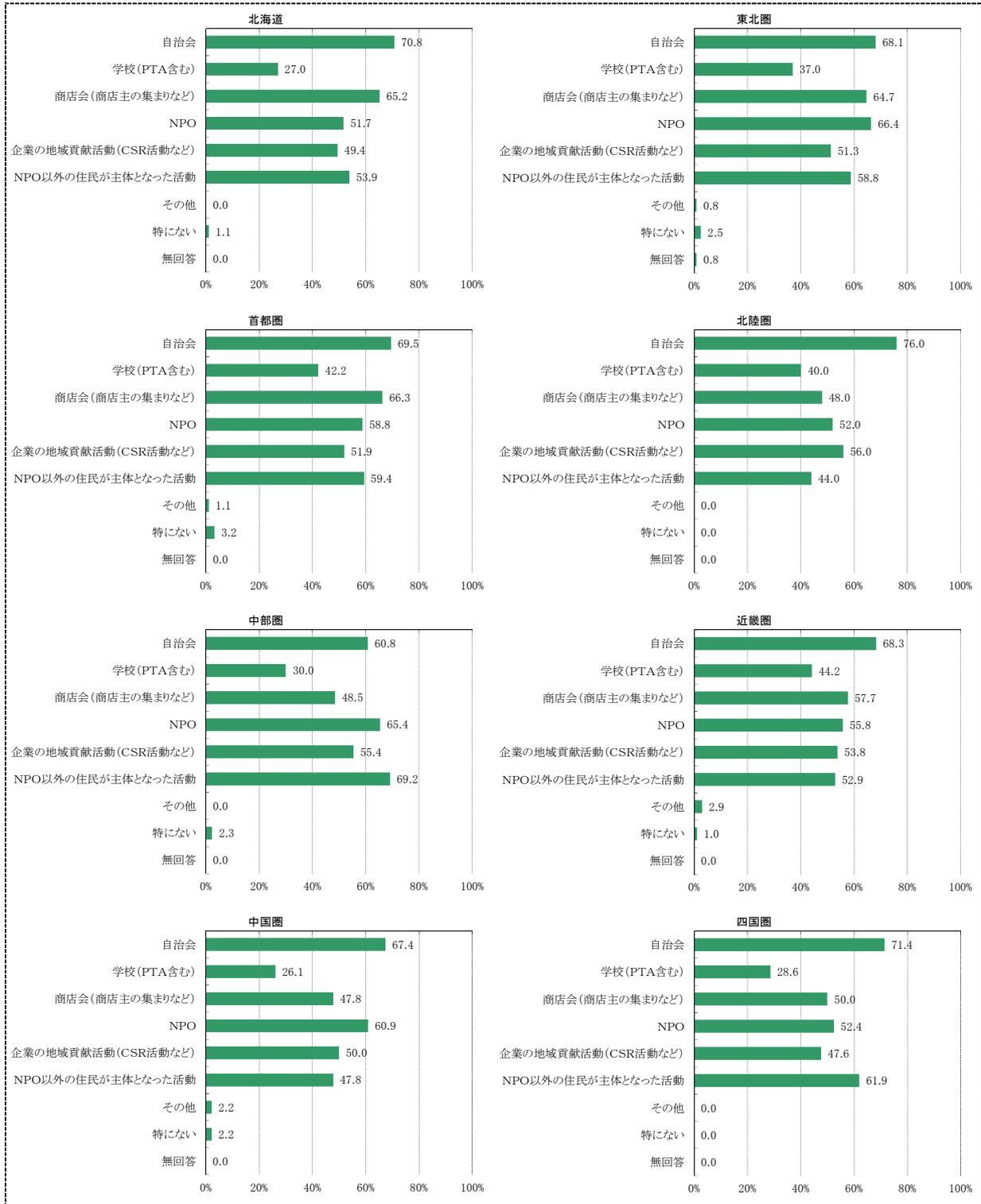


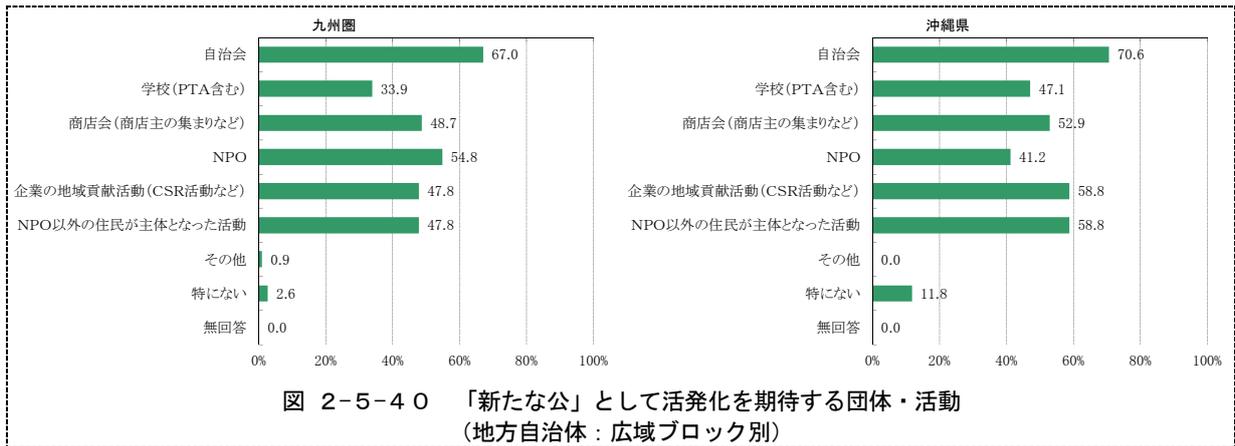
図 2-5-39 「新たな公」として活発化を期待する団体・活動 (企業：業種別)

<広域ブロック別の動向>

地方自治体の回答について広域ブロック別に見ると、北海道では、「自治会」、「商店会（商店主の集まりなど）」、「NPO」、「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答が、それぞれ70.8%、65.2%、51.7%、53.9%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。東北圏では、「自治会」、「商店会（商店主の集まりなど）」、「NPO」、「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」、「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答が、それぞれ68.1%、64.7%、66.4%、51.3%、58.8%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。首都圏では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ69.5%、66.3%、58.8%、51.9%、59.4%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。北陸圏では、「自治体」、「NPO」、「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答が、それぞれ76.0%、52.0%、56.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。中部圏では、「自治体」、「NPO」、「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」、「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答が、それぞれ60.8%、65.4%、55.4%、69.2%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。近畿圏では、東北圏と同じ5項目の回答が、それぞれ68.3%、57.7%、55.8%、53.8%、52.9%と半数を超しており、その団体・活動が活発になること

が期待されていると言える。中国圏では、「自治体」、「NPO」、「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」という回答が、それぞれ67.4%、60.9%、50.0%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。四国圏では、北海道と同じ4項目の回答が、それぞれ71.4%、50.0%、52.4%、61.9%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。九州圏では、「自治体」、「NPO」という回答が、それぞれ67.0%、54.8%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。沖縄県では、「自治体」、「商店会（店主の集まりなど）」、「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」、「NPO以外の住民が主体となった活動」という回答が、それぞれ70.6%、52.9%、58.8%、58.8%と半数を超しており、その団体・活動が活発になることが期待されていると言える。（図 2-5-40）





2-5-9 今後参加してみたい団体・活動（問13 一般国民）

「新たな公」として今後参加してみたい団体・活動を聞いたところ、「新たな公」として今後参加してみたい団体・活動について、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-4 1）

一般国民の回答について自治体規模別に見ると、いずれの自治体規模においても、「新たな公」として今後参加してみたい団体・活動について、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-4 2）

問11 「新たな公」の一員として、あなたが今後参加してみたいと思う団体・活動はありますか？

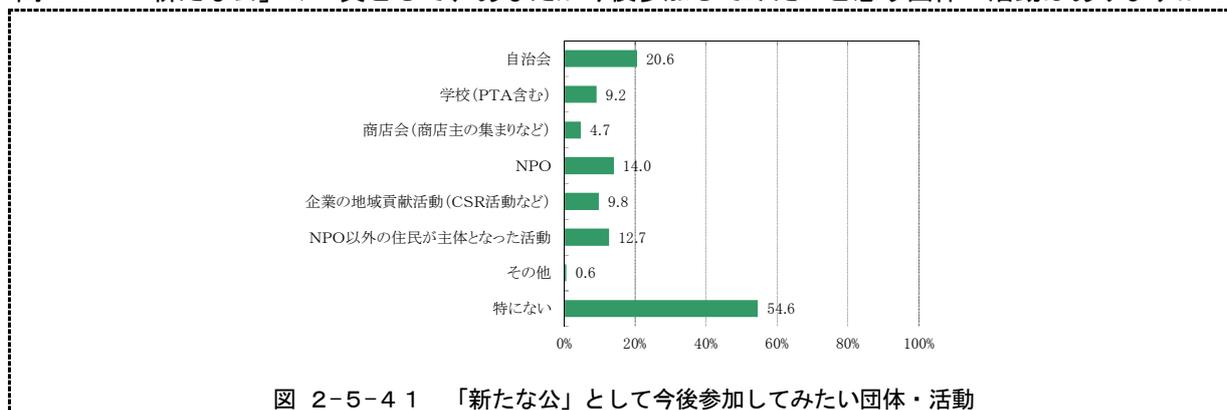
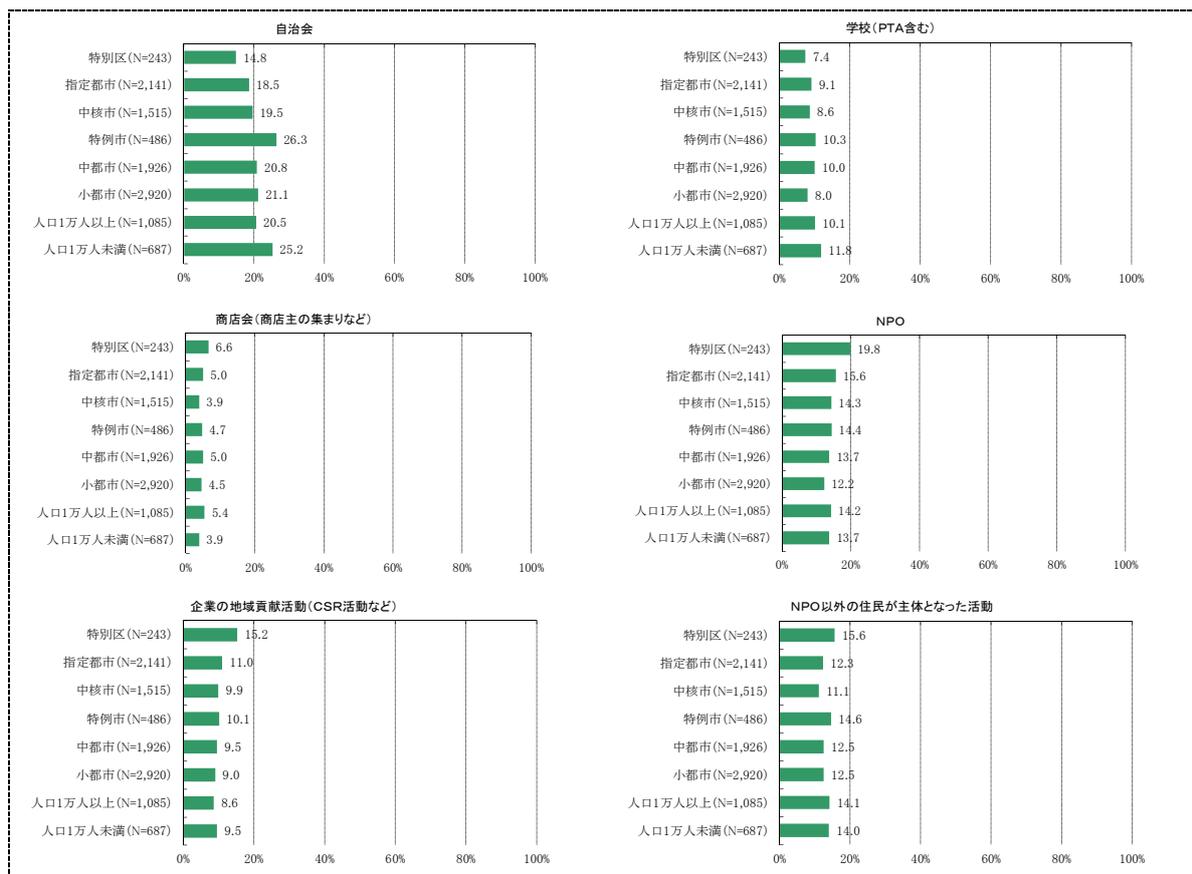
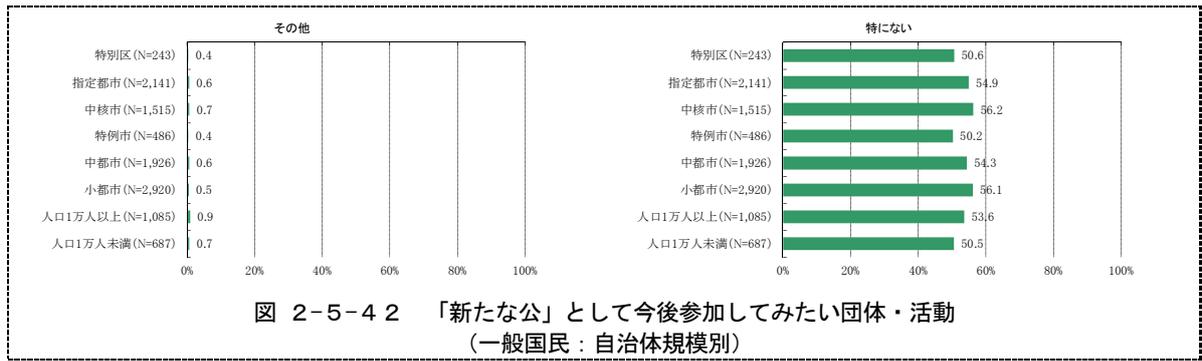


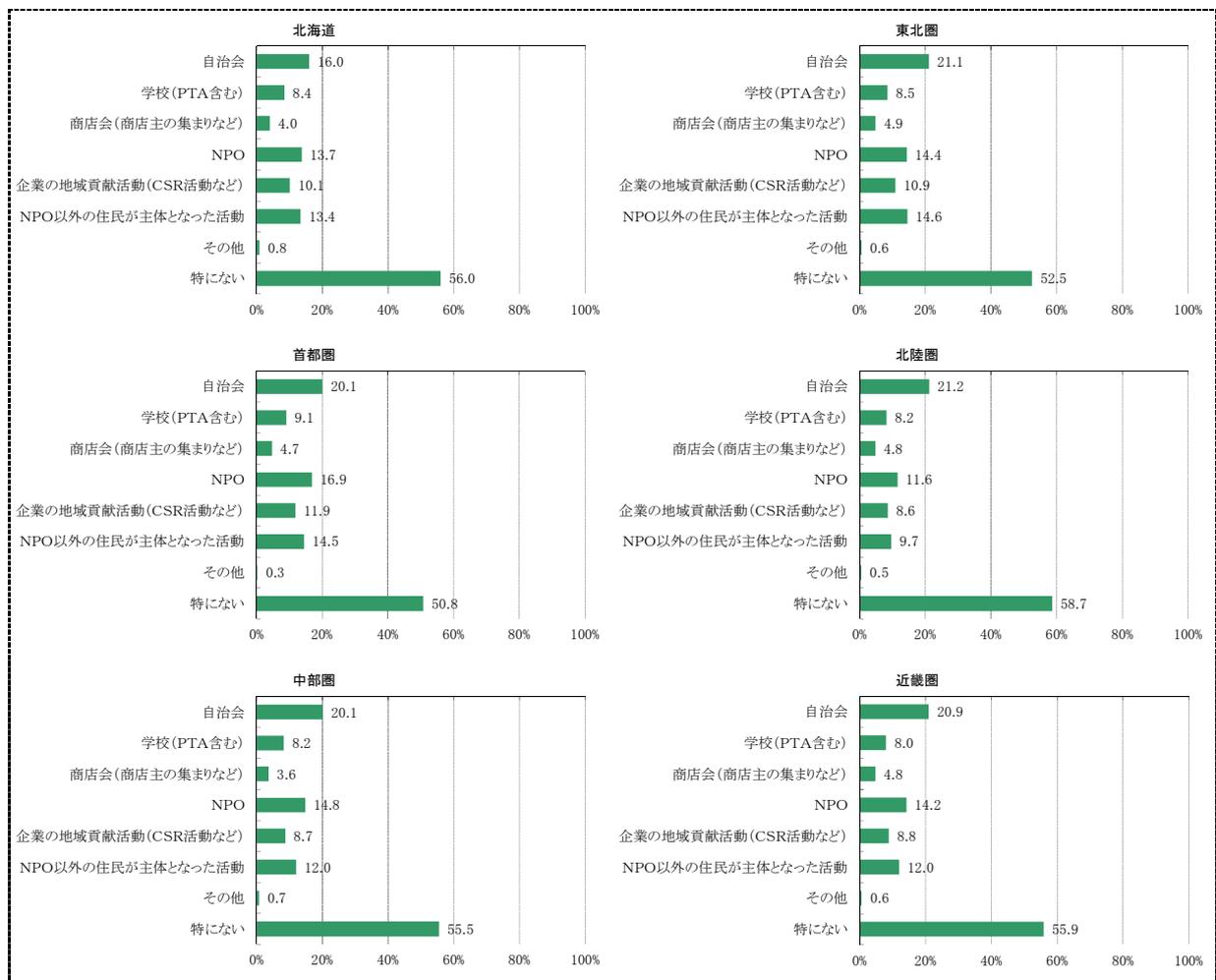
図 2-5-4 1 「新たな公」として今後参加してみたい団体・活動

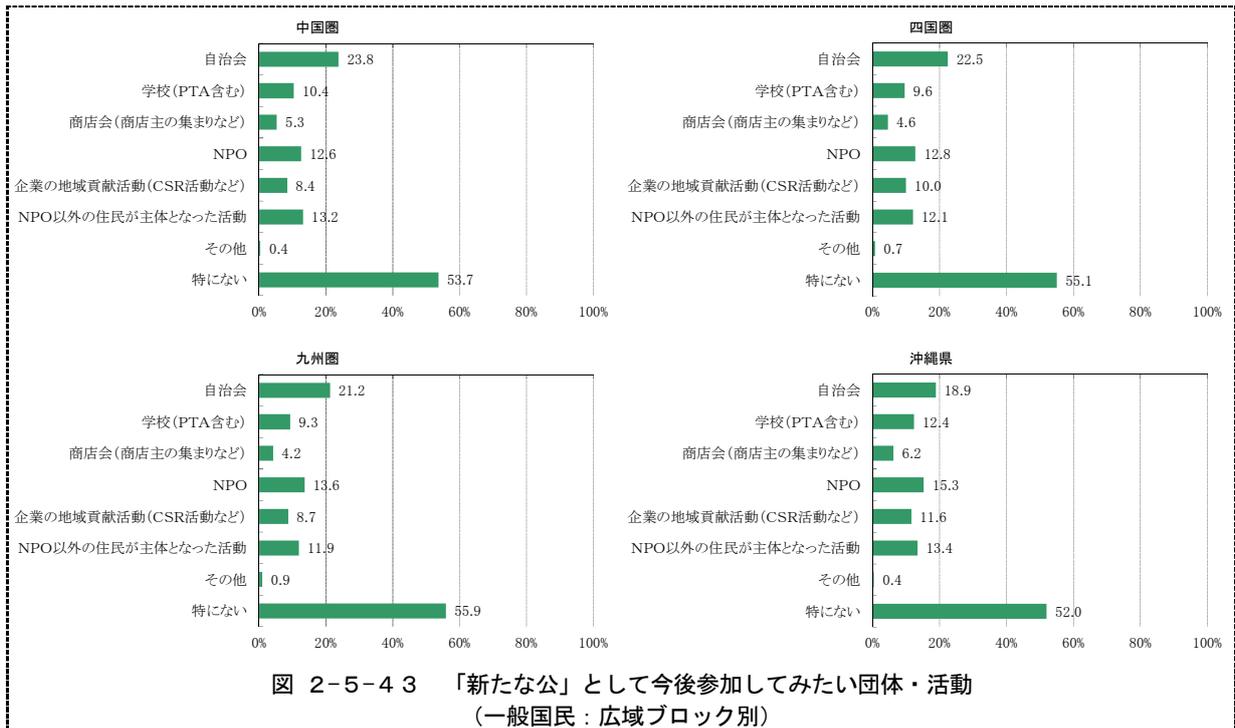




<広域ブロック別の動向>

一般国民の回答について広域ブロック別に見ると、どの広域ブロックにおいても、「新たな公」として今後参加してみたい団体・活動について、半数に達している回答はなかった。(図 2-5-4 3)

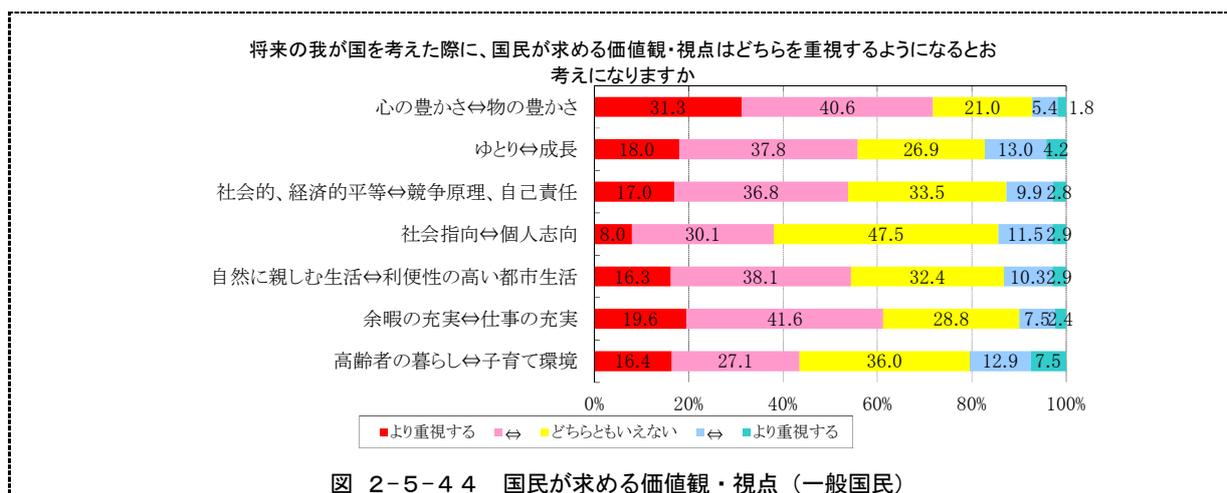




2-5-10 国民が求める価値観・視点（問14 一般国民）

将来の我が国を考えた際に、国民が求める価値観・視点を聞いたところ、「心の豊かさ⇔物の豊かさ」では、心の豊かさを重視する傾向が見られた。「ゆとり⇔成長」では、ゆとりを重視する傾向が見られた。「社会的、経済的平等⇔競争原理、自己責任」では、社会的、経済的平等を重視する傾向が見られた。「社会指向⇔個人志向」では、どちらともいえないとする回答が多かった。「自然に親しむ生活⇔利便性の高い都市生活」では、自然に親しむ生活を重視する傾向が見られた。「余暇の充実⇔仕事の充実」では、余暇の充実を重視する傾向が見られた。「高齢者の暮らし⇔子育て環境」では、高齢者を重視する傾向が見られた。（図 2-5-4 4）

一般国民の回答について自治体規模別に見ると、「心の豊かさ⇔物の豊かさ」では、いずれの自治体規模においても、心の豊かさを重視する傾向が見られた。「ゆとり⇔成長」では、いずれの自治体規模においても、ゆとりを重視する傾向が見られた。「社会的、経済的平等⇔競争原理、自己責任」では、いずれの自治体規模においても、社会的、経済的平等を重視する傾向が見られた。「社会指向⇔個人志向」では、いずれの自治体規模においても、どちらともいえないとする回答が多かった。「自然に親しむ生活⇔利便性の高い都市生活」では、いずれの自治体規模においても、自然に親しむ生活を重視する傾向が見られた。「高齢者の暮らし⇔子育て環境」では、いずれの自治体規模においても、高齢者を重視する傾向が見られた。（図 2-5-4 5）



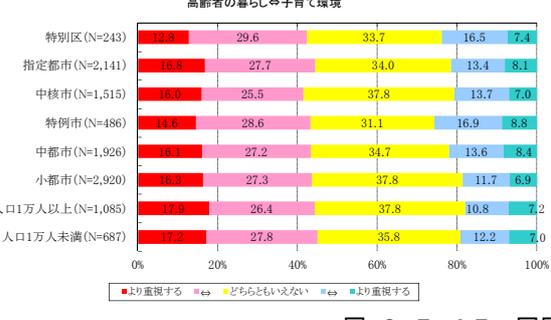
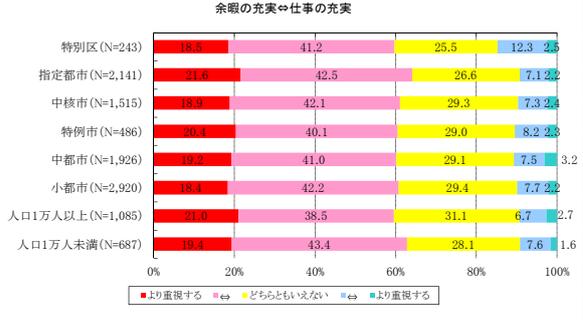
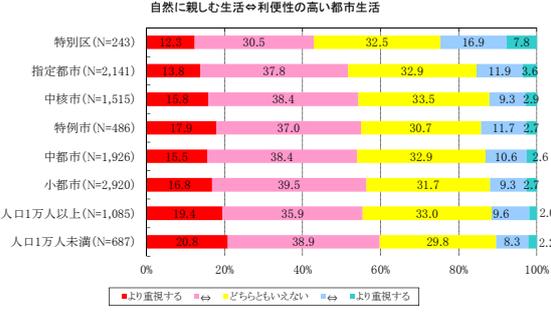
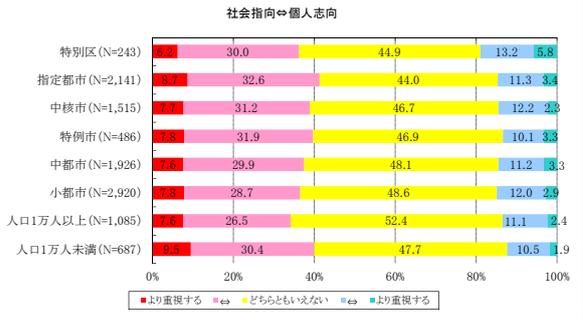
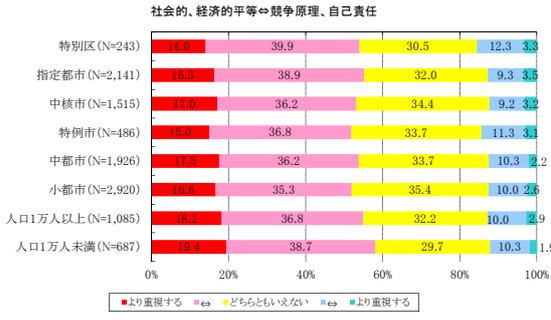
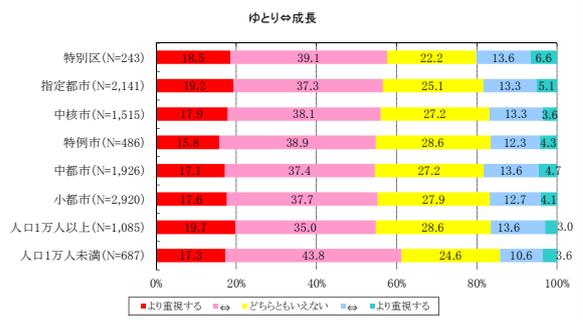
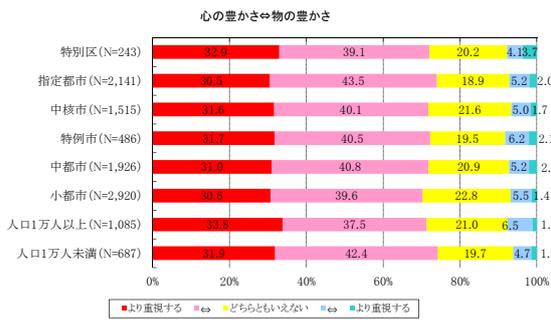


図 2-5-4 5 国民が求める価値観・視点
(一般国民：自治体規模別)

＜広域ブロック別の動向＞

一般国民の回答について広域ブロック別に見ると、いずれの広域ブロックにおいても、「心の豊かさ⇔物の豊かさ」では、心の豊かさを重視する傾向が見られた。「ゆとり⇔成長」では、ゆとりを重視する傾向が見られた。「社会的、経済的平等⇔競争原理、自己責任」では、社会的、経済的平等を重視する傾向が見られた。「社会指向⇔個人志向」では、どちらともいえないとする回答が多かった。「自然に親しむ生活⇔利便性の高い都市生活」では、自然に親しむ生活を重視する傾向が見られた。「余暇の充実⇔仕事の充実」では、余暇の充実を重視する傾向が見られた。「高齢者の暮らし⇔子育て環境」では、高齢者を重視する傾向が見られた。(図 2-5-4 6)

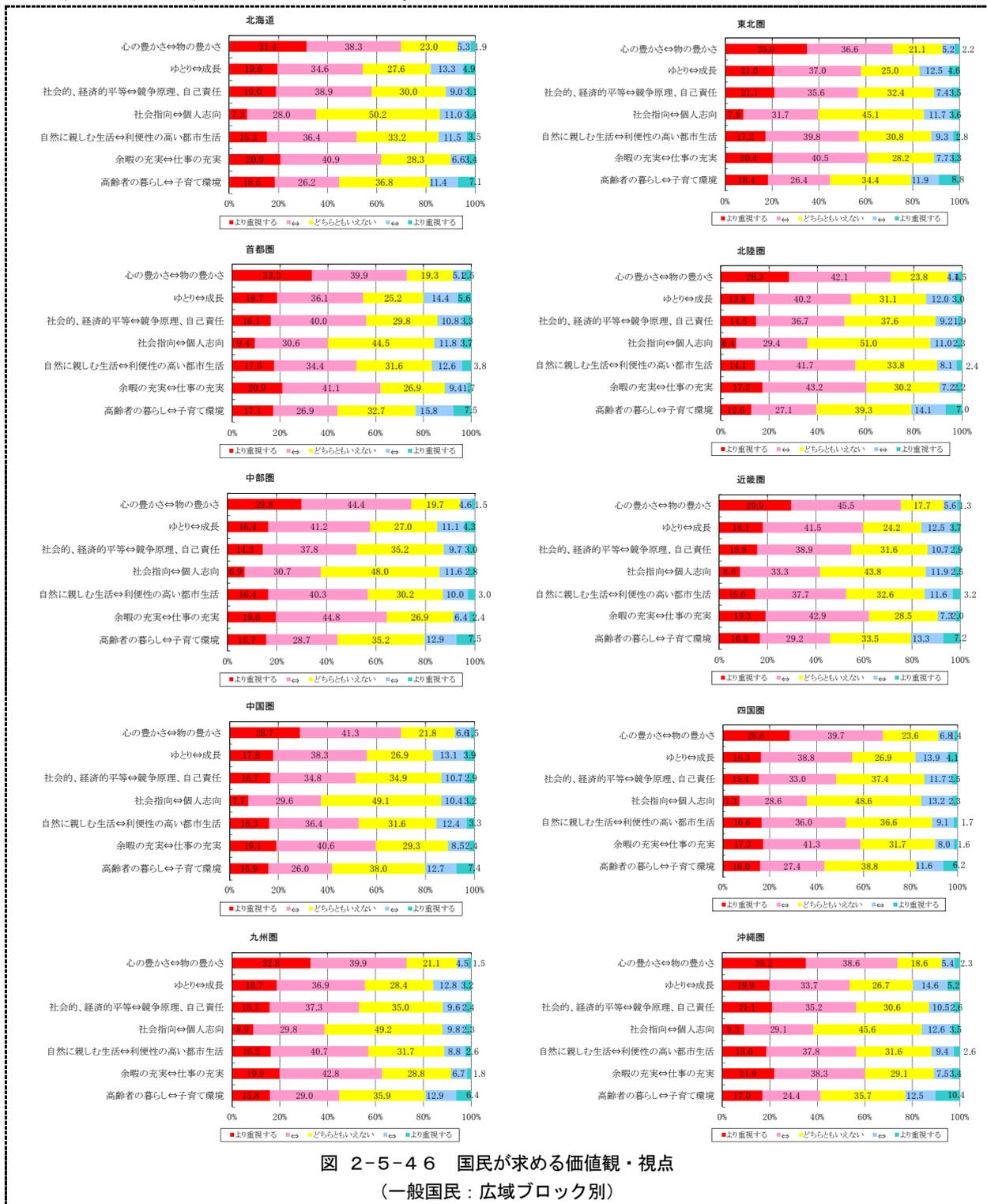
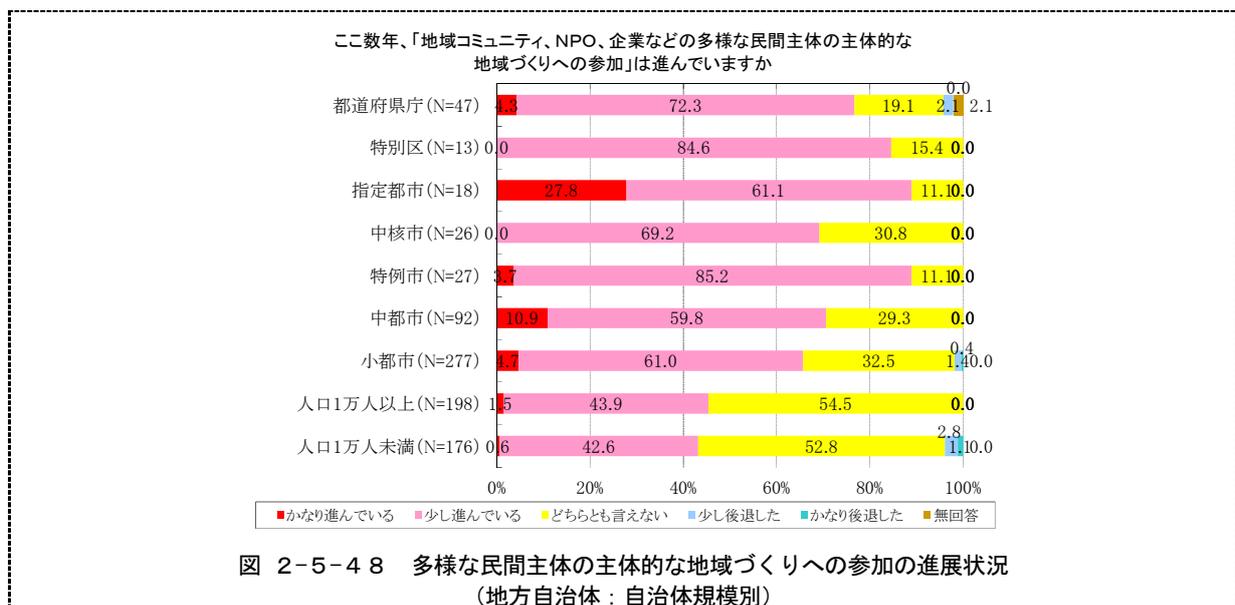
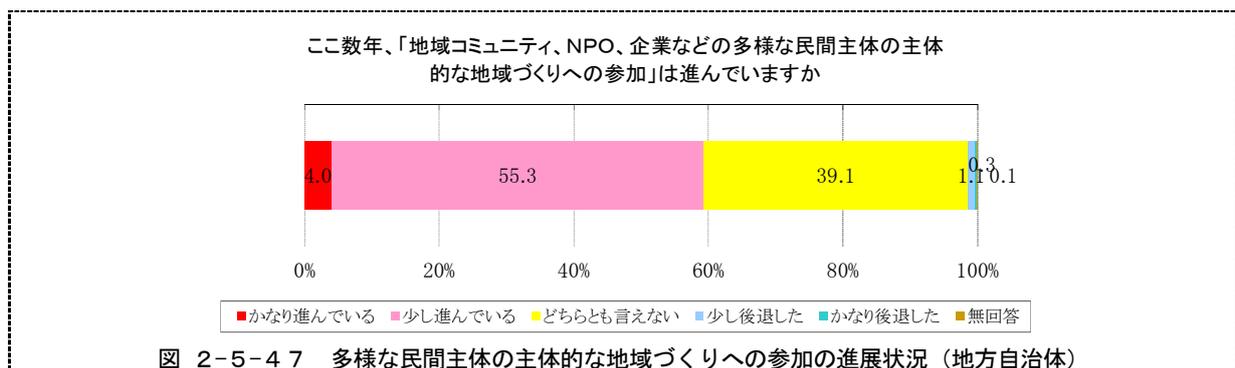


図 2-5-4 6 国民が求める価値観・視点
(一般国民：広域ブロック別)

2-5-11 地域コミュニティ、NPO、企業などの多様な民間主体の主体的な地域づくりへの参加の進展状況（問15-1 地方自治体）

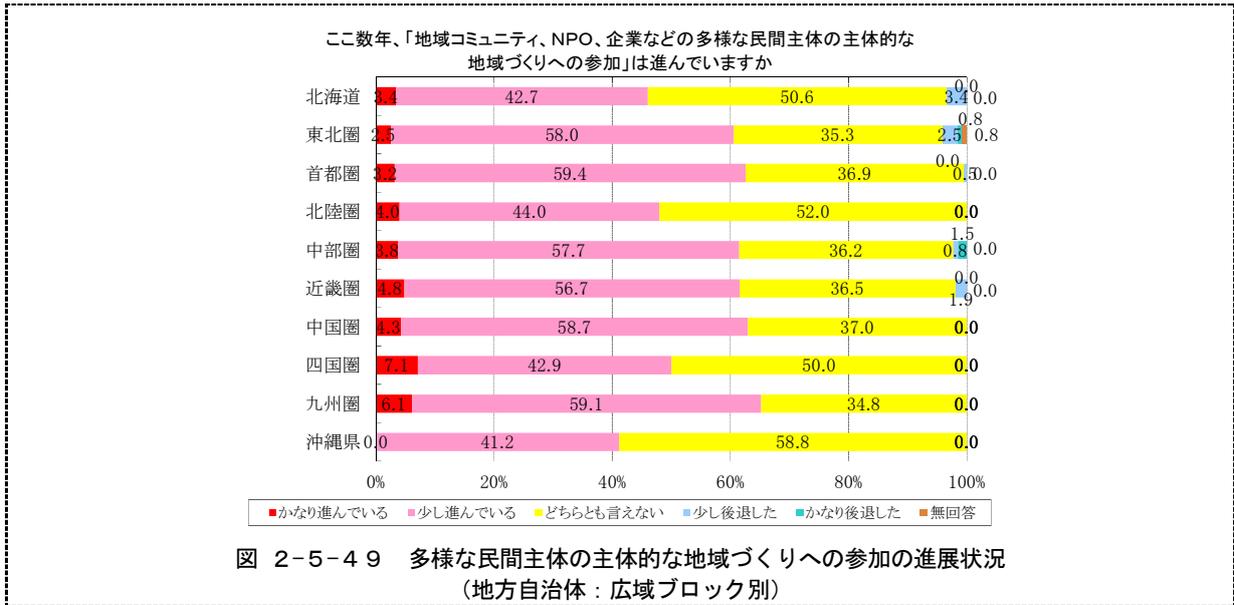
多様な民間主体の主体的な地域づくりへの参加の進展状況を聞いたところ、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」の回答の合計は、59.3%と半数を超しており、多様な民間主体の主体的な地域づくりへの参加が進んでいると認識されていると言える。（図 2-5-47）

地方自治体の回答について自治体規模別に見ると、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」の回答の合計は、都道府県庁で76.6%、特別区で84.6%、指定都市で88.9%、中核市で69.2%、特例市で88.9%、中都市で70.7%、小都市で62.7%と半数を超しており、多様な民間主体の主体的な地域づくりへの参加が進んでいると認識されていると言える。（図 2-5-48）



<広域ブロック別の動向>

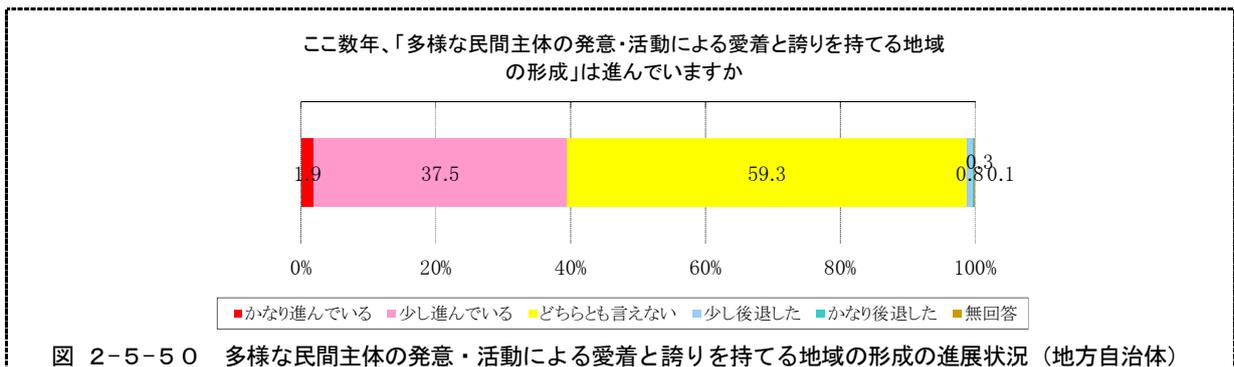
一般国民の回答について広域ブロック別に見ると、北海道、北陸圏、沖縄県を除く全ての広域ブロックでは、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」の回答の合計が、半数を超しており、多様な民間主体の主体的な地域づくりへの参加が進んでいると認識されていると言える。（図 2-5-49）

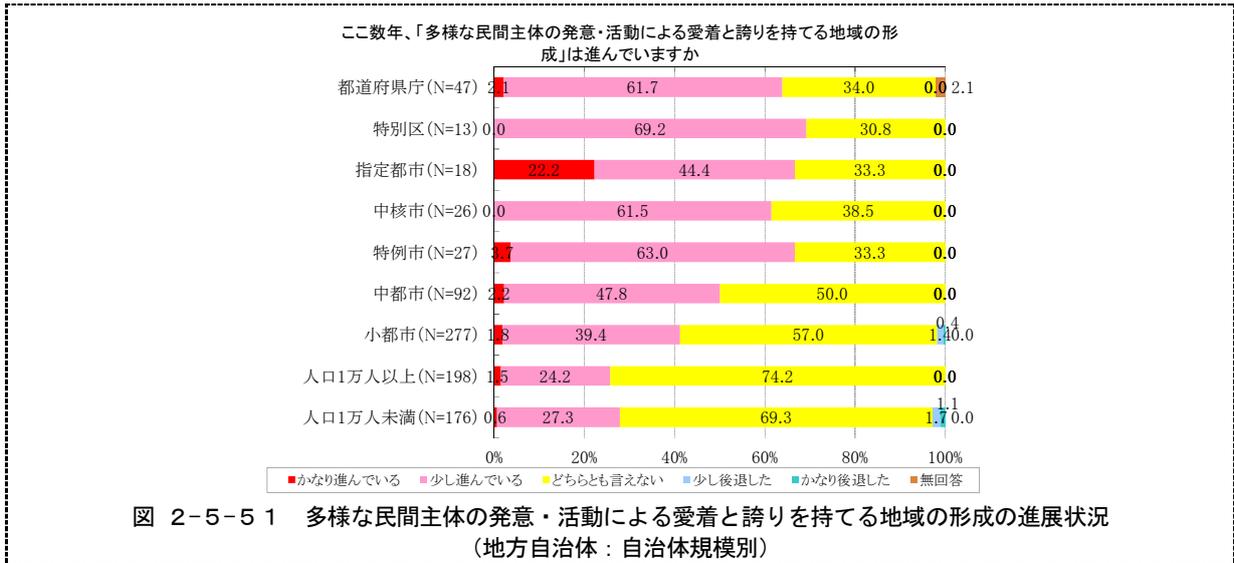


2-5-12 多様な民間主体の発意・活動による愛着と誇りを持てる地域の形成の進展状況 (問 15-2 地方自治体)

多様な民間主体の発意・活動による愛着と誇りを持てる地域の形成の進展状況を聞いたところ、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」という回答の合計は、39.4%と半数には達しておらず、「どちらとも言えない」という回答が 59.3%と半数を越しており、多様な民間主体の発意・活動による愛着と誇りを持てる地域の形成が進んでいる認識されているとは言えない。(図 2-5-50)

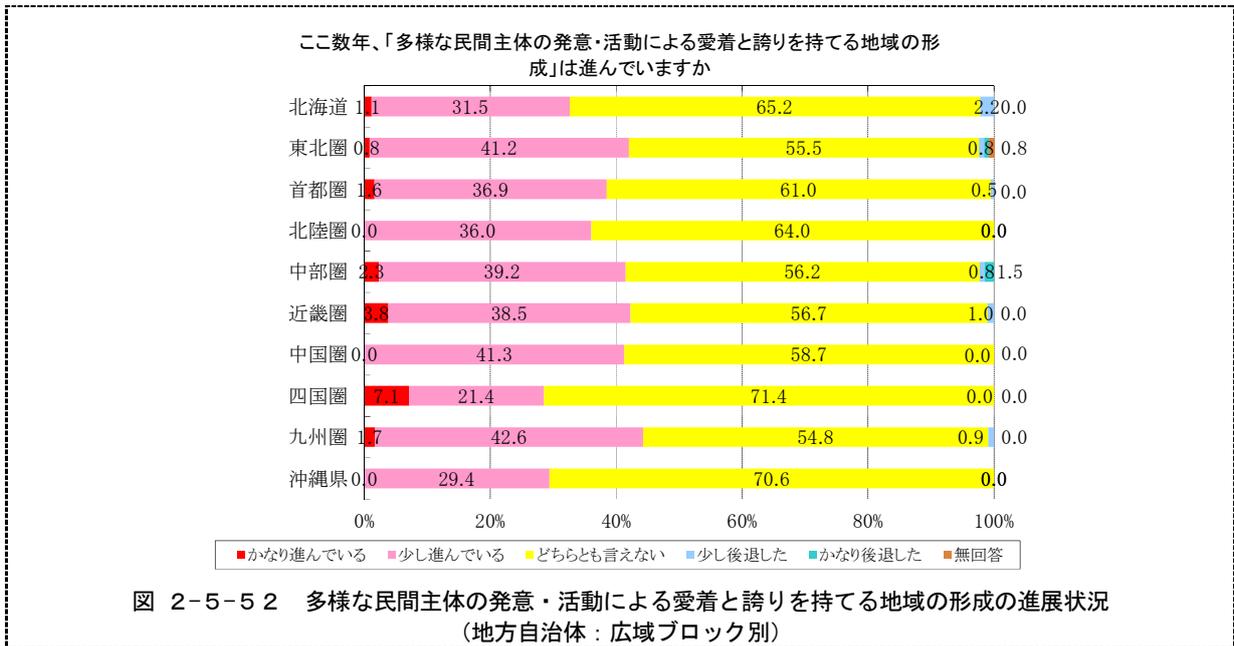
地方自治体の回答について自治体規模別に見ると、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」という回答の合計は、都道府県庁で 63.8%、特別区で 69.2%、指定都市で 66.6%、中核市で 61.5%、特例市で 66.7%、中都市で 50.0%と半数を超していた。一方、「どちらとも言えない」という回答は、小都市で 57.0%、人口 1 万人以上で 74.2%、人口 1 万人未満で 69.3%と半数を超していた。(図 2-5-51)





<広域ブロック別の動向>

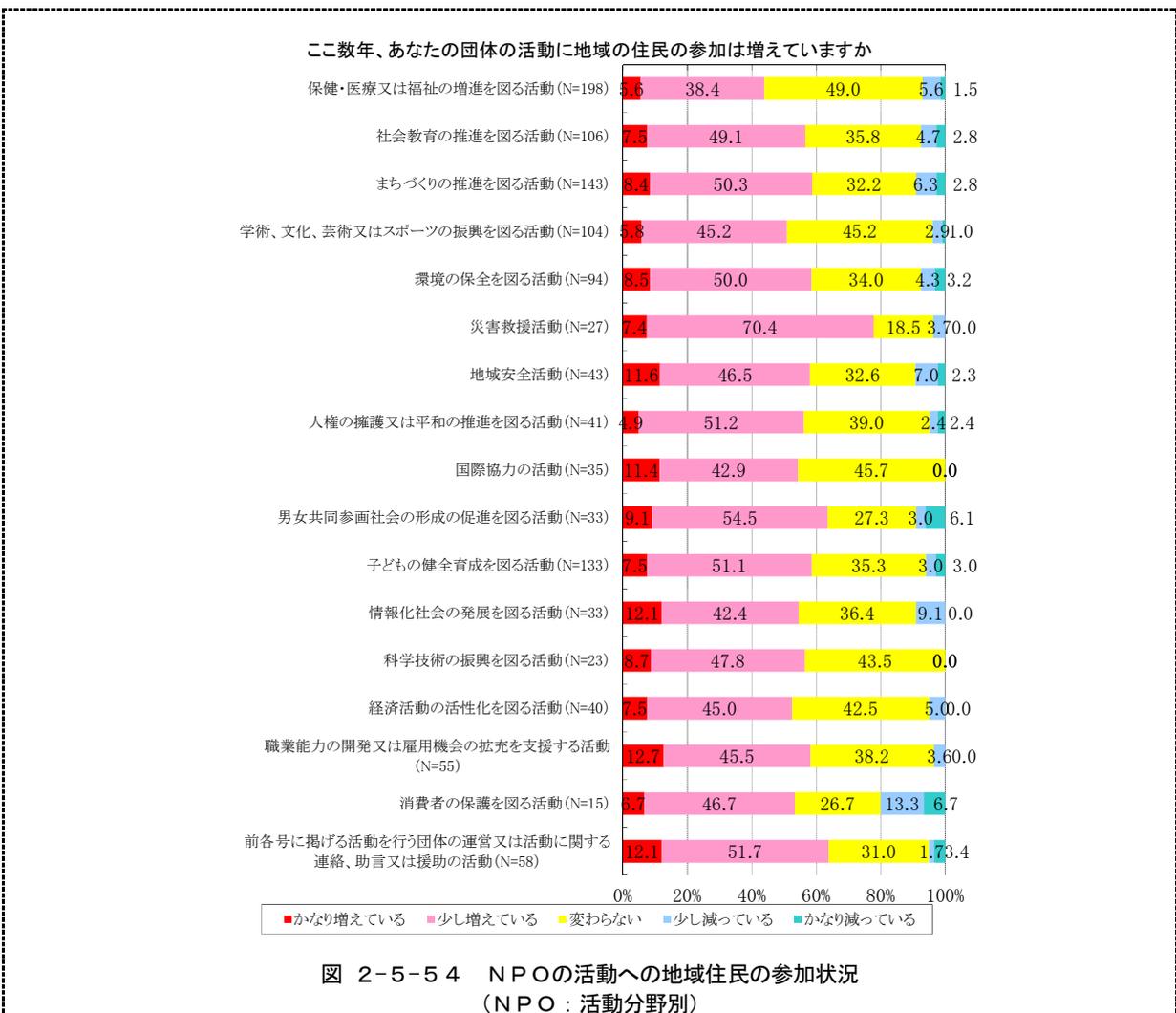
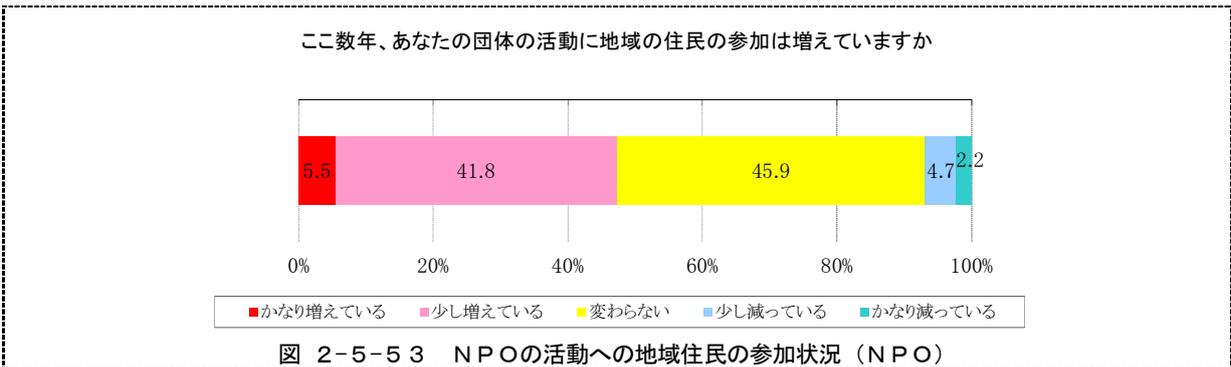
地方自治体の回答について広域ブロック別に見ると、いずれの広域ブロックにおいても、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」という回答の合計は、半数には達しておらず、「どちらとも言えない」という回答が半数を越しており、多様な民間主体の発意・活動による愛着と誇りを持てる地域の形成が進んでいると認識されているとは言えない。(図 2-5-5 2)



2-5-13 地域住民の参加状況（問14 NPO）

NPOの活動への地域住民の参加状況について聞いたところ、「かなり増えている」「少し増えている」という回答の合計及び「どちらとも言えない」という回答のいずれも半数に達していない。（図 2-5-53）

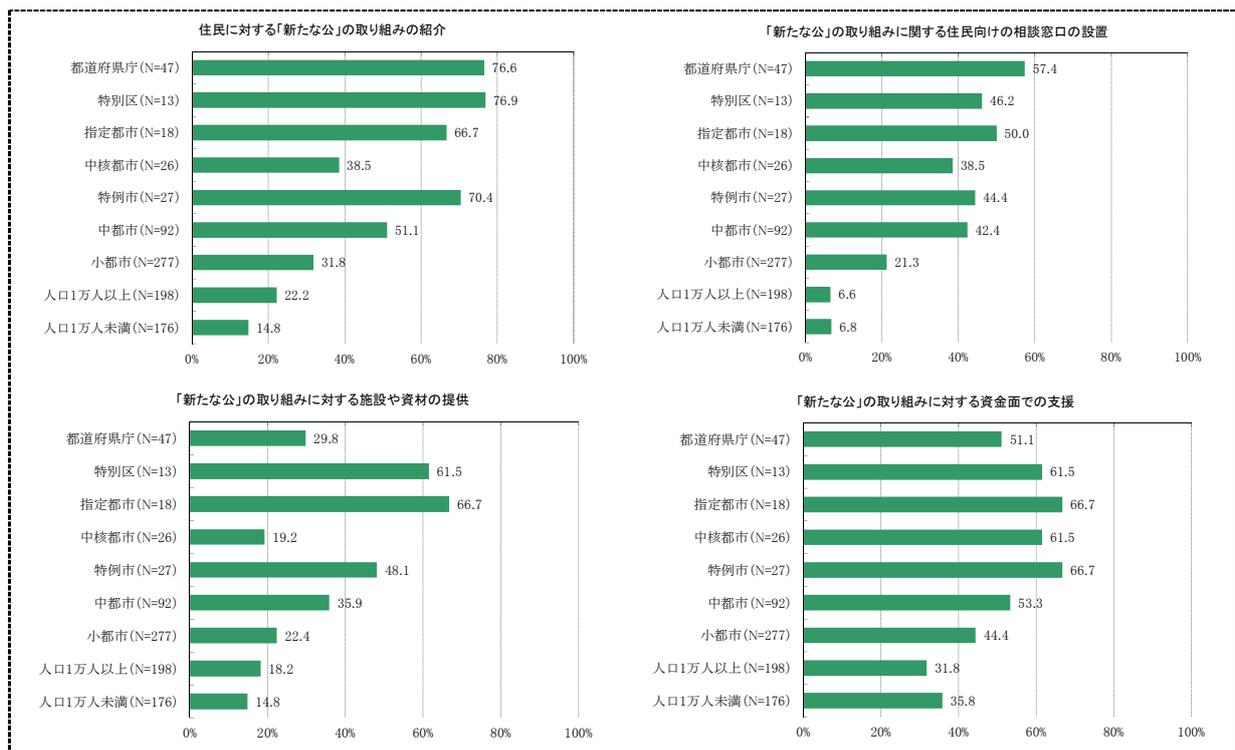
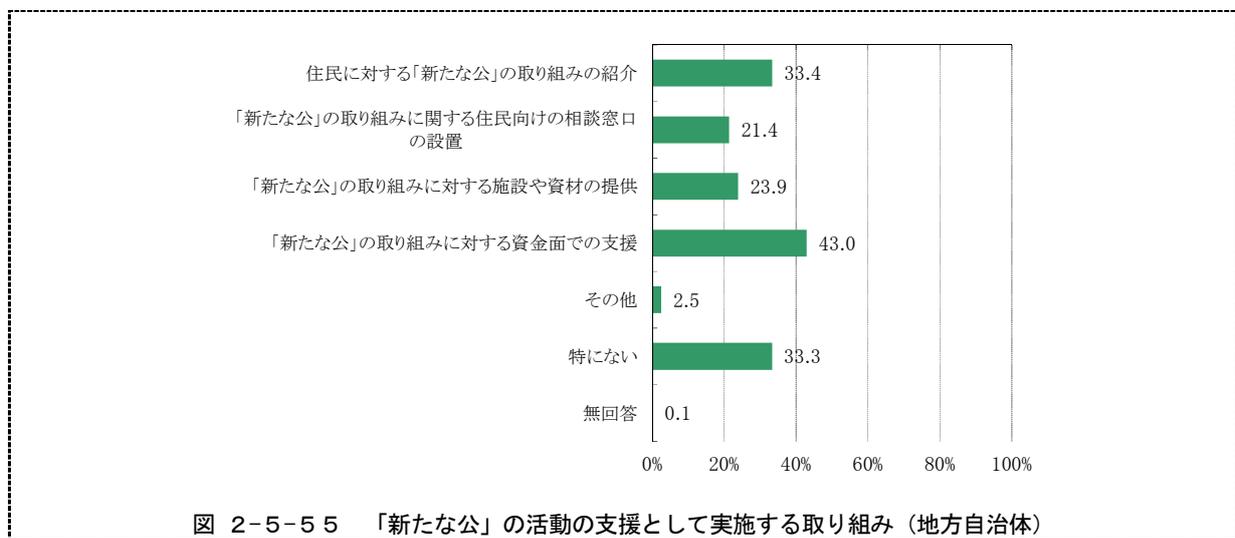
NPOの回答について活動分野別に見ると、保健・医療又は福祉の推進を図る活動を除く全ての分野で、「かなり増えている」「少し増えている」という回答の合計が、半数を超していた。（図 2-5-54）

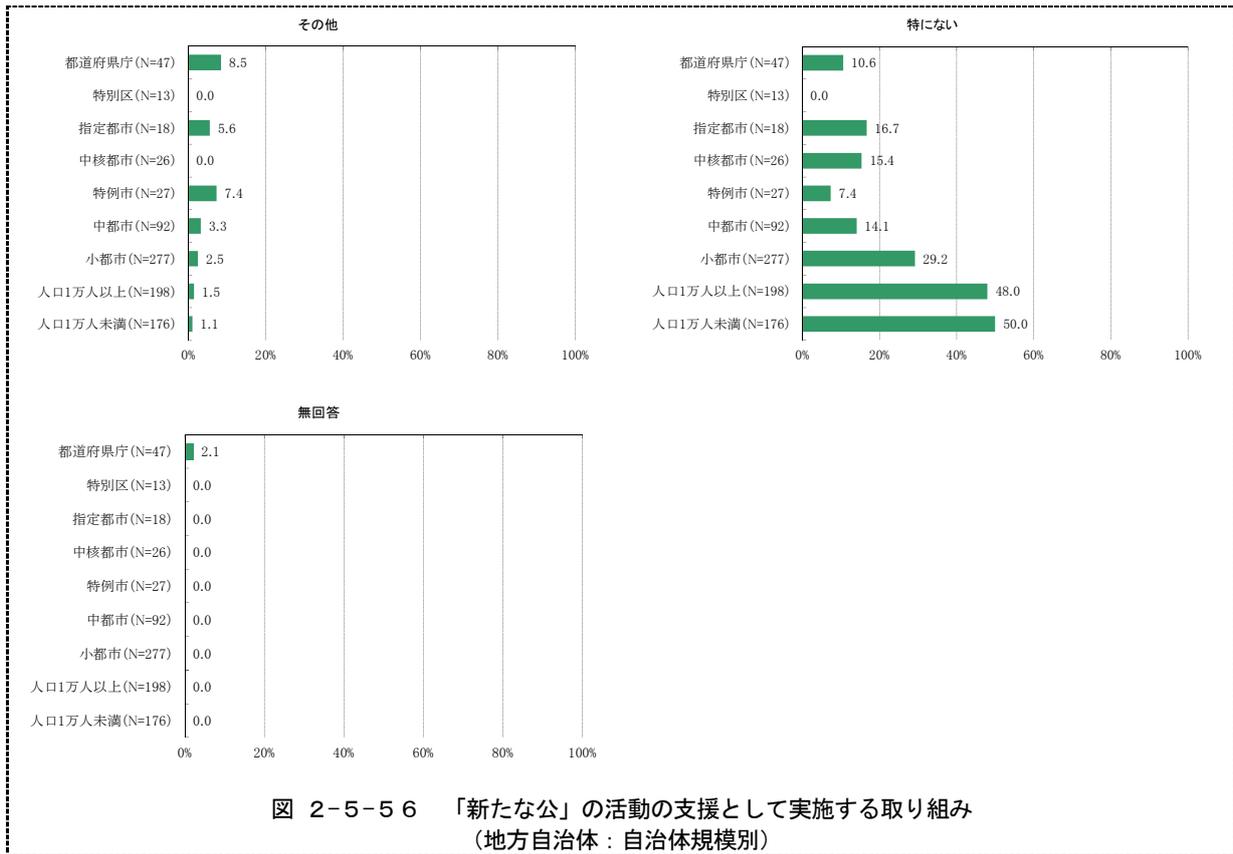


2-5-14 「新たな公」の活動の支援として実施する取り組み（問16 地方自治体）

「新たな公」の活動の支援として実施する取り組みを聞いたところ、「新たな公」の活動の支援として実施する取り組みについて、半数に達している回答はなかった。（図 2-5-55）

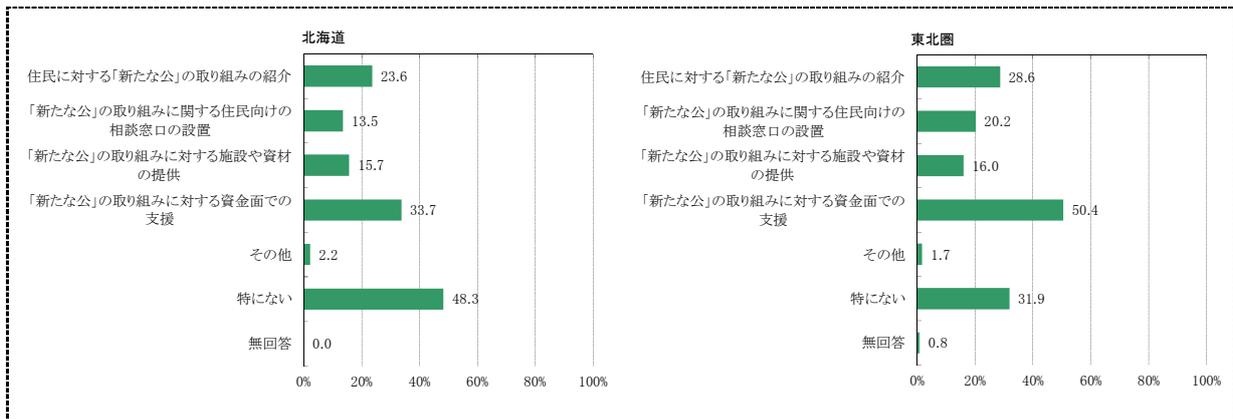
地方自治体の回答について自治体規模別に見ると、「住民に対する「新たな公」の取り組みの紹介」という回答は、都道府県庁で76.6%、特別区で76.9%、指定都市で66.7%、特例市で70.4%、中都市で51.1%と半数を超していた。「新たな公」の取り組みに関する住民向けの相談窓口の設置」という回答は、都道府県庁で57.4%、指定都市で50.0%と半数を超していた。「新たな公」の取り組みに対する施設や資材の提供」という回答は、特別区で61.5%、指定都市で66.7%と半数を超していた。「新たな公」の取り組みに対する資金面での支援」という回答は、小都市、人口1万人以上、人口1万人未満を除く全ての自治体規模において半数を超していた。（図 2-5-56）

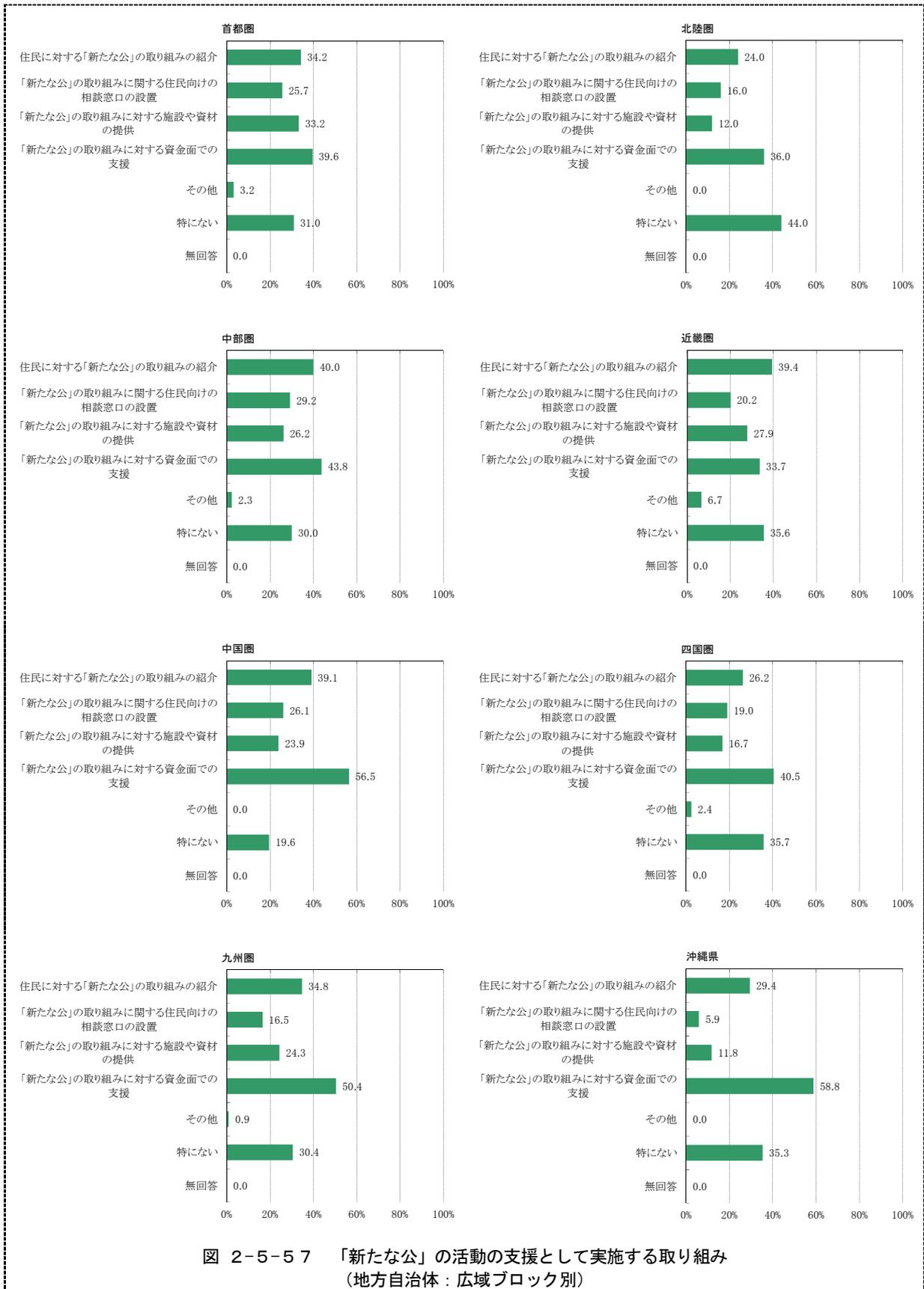




<広域ブロック別の動向>

地方自治体の回答について広域ブロック別に見ると、東北圏、中国圏、九州圏、沖縄県では、「「新たな公」の取り組みに対する資金面での支援」という回答が、それぞれ 50.4%、56.5%、50.4%、58.8% と半数を超えていた。(図 2-5-57)

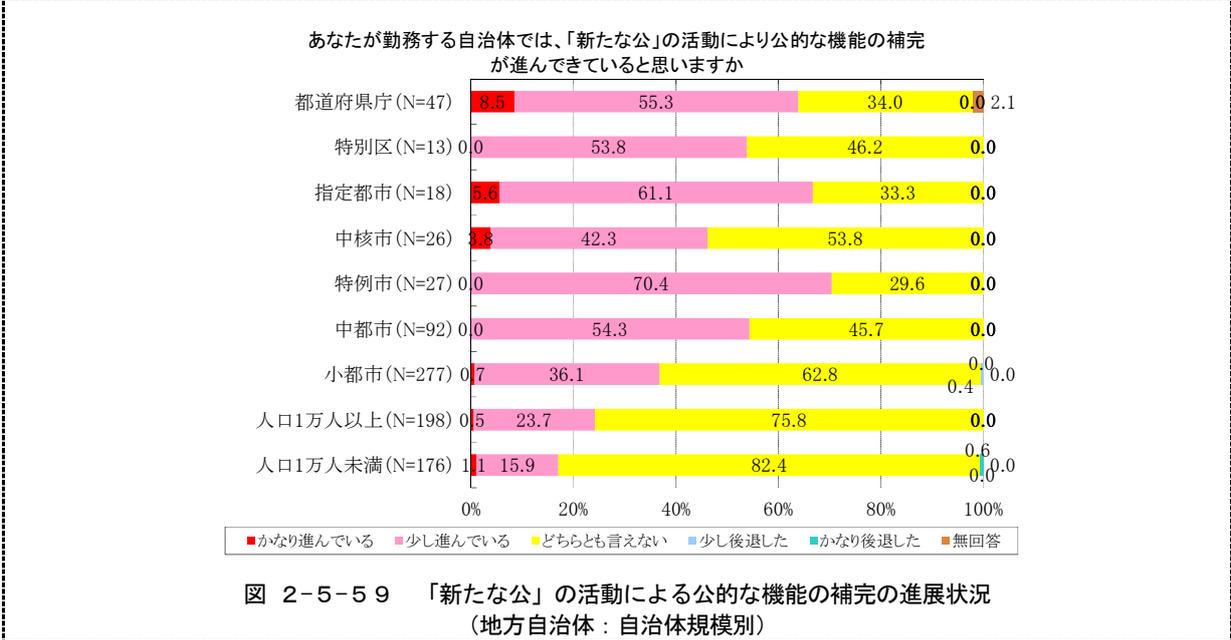
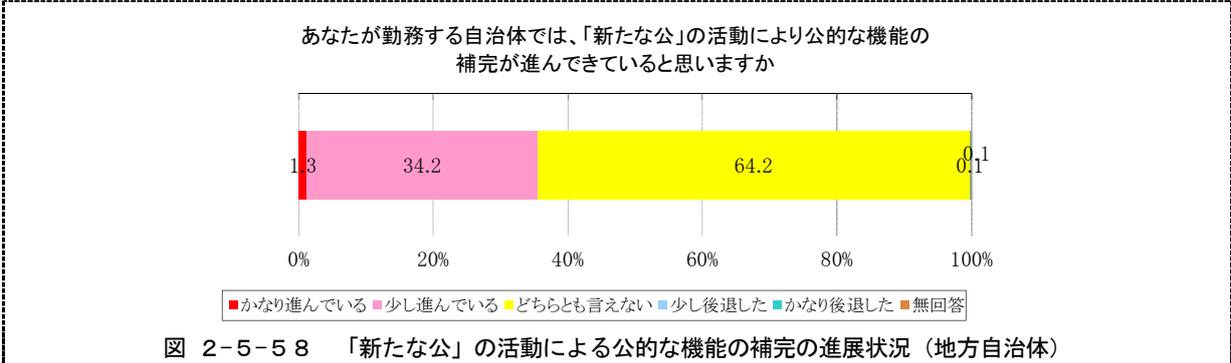




2-5-15 「新たな公」の活動による公的な機能の補完の進展状況（問17 地方自治体）

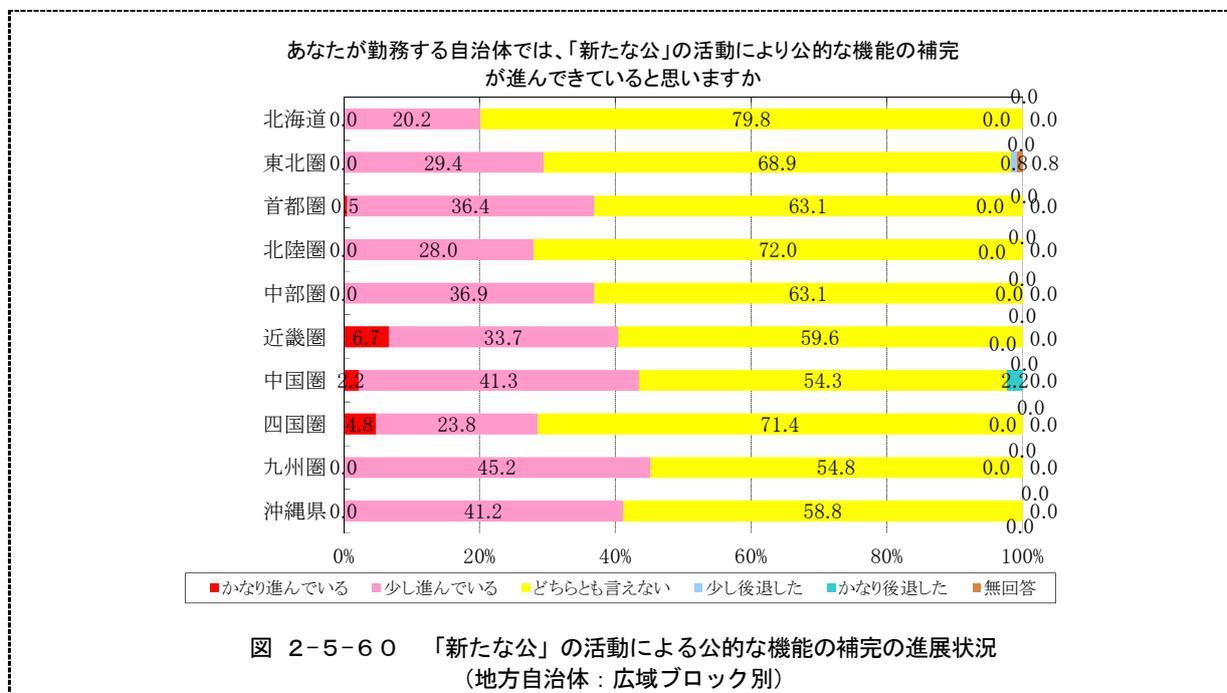
「新たな公」の活動による公的な機能の補完の進展状況を聞いたところ、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」という回答の合計は、35.5%と半数には達しておらず、「どちらとも言えない」という回答が64.2%と半数を越しており、「新たな公」の活動による公的な機能の補完が進んでいると認識されているとは言えない。（図 2-5-58）

地方自治体の回答について自治体規模別に見ると、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」の回答の合計は、都道府県庁で63.8%、特別区で53.8%、指定都市で66.7%、特例市で70.4%、中都市で54.3%と半数を超していた。一方、「どちらとも言えない」という回答は、中核市で53.8%、小都市で62.8%、人口1万人以上で75.8%、人口1万人未満で82.4%と半数を超していた。（図 2-5-59）



<広域ブロック別の動向>

地方自治体の回答について広域ブロック別に見ると、いずれの広域ブロックにおいても、「かなり進んでいる」「少し進んでいる」という回答の合計は、半数には達しておらず、「どちらとも言えない」という回答が半数を越しており、「新たな公」の活動による公的な機能の補完が進んでいるとは言えない。(図 2-5-60)



国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

はじめにお読みください。

- アンケートの回答には、ブラウザのJavaScriptの設定を有効にする必要があります。
 - 推奨環境(OS・ブラウザ)
 - Windows XP以降
 - Internet Explorer 7以降
 - Firefox 3.0以降
 - Macintosh OS X以降
 - Safari 3.0以降
- 上記以外の環境では、正常に動作しない場合がございます。あらかじめご了承ください。

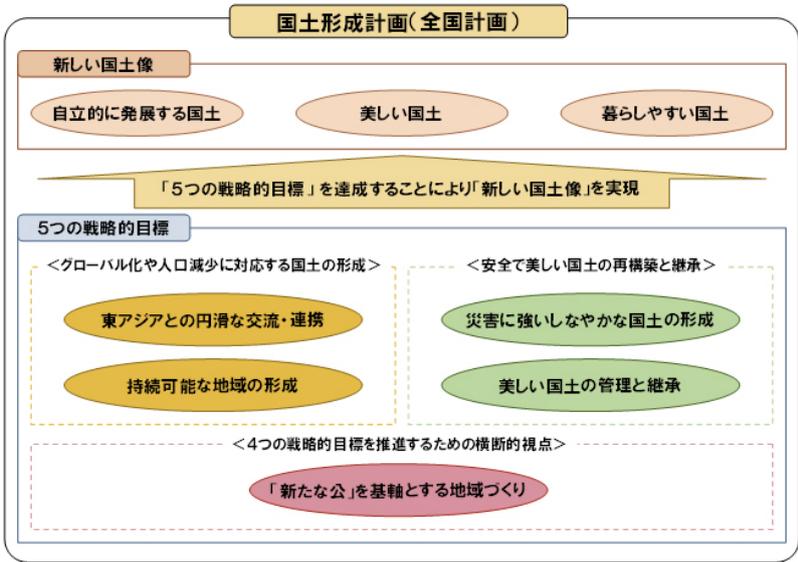
下記のみどりのラインの中に「開始」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。
 お手数ですが、[参考ページ](#)をご覧ください、JavaScriptを設定後/ブラウザタイプ確認後に、ページの更新(F5キー)をお願い致します。

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況 ■ 3%

国土交通省では、今後概ね10ヶ年間に於ける国土づくりの方向性を示す計画として、平成20年7月に「**国土形成計画(全国計画)**」を策定しました。
 まず、「**国土形成計画(全国計画)**」の構成に関する次の図をご覧ください。



参考URL: 国土形成計画
 (全国計画): http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudokeikaku_fr3_000003.html
 (広域地方計画): http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudokeikaku_tk5_000029.html

本調査では、**国土形成計画(全国計画)**等に関して、あなたの暮らす地域での進展をあなたがどのように感じているか伺います。
 それぞれの質問について、あなたが暮らす地域や周りで暮らしている人々を考えた場合、最も当てはまると思うものをお答えください(2012年7月1日現在でお答えください)。

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況  8%

最初に、あなた自身のことについて伺います。当てはまるものを選択してください。
(2012年7月1日現在で選択してください)。

印の付いた質問は必須回答項目となっていますので、必ずお答えください。

F1. 性別(1つ選択)

- 男性
- 女性

F2. 年齢(1つ選択)

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代以上

F3. 職業(1つ選択)

< 雇用者(役員を含む) >

- 管理職
- 専門・技術職
- 事務職
- 販売・サービス・保安職
- 農林漁業職
- 生産・輸送・建設・労務職

< 自営業主(家庭内職者を含む) >

- 管理職
- 専門・技術職
- 事務職
- 販売・サービス・保安職
- 農林漁業職
- 生産・輸送・建設・労務職

< 家族従業者 >

- 管理職
- 専門・技術職
- 事務職
- 販売・サービス・保安職
- 農林漁業職
- 生産・輸送・建設・労務職

< 無職(主婦、学生を含む) >

- 主婦
- 学生
- その他

F4. 世帯構成(1つ選択)

- 1人世帯
- 1世代世帯(夫婦だけ)
- 2世代世帯(夫婦と子)
- 2世代世帯(父親と子)
- 2世代世帯(母親と子)
- 3世代世帯(親と子と孫)
- その他の世帯

F5. お住まいの都道府県(1つ選択)

▼▼▼選択して下さい▼▼▼

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  10%

F6.
お住まいの市区町村(1つ選択)

▼▼▼選択して下さい▼▼▼

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  12%

Q1.
あなたは、国土形成計画(全国計画あるいは広域地方計画)をご存じですか。(1つ選択)

- 見聞きしたことがあり、内容も知っていた
- 見聞きしたことはあるが、内容はよく知らなかった
- 知らなかった

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  16%

Q1-1.
どのようなきっかけで見聞きされましたか。(複数選択可)

- 仕事
- 教育機関での授業
- 自主的な学習・調査
- 日常生活の中でたまたま見聞きした
- その他 具体的に()

Q1-2.
何で見聞きされましたか。(複数選択可)

- 国土形成計画の冊子
- 国土形成計画のパンフレット
- 国土交通省のホームページ
- 新聞・雑誌
- テレビ番組
- 国土交通省以外のホームページ
- 講演・シンポジウム
- 教育機関等での授業
- その他 具体的に()

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  18%

Q2.

国土形成計画(全国計画)については、国土をめぐる様々な情報を収集、整理し、総合的・体系的に分析する計画のモニタリングを平成21年度より行っております。あなたは、この国土形成計画(全国計画)のモニタリングをご存知ですか、(1つ選択)

参考URL: http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000021.html

- 見聞きしたことがあり、内容も知っていた
- 見聞きしたことはあるが、内容はよく知らなかった
- 知らなかった

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

【5つの戦略的目標】の進展状況について伺います。

「戦略的目標1: 東アジアとの円滑な交流・連携」について伺います。
「東アジアとの円滑な交流・連携」としては以下の図に示すような施策を進めています。



Q3. ここ数年、あなたの生活において、「東アジアとの円滑な交流・連携」に関してどのような変化が起きていると感じますが、それぞれの項目について、当てはまると思うものを選択してください、(それぞれ1つずつ選択)

ここに回答	大変そう思う	少しそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
東アジアとのビジネスが増えた	<input type="radio"/>				
東アジアへの長期の出張または常駐する機会が増えた	<input type="radio"/>				
外国人のビジネスパーソンと仕事をする機会が増えた	<input type="radio"/>				
街中でアジアの言語による案内を見かけることが多くなった	<input type="radio"/>				
外国人観光客を見かけることが多くなった	<input type="radio"/>				
東アジアへの短期の旅行・出張に行く回数が増えた	<input type="radio"/>				
国際便が就航している空港や港へアクセスしやすくなった	<input type="radio"/>				
航空便の便数が増えるなど東アジアへの渡航が便利になった	<input type="radio"/>				
東アジアとの貨物輸送において、航空便や高速海上輸送の利用回数が増えた	<input type="radio"/>				

「戦略的目標2:持続可能な地域の形成」について伺います。

「持続可能な地域の形成」としては以下の図に示すような施策を進めています。



Q4.

ここ数年、あなたの生活において、「持続可能な地域の形成」に関してどのような変化が起きていると感じますか、それぞれの項目について、当てはまると思うものを選択してください。(それぞれ1つずつ選択)

ここに回答	大変そう思う	少しそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
中心市街地に行くことが多くなった	<input type="radio"/>				
病院や福祉施設に行きやすくなった	<input type="radio"/>				
公共交通を利用することが多くなった	<input type="radio"/>				
建て替えや改修を行っている住宅が増えた	<input type="radio"/>				
道路の渋滞や鉄道の混雑が少なくなった	<input type="radio"/>				
新たに立地する企業が増えた	<input type="radio"/>				
地域に就職する若者が増えた	<input type="radio"/>				
農山漁村が暮らしやすくなった	<input type="radio"/>				
都市部と農山漁村を行き来する回数が増えた	<input type="radio"/>				
普段の生活でより遠くの地域まで行くようになった	<input type="radio"/>				
他の地域から移ってくる人が増えた	<input type="radio"/>				

「戦略的目標3:災害に強いしなやかな国土の形成」について伺います。
 「災害に強いしなやかな国土の形成」としては以下の図に示すような施策を進めています。



Q5.
 ここ数年、あなたの生活において、「災害に強いしなやかな国土の形成」に関してどのような変化が起きていると感じますか、それぞれの項目について、当てはまると思うものを選択してください。(それぞれ1つずつ選択)

ここに回答	大変 そう 思う	少し そう 思う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
近隣との交流を通じて地域の防災意識が高まった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の防災施設が整備された	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
災害を予防するための情報(ハザードマップなど)が多くなった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
災害発生時に、被災状況や避難の情報を得やすくなった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
災害時の救助・医療体制が整備された	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
密集した市街地が解消され、火災の被害などが拡大しにくくなった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
洪水氾濫による被害が少なくなった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
災害時の緊急輸送ルートや連絡手段が確保された	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

「戦略的目標4:美しい国土の管理と継承」について伺います。
 「美しい国土の管理と継承」としては以下の図に示すような施策を進めています。



Q6. ここ数年、あなたの生活において、「美しい国土の管理と継承」に関してどのような変化が起きていますか、それぞれの項目について、当てはまると思うものを選択してください。(それぞれ1つずつ選択)

ココに回答	大変そう思う	少しそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
自動車利用を控える、省エネを心がけるなど、地球温暖化を意識するようになった	<input type="radio"/>				
3R(リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用))に取り組むようになった	<input type="radio"/>				
自然環境を保護する意識が高くなった	<input type="radio"/>				
森林や緑地など緑に触れる機会が多くなった	<input type="radio"/>				
河川の水がきれいになった	<input type="radio"/>				
水不足がなくなった	<input type="radio"/>				
沿岸の自然環境や海域環境がきれいになった	<input type="radio"/>				
伝統芸能、伝統工芸など地域の文化に触れる機会が多くなった	<input type="radio"/>				



国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  55%

Q7.
「国土の国民的経営」として、あなたがここ数年で参加(実施)された取り組みはありますか。下記の中から、当てはまると思う取り組みを全て選択してください。(複数選択可)

- 市民参加型の森林や緑地の保全活動(植林、下草刈りなど)
- 市民参加型の河川や海浜、藻場の保全活動(清掃活動、ビオトープの管理など)
- 市民参加型の棚田などの農地・農業水利施設等の保全向上活動
- 市民参加型の都市内低未利用地の管理活動(空き地の清掃、空き店舗の利活用など)
- 地元農産品や地域材で作られた製品の購入
- 森林や農地の保全活動への募金や寄付
- その他 具体的に()
- 特にない

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  58%

Q8.
「国土の国民的経営」として、あなたが今後参加(実施)してみたいと思う取り組みはありますか。下記の中から、当てはまると思う取り組みを全て選択してください。(複数選択可)

- 市民参加型の森林や緑地の保全活動(植林、下草刈りなど)
- 市民参加型の河川や海浜、藻場の保全活動(清掃活動、ビオトープの管理など)
- 市民参加型の棚田などの農地・農業水利施設等の保全向上活動
- 市民参加型の都市内低未利用地の管理活動(空き地の清掃、空き店舗の利活用など)
- 地元農産品や地域材で作られた製品の購入
- 森林や農地の保全活動への募金や寄付
- その他 具体的に()
- 特にない

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

『戦略的目標5:『新たな公』を基軸とする地域づくり』について伺います。
『新たな公』を基軸とする地域づくり』としては以下の図に示すような施策を進めています。



Q9. ここ数年、あなたの生活において、『新たな公』を基軸とする地域づくりに関してどのような変化が起きていると感じますが、それぞれの項目について、当てはまると思うものを選択してください。(それぞれ1つずつ選択)

ここに回答	大変そう思う	少しそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
自治会、学校(PTA)、NPOなどによる地域づくりへの参加の機会が増えた	<input type="radio"/>				
主体的に地域づくりを行っている自治会、学校(PTA)、NPOなどが増えた	<input type="radio"/>				
企業による地域貢献の活動が増えた	<input type="radio"/>				
自治体などの行政から住民による地域づくり活動への支援が増えた	<input type="radio"/>				
住民と行政が意見を交換する機会が増えた	<input type="radio"/>				

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  80%

Q10.
「新たな公」の一員として、あなたがここ数年で参加(実施)された取り組みはありますか。下記の中から、当てはまると思う取り組みを全て選択してください。(複数選択可)

- 福祉・介護・子育て・交通などの生活支援
- 防犯・防災などの地域安全活動
- リサイクル支援・清掃などの環境活動
- 里山の管理・自然環境保護活動
- 地域文化の保全・継承活動
- 商店街活性化や農業支援などの地域振興活動
- 観光客・人材誘致などの交流促進活動
- その他 具体的に()
- 特にない

Q11.
「新たな公」の一員として、あなたがここ数年で参加された団体・活動はありますか。下記の中から、当てはまると思う団体・活動を全て選択してください。(複数選択可)

- 自治会
- 学校(PTA含む)
- 商店会(商店主の集まりなど)
- NPO
- 企業の地域貢献活動(CSR活動など)
- NPO以外の住民が主体となった活動
- その他 具体的に()
- 特にない



Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  90%

Q12.
「新たな公」の一員として、あなたが今後参加(実施)してみたいと思う取り組みはありますか。下記の中から、当てはまると思う取り組みを全て選択してください。(複数選択可)

- 福祉・介護・子育て・交通などの生活支援
- 防犯・防災などの地域安全活動
- リサイクル支援・清掃などの環境活動
- 里山の管理・自然環境保護活動
- 地域文化の保全・継承活動
- 商店街活性化や農業支援などの地域振興活動
- 観光客・人材誘致などの交流促進活動
- その他 具体的に()
- 特になし

Q13.
「新たな公」の一員として、あなたが今後参加してみたいと思う団体・活動はありますか。下記の中から、当てはまると思う団体・活動を全て選択してください。(複数選択可)

- 自治会
- 学校(PTA含む)
- 商店会(商店主の集まりなど)
- NPO
- 企業の地域貢献活動(CSR活動など)
- NPO以外の住民が主体となった活動
- その他 具体的に()
- 特になし

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.

国土形成計画(全国計画)のモニタリングにおける意識調査

進行状況:  95%

Q14.
あなたが望む日本の将来像についてお伺いします。将来の我が国を考えた際に、国民が求める価値観・視点は以下のどちらを重視するようになるとお考えになりますか。
「どちらともいえない」を真ん中とし、重視する強さによって選択してください。(それぞれ1ずつ選択)

ココに回答	より重視する		どちらとも いえない		より重視する	ココに回答
心の豊かさ	<input type="radio"/>	物の豊かさ				
ゆとり	<input type="radio"/>	成長				
社会的、経済的平等	<input type="radio"/>	競争原理、自己責任				
社会志向	<input type="radio"/>	個人志向				
自然に親しむ生活	<input type="radio"/>	利便性の高い都市生活				
余暇の充実	<input type="radio"/>	仕事の充実				
高齢者の暮らし	<input type="radio"/>	子育て環境				

Copyright© 2012 marsh Co.,Ltd. ALL Rights Reserved.